

(様式第 10)

東北病医 第 227 号  
令和 2 年 10 月

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 東北大学  
総長 大野 英男

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号
氏 名	国立大学法人 東北大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東北大学病院
--------

3 所在の場所

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号	電話(022)717-7000
-------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無	
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	4 腎臓内科
5 神経内科	⑥血液内科	7 内分泌内科	8 代謝内科
⑨感染症内科	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑪リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科                      ②消化器外科                      3 乳腺外科                      4 心臓外科 5 血管外科                      ⑥心臓血管外科                      7 内分泌外科                      ⑧小児外科	
診療実績	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科   ②小児科   ③整形外科   ④脳神経外科   ⑤皮膚科   ⑥泌尿器科   ⑦産婦人科 8 産科   9 婦人科   ⑩眼科   ⑪耳鼻咽喉科   ⑫放射線科   13 放射線診断科 14 放射線治療科   ⑮麻酔科   ⑯救急科
---

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科   ②矯正歯科   ③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 腎臓・内分泌内科   2 糖尿病・代謝内科   3 漢方内科   4 老年内科   5 心療内科 6 腫瘍内科   7 肝臓・胆のう・膵臓外科   8 胃腸外科   9 移植・食道・血管外科 10 乳腺・内分泌外科   11 形成外科   12 脳神経内科   13 小児腫瘍外科   14 頭頸部外科 15 リハビリテーション科   16病理診断科
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40 床	2 床	床	床	1,118 床	1,160 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	374人	244人	607.4人	看護補助者	178人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	97人	77人	163.8人	理学療法士	26人	臨床検査技師	114人
薬 剤 師	85人	1人	85.7人	作業療法士	9人	衛生検査技師	3人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	17人	その他	0人
助 産 師	53人	1人	54人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1,193人	13人	1,201.4人	臨床工学士	28人	医療社会事業従事者	30人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	194人
歯科衛生士	10人	12人	21.2人	歯 科 技 工 士	11人	事 務 職 員	394人
管理栄養士	13人	0人	13人	診療放射線技師	72人	その他の職員	168人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	88人	眼 科 専 門 医	9人
外 科 専 門 医	75人	耳鼻咽喉科専門医	14人
精神科専門医	10人	放射線科専門医	21人
小児科専門医	33人	脳神経外科専門医	11人
皮膚科専門医	14人	整形外科専門医	18人
泌尿器科専門医	10人	麻 酔 科 専 門 医	23人
産婦人科専門医	27人	救 急 科 専 門 医	8人
		合 計	361人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 富永 悌二 ) 任命年月日 平成31年 4月 1日

医療安全管理責任者(医療安全担当の副病院長)を平成28年4月1日から平成31年3月31日まで務め、医療安全監査委員会への対応、特定機能病院間のピアレビューの実施、高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等管理センター長業務、医療安全推進委員会や内部通報受付審査会等の業務等、医療に係る安全管理の業務に従事した。  
 また、現在も病院長として、医療安全推進委員会の委員を務めながら、医療に係る安全管理の業務に従事している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	890.3人	27.3人	917.6人
1日当たり平均外来患者数	2,352.7人	660.9人	3,013.6人
1日当たり平均調剤数	1383.2剤		
必要医師数	229人		
必要歯科医師数	25人		
必要薬剤師数	31人		
必要(准)看護師数	565人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	377.08 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	18床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	402 m <sup>2</sup>	病床数	25床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	251 m <sup>2</sup>			
		[共用室の場合]	共用する室名			
化学検査室	705 m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 生化学、免疫検査装置			
細菌検査室	334 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) クリーンベンチ			
病理検査室	492 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット			
病理解剖室	106 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台			
研究室	7,394 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡			
講義室	373 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員	362人
図書室	4,476 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	4室	蔵書数	約41万冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。



11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	80.4%	逆紹介率	52.9%
算出根拠	A: 紹介患者の数		23,369人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		16,409人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,575人
	D: 初診の患者の数		31,023人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療 報酬支払基金 宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
嶋森 好子	岩手医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律 事務所		法律に関する識見を有する者	有・無	1
原 忠篤	東北医科薬科 大学病院		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	2人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	0人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
LDLアフェレシス療法	0人
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸空腸バイパス術	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	0人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が大脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	0人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸フェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限り)	1人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 子宮頸がん(FIGOによる臨床進行期分類がIB期以上及びII B期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がIA2期以上及びII B期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)	0人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	0人
切除支援のためのマイクロコイル併用気管支鏡下肺マッピング法 微小肺病変	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	255人
当該医療技術の概要			
肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	59人
当該医療技術の概要			
出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	79人
当該医療技術の概要			
乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは20%程度で、残りの80%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHおよびPCRによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要			
骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。さらに遺伝子異常(転座)の証明が適応の有無を左右する抗がん剤も出てきており、診断のみでなく治療方針の点でも重要になってきている。また脳腫瘍に関しては、新WHO分類においてグリオーマなどの診断に遺伝子学的な情報が必須とわかれており、遺伝子検査を行わないと診断が確定できない状況となっている。診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必要な検査である。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要			
ESWLを用いて膵石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	215人
当該医療技術の概要			
早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィ	取扱患者数	73人
当該医療技術の概要			
肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	95人
当該医療技術の概要			
唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
新しい方法による医療で、外国で開発され、医学的効果が認められているが、日本では普遍化されていない医療。			

医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	66人
当該医療技術の概要 強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			
医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	118人
当該医療技術の概要 テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフエレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			
医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			
医療技術名	重症急性膵炎による感染性膵壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 近年NOTESの手法を応用し、経胃的に感染性膵壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			
医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	68人
当該医療技術の概要 食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			

医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	68人
当該医療技術の概要 胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式はいまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			
医療技術名	摂食嚥下発音リハビリテーション	取扱患者数	120人
当該医療技術の概要 口腔・咽頭部を外科的に治療および放射線療法した場合、組織欠損や瘢痕形成、疼痛、乾燥、味覚障害等により、摂食・嚥下・発音障害が生じる。これら術後患者に対する歯科補綴的アプローチ、すなわち口腔内に歯科補綴装置(PAP,PLP,顎義歯)を用いた摂食・嚥下・発音リハビリテーションをおこなっている。			
医療技術名	成人症例における歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	120人
当該医療技術の概要 従来の矯正歯科治療と比較し、歯科矯正用アンカースクリューを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			
医療技術名	成長期症例における歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 骨格的な改善が必要な成長期症例(例:下顎前突)において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみでの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、歯科矯正用アンカースクリューを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リンガルブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側(裏側)に矯正装置(ブラケット)を装着することにより、矯正装置が全く見えなく治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、歯科矯正用アンカースクリューを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	103人
当該医療技術の概要 歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	473人
当該医療技術の概要 頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、感染原の除去(抜歯等)、開口訓練を行い、手術創部の感染や、術後の誤嚥性肺炎を予防し、さらに口腔の機能回復を図る治療			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	73人
当該医療技術の概要 大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	切除可能膵癌に対する術前化学療法	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 切除可能膵癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			

医療技術名	切除不能膀胱癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
<p>切除不能と診断される膀胱癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。</p>			
医療技術名	頭頸部癌に対する密封小線源治療	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
<p>口唇、舌、口腔など頭頸部の早期癌に対して、Au198が密封された小さなシードといわれる線源を局所麻酔下で永久刺入する治療を行っている。手術に比べ機能、形態温存に優れ、体外照射に比べて有害事象が軽度に抑えられる利点がある。歯科では顎の骨を放射線から守るために、マウスピースを作製、装着してもらい、放射線潰瘍や下顎骨壊死の予防を行っている。</p>			
医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	66人
当該医療技術の概要			
<p>甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御的治療としては数少ない手段である。</p>			
医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	160人
当該医療技術の概要			
<p>急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。</p>			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
<p>血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健常な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)、神経免疫疾患などが適応となる。</p>			
医療技術名	エンドトキシン吸着	取扱患者数	39人
当該医療技術の概要			
<p>エンドトキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドトキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。</p>			
医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS)	取扱患者数	69人
当該医療技術の概要			
<p>緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。</p>			
医療技術名	体外膜型酸素化装置	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
<p>ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。</p>			
医療技術名	院外心肺停止患者の蘇生後脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要			
<p>院外心肺停止で搬送される患者さんが蘇生に成功した際、ただちに体温を34度まで下げて24時間維持するもの。低酸素に暴露された脳のダメージを最小限にできることが期待され、心肺蘇生の国際的ガイドラインでもそのエビデンスが支持されている。</p>			
医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
<p>緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一時的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。</p>			
医療技術名	一酸化炭素中毒患者に対する高圧酸素療法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
<p>第2種高圧酸素治療装置を用いて、一酸化炭素中毒発症後24時間で3回以内の治療を行うことで、遅発性脳症の発症抑制が期待される。</p>			

医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。			
医療技術名	前立腺癌に対するI-125密封小線源治療	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 低リスク前立腺癌に対して、I-125密封小線源を前立腺局所に挿入、留置する治療を行っている。手術に比べ機能温存に優れ、有害事象が軽度で抑えられる。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 脳に存在する機能野(言語野、運動野)を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	鏡視下食道癌手術における神経刺激装置を用いた術中リアルタイム反回神経の同定と温存	取扱患者数	65人
当該医療技術の概要 食道癌手術の合併症のひとつに反回神経麻痺があり、術後の嘔声、誤嚥の原因となる胸腔鏡下食道切除術において術中リアルタイムに反回神経を刺激装置NIMで同定し、確実な温存と麻痺を回避するもの。			
医療技術名	高度肝障害患者に対する完全腹腔鏡下肝切除	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 高度肝障害患者及び肝硬変患者の開腹手術は術後の腹水増加・コントロールに難渋するケースがしばしばある。完全腹腔鏡下肝切除は腹腔内圧を解放せずに手術が可能のため、術後早期回復に有用である。			
医療技術名	自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 自己免疫性肺胞蛋白症の進行予防および病態改善を目的としてGM-CSF吸入療法を実施している。吸入用GM-CSF製剤は海外より入手して行っている。			
医療技術名	ドナーリンパ球輸注(採取・調整・保存)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 同種造血幹細胞移植患者の再発やウイルス感染に対し、移植ドナーの血液を連続的に体外循環してリンパ球分画を採取する(骨髄バンクでは100ml/ドナー体重(kg)を処理量上限と定めている)。漸増投与を行う場合は、CD3陽性Tリンパ球をカウントして患者体重あたりの細胞数で分割し、同日投与分以外は凍結保存する。			
医療技術名	Convection-enhanced delivery (CED)による悪性脳腫瘍の治療	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 再発悪性脳腫瘍および外科的治療が困難な脳幹部悪性脳腫瘍に対して、定位的に挿入したカテーテルから抗癌剤を持続陽圧下に脳細胞間隙に局所注入し、高濃度かつ広範囲の薬剤分布を得る新規薬剤投与方法。高度の医療技術を要し、開発途上にある医療である。			
医療技術名	難治てんかんに対する集学的外科治療	取扱患者数	69人
当該医療技術の概要 乳幼児から成人までてんかん科医師、小児科医、高次脳機能障害科医師、放射線診断科医、精神科医、生理検査技師、臨床心理士と協働で、外科治療の適応判断と治療を行い、長期予後とQOLの改善を図る。東北地方においては本学のみが提供している医療である。乳幼児については、遠隔医療システムによる連携で北海道地域の医師と協働で治療を提供している。			
医療技術名	血液吸着(エンドトキシン以外)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 血液を吸着カラムに通し、病気の活動性の元となる液性成分(エンドトキシンやビリルビン)を除去する。これは主に急性期の生命の危機がある状況を改善すべく行われる。また、病因が必ずしもはっきりしていない慢性かつ難治性の疾患において、疾患活動性を発揮するリンパ球や好中球、あるいは自己抗体を除去するカラムで血液を浄化する治療法である。			
医療技術名	二重濾過プラスマフェレーシス(血漿製剤で置換)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 血漿分離器で血漿成分を分離後、原因物質を含む血漿分画を廃棄して、アルブミン製剤等で置き換える治療法。新鮮凍結血漿を用いる場合は輸血に関連する感染事故のリスクやフィブリノーゲンの減少などが生じるなど、総合的な治療管理の資源を要する治療である。対象は神経疾患、天疱瘡、膠原病の難治性病態を呈する各種の内科疾患、および外科系では肝不全が対象となっている。			



医療技術名	腹水濾過濃縮再静注	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 がん性腹膜炎、肝硬変、など腹水が大量に貯留し、難治性となる疾患は多岐にわたる。腹水にはがんや肝硬変に関連する細胞成分や液性因子が含まれている。この腹水を数リットル(3-7L程度)体外に抜き出し、無菌的に特殊なフィルターを通して濾過濃縮して可及的に生体に有害なサイトカインや細胞成分を除き、経静脈投与可能な質を担保し、元の患者に点滴再静注する治療法である。患者の腹満感の軽減、血漿製剤ではない自己の蛋白を再利用できる点で優れているが、濃縮工程や安全管理に高度な技術を要する治療である。			
医療技術名	正常眼圧緑内障に対する鍼治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 正常眼圧緑内障の治療は眼圧の低下や視神経保護、眼底血流低下の改善などが行われるが、従来の点眼薬や内服薬治療を行っていても視野障害が悪化する症例もあり、鍼治療が眼底血流改善の効果を有することが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療法である。			
医療技術名	肝門部領域胆管癌手術	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 肝門部領域に発生した癌の切除には、局所の解剖の熟知や肝機能、残肝容積などから最適な術式を選択する必要がある。また、肝動脈、門脈などの再建が必要となる事も多く、術前、術中、術後ともに、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除境界膵癌に対する手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 膵臓癌は局所進行の程度により門脈や動脈に浸潤し、切除の可能性が五分五分となるような、切除境界例が多く存在する。このような症例に対して切除が可能かどうかは術前の念入な画像診断と、術中の局所の所見により判断され、安全に、かつ根治的に切除を行い、術後合併症の低減のためにはハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とする。			
医療技術名	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 食道アカラシアは、下部食道括約筋の弛緩不全が原因であるが、この部分の筋層を切開することが治療となる。POEMは経口軟性内視鏡で、食道粘膜下層に入り、筋層切開を行う手技で、体表に創がつかず、回復も早い。高度な手技であるが、有用性は高く、今後の標準治療になるものと思われる。			
医療技術名	ガスクロマトグラフによる口内気体分析	取扱患者数	27人
当該医療技術の概要 センサタイプガスクロマトグラフ、FPD方式ガスクロマトグラフをそれぞれ使用することで、高度な口臭症の診断・治療を行う。			
医療技術名	内視鏡を用いた口内アプローチによる低侵襲手術	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 顎口腔外科の疾患の中には、病変の位置によって皮膚切開を併用する必要があるが、顔面神経障害や顔面醜形の問題がある。特に異所性埋伏歯、良性腫瘍、唾石症、外傷において、それらの問題を改善するため、内視鏡を併用した口内アプローチを用いることにより、手術の低侵襲化が期待される治療である。			
医療技術名	腹腔鏡補助下膵頭十二指腸切除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 腹部手術の中で最も侵襲の高い手術の一つである膵頭十二指腸切除を腹腔鏡補助下に行うことで手術侵襲を軽減し、術後早期回復が期待できる治療である。			
医療技術名	腹腔鏡下袖状胃切除術+十二指腸空腸バイパス術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 病的肥満症に対して我が国では腹腔鏡下袖状胃切除術が保険承認されているが、我々の研究では十二指腸空腸をバイパスし食事が通らなくすることで肥満のみならず糖尿病の改善効果があることが示されており、糖尿病を合併した病的肥満患者に対する体重減少+糖尿病改善効果を認める有望な治療法である。			
医療技術名	High Resolution Manometry (HMR) による食道運動機能評価	取扱患者数	94人
当該医療技術の概要 多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に食道内に挿入留置し、全食道の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびに食道バリウム透視では検出されない食道運動異常を検出する検査である。食道アカラシア、食道運動機能異常、ジャックハンマー食道の診断および治療評価を行う。			

医療技術名	慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するカテーテル治療	取扱患者数	142人
当該医療技術の概要			
慢性血栓塞栓性肺高血圧症は予後不良疾患であるが、カテーテルによる肺動脈形成術を当院では行っている。また、良好な成績を収めている。			
医療技術名	大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植え込み術	取扱患者数	37人
当該医療技術の概要			
循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、コメディカルスタッフによるハートチームを結成し、高齢者を中心とした重症大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル的大動脈弁植え込み術を施行しており、良好な成績を収めている。			
医療技術名	3次元マッピングシステムを用いたカテーテルアブレーション	取扱患者数	218人
当該医療技術の概要			
心房細動などの詳細な解剖の把握が必要となる不整脈治療において、CARTO, Navxなどの3次元マッピングシステムを用いて良好な成績を収めている。			
医療技術名	胃癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
胃癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し0, 1+, 2+, 3+の4段階に分類。このうち0, 1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは30%強で、残りの70%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の胃癌診療ガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	がんクリニカルシーケンス検査	取扱患者数	249人
当該医療技術の概要			
次世代シーケンサーを用いてがん関連遺伝子の遺伝子変異および融合遺伝子検査を行い、治療標的となる遺伝子異常の同定とその遺伝子異常に基づいた最適な治療薬の提案を行う。			
医療技術名	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 2 低位前方切除術	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要			
直腸癌と診断され、他の臓器に浸潤がなくがんの進行度(ステージ)が0からIIIで、手術により病巣を完全に切除(根治手術)可能と判断された直腸癌治療のため、遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。この装置(ロボット)を用いて、お腹の中の構造を立体的で高解像度な画像で把握して、操作ボックスの手術者の動きを術野において器具の微細な動きとして忠実に再現し、手術を行う。直腸が位置する狭い骨盤の中には性、排尿機能をつかさどる多数の神経が存在し、癌の根治性を担保しながら神経を温存することによって機能温存を図る可能が高くなる手術が可能と期待されています。			
医療技術名	生体部分肝移植における顕微鏡下動脈後壁支持吻合術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
顕微鏡下動脈後壁支持吻合術は動脈にねじれの力をかけずに再建できる有用な手法である。これを生体部分肝移植における微小動脈再建に導入することで、動脈合併症軽減(閉塞、解離の軽減)に寄与すると考えられる。			
医療技術名	生体部分肝移植ドナー手術における小開腹ドナー肝切除法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
生体部分肝移植におけるドナーの体力的負担は非常に大きい。従来ドナー手術では安全性確保のため逆T字切開による大開腹が基本であったが、腹直筋が横断されるため術後筋力低下が指摘されていた。これは、ドナーの負担軽減と筋力低下阻止を目的として上腹部正中切開(小開腹+場合によっては腹腔鏡補助)のみでのドナー手術を施行する新しい手術法である			
医療技術名	植込み型補助人工心臓治療	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
深刻なドナー不足のため現在心臓移植待機期間は3年を超えている。内科的治療抵抗性の重症心不全で、心臓移植が唯一の治療手段だったとしても、待機中に亡くなってしまふ患者が多い。植込み型補助人工心臓は、心臓移植までの橋渡し治療として、2011年に保険償還が下り、当院でも患者数が増えている。患者は在宅治療が可能になりQOLが向上。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
腎盂尿管狭窄による先天性あるいは後天性の水腎症に対する手術である。従来は開腹あるいは腹腔鏡下での手術を行っていたが、ロボット支援手術による繊細な形成術と吻合によって良好な成績を収めている。			

医療技術名	腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 精巣腫瘍などによる後腹膜リンパ節郭清は開腹手術が標準術式であるが、郭清するリンパ節の範囲がある程度限局している症例では腹腔鏡下での郭清が可能であり、開腹術と比較して傷の大きさや術後の回復までの期間短縮などの点で大きなメリットがある。			
医療技術名	腸管不全関連肝機能障害に対する $\omega$ 3系脂肪製剤投与	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 肝機能障害を来した腸管不全症例に対する治療法の1つとして、 $\omega$ 3系脂肪製剤の投与が著明な改善効果を有すると報告されている。しかし、現在、国内で認可されている静脈投与可能な脂肪製剤は $\omega$ 6系脂肪製剤のみである。入手可能な $\omega$ 3系脂肪製剤はOMEGA VENだが、これは国内では製造・販売・承認されておらず、保険診療内では行えない治療で、倫理委員会の許可を得て行っている治療法である。			
医療技術名	婦人科癌に対する組織内照射	取扱患者数	48人
当該医療技術の概要 婦人科癌において、腫瘍の大きさや形状によって、通常の腔内照射のみでは腫瘍に線量が十分カバーされない事もあるので、組織内照射を併用することで、抗腫瘍効果ならびに副作用軽減がより期待できる治療である。			
医療技術名	顎顔面領域でのCAD/CAMサージカルガイドによるコンピューター支援手術	取扱患者数	57人
当該医療技術の概要 歯科顎口腔外科、形成外科、耳鼻科、歯科技術部門による連携により、顎骨切除時の三次元的な顎位復元を目的としたガイド作製や、矯正歯科と歯科顎口腔外科で治療にあたる顎矯正手術時の上顎骨位置決めスプリントの作製において、コンピューターシミュレーションを応用して術後予測を検討し、そのシミュレーションの確実な施行のためのサージカルガイドをCAD/CAMにて作製し、手術支援を行う。この支援手術により、手術時間の短縮、咬合機能、接触嚥下機能、審美的満足度の向上がはかれる。			
医療技術名	グラスファイバー補強高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 コンポジットレジンブリッジをグラスファイバーで補強することで、メタルフリーのブリッジを臼歯部に適応する治療であり、良好な成績を収めている。			
医療技術名	リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 リンパ浮腫に対して、1mm以下の細いリンパ管を静脈と吻合する、高度な技術を必要とする手術である。			
医療技術名	ロボット支援下食道切除術	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 高度な技術が求められる胸腔鏡下食道癌手術において、より繊細な操作のできるロボットを利用することにより反回神経麻痺の発生を抑制できるなどの効果が認められている。高度な技術と知識を要する手術である。			
医療技術名	食道癌放射線治療後の局所再発に対する光線力学療法	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 食道癌放射線治療後の局所再発に対して内視鏡下に行う治療方法。光感受性物質であるレザフィリンとレーザーを組み合わせ腫瘍細胞を壊死させる。Salvage食道切除術と比べ非侵襲的であり、かつ局所制御に優れている。			
医療技術名	胸椎後縦靭帯骨化症に対する3Dナビゲーションを用いた骨化巣前方浮上術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 下肢に重篤な麻痺を生じる病態である胸椎後縦靭帯骨化症に対しては、その解剖学的な位置関係から前方の骨化巣を浮上させる極めて高度かつ難易度の高い手技が要求される。当院では3Dナビゲーションを用いた方法を導入している。			
医療技術名	脳磁図検査によるてんかん焦点の局在診断と機能野の同定	取扱患者数	127人
当該医療技術の概要 ニューロンが活動する際に生じる磁場活動から活動源の皮質を評価する検査法である。優れた空間分解能を特徴とし、てんかん診断のみならずてんかん外科治療の術前診断にも重要な役割を果たす。一方で、専門性の高さなどのため、本邦で実施できる施設は東北大学を含め極めて限られている。			
医療技術名	ポリグリコール酸シートおよび自己フィブリン糊を用いた口腔外科手術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 顎口腔領域の手術における切除創面の被覆および局所止血を目的として、ポリグリコール酸シート(PGAシート)と共に自己フィブリン糊を用いる方法である。自己血漿から自己フィブリン糊調製装置(クリオシールシステム)により自己クリオプレシピテート(自己クリオ)と自己トロンビンを作製して用いる。創傷被覆・止血・接着に加え、組織修復促進や局所感染予防の効果も期待される。			

医療技術名	経皮的心房中隔欠損症閉鎖術	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要			
二次孔型心房中隔欠損症に対するカテーテル閉鎖術を、2019年4月より当科で行っている。当手技は、厳密な施設認定、術者認定を要するものであり、東北地方全体でもその認可施設は多くない。良好な成績を収めている。			
医療技術名	経皮的卵円孔開存症閉鎖術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
奇異性脳塞栓症の原因となる卵円孔開存症に対するカテーテル閉鎖術を、2020年1月より当科で行っている。当手技は、厳密な施設認定、術者認定を要するものであり、東北地方全体でもその認可施設は多くない。良好な成績を収めている。			
医療技術名	ロボット支援下肺葉切除	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
現在肺癌に対して、高度技術として行われている手技は、完全胸腔鏡下肺葉切除であるが、より緻密な操作が可能であるロボット支援下肺葉切除は、胸腔鏡下手術のみではアプローチ困難な手技を安全に行うことが可能であり、今後さらに症例は増えていくものと思われる。			
医療技術名	CAR-T細胞療法に用いる患者の末梢単核球の採取・調製・保管	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要			
難治性悪性リンパ腫や急性リンパ性白血病への治療として、患者Tリンパ球をアフエレーシスにより十分量採取し、遺伝子改変したキメラ抗原受容体を発現させ、患者体内に戻すのがCAR-T療法である。再生医療等製品の原材料に当たるため、品質管理体制に関して監査を受け、認可された施設のみが実施できる。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	11	56	ベーチェット病	151
2	筋萎縮性側索硬化症	122	57	特発性拡張型心筋症	191
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	30
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	25	60	再生不良性貧血	43
6	パーキンソン病	136	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	8	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	6	63	特発性血小板減少性紫斑病	61
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	28
11	重症筋無力症	75	66	IgA 腎症	47
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	43
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	279	68	黄色靱帯骨化症	11
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	32	69	後縦靱帯骨化症	65
15	封入体筋炎	9	70	広範脊柱管狭窄症	9
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	59
17	多系統萎縮症	42	72	下垂体性ADH分泌異常症	22
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	87	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライゾソーム病	24	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	10
21	ミトコンドリア病	18	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
22	もやもや病	29	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	175
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	11	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	10
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	15	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	241
30	遠位型ミオパチー	7	85	特発性間質性肺炎	81
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	107
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	110
34	神経線維腫症	40	89	リンパ脈管筋腫症	32
35	天疱瘡	24	90	網膜色素変性症	54
36	表皮水疱症	2	91	パッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	12	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	80
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	12
40	高安動脈炎	96	95	自己免疫性肝炎	10
41	巨細胞性動脈炎	10	96	クローン病	383
42	結節性多発動脈炎	45	97	潰瘍性大腸炎	378
43	顕微鏡的多発血管炎	31	98	好酸球性消化管疾患	4
44	多発血管炎性肉芽腫症	26	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	8
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	31	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	11	101	腸管神経節細胞減少症	3
47	パージャール病	12	102	ルピンシユタイン・テイビ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	13	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	523	104	コステロ症候群	1
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	227	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	88	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	92	107	若年性特発性関節炎 (旧 全身型若年性特発性関節炎)	1
53	シェーグレン症候群	60	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	30	109	非典型溶血性尿毒症症候群	2
55	再発性多発軟骨炎	8	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	4	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	20
113	筋ジストロフィー	26	163	特発性後天性全身性無汗症	6
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	2
117	脊髄空洞症	4	167	マルファン症候群	7
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	7
119	アイザックス症候群	2	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	5
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	7	177	ジュベール症候群関連疾患 (旧 有馬症候群)	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脚症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	1
140	ドラベ症候群	2	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	2
144	レノックス・ガストー症候群	4	194	ソトス症候群	1
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シン普森症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	2
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	1	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	1	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	1
158	結節性硬化症	10	208	修正大血管転位症	6
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	8
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	8

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数	
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	9	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	13	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	7	264	無βリポタンパク血症	1
217	エプスタイン病	2	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	2	266	家族性地中海熱	4
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	35	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	22
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274	骨形成不全症	3
227	オスラー病	6	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	1	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	12	277	リンパ管腫症/ゴーム病	2
230	肺胞低換気症候群	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	2
232	カーニー複合	1	280	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	4
233	ウォルフラム症候群	2	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	7
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	2	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	1
240	フェニルケトン尿症	7	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	1
244	メーブルシロップ尿症	1	292	総排泄腔外反症	1
245	プロピオン酸血症	1	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	2	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	28
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	2
250	グルタル酸血症2型	1	298	遺伝性膀胱炎	4
251	尿素サイクル異常症	4	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	60
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	3
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	1	303	アッシャー症候群	1
256	筋型糖原病	2	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	4	305	遅発性内リンパ水腫	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	5



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナパン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	1	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
316	カルニチン回路異常症	1	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	1
318	シトリン欠損症	1	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 (旧 先天性気管狭窄症)	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	6
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・歯科外来診療環境体制加算2	・データ提出加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・入退院支援加算1、3
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)(精神 病棟13対1)	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算1	・救命救急入院料3
・医師事務作業補助体制加算1(40対1)	・特定集中治療室管理料1
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・看護職員夜間配置加算1(12対1)	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中 治療室管理料)(新生児集中治療室管理料)
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1、2	・小児入院医療管理料2
・緩和ケア診療加算	・緩和ケア病棟入院料1
・精神科応急入院施設管理加算	・入院時食事療養(I)
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・総合評価加算	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ
・糖尿病合併症管理料	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・精密触覚機能検査
・がん患者指導管理料イ、ロ、ハ	・骨髄微小残存病変量測定
・外来緩和ケア管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)(造血幹細胞移植後)	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・糖尿病透析予防指導管理料	・検体検査管理加算(IV)
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・国際標準検査管理加算
・外来放射線照射診療料	・遺伝カウンセリング加算
・ニコチン依存症管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算	・胎児心エコー法
・がん治療連携計画策定料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・排尿自立指導料	・ヘッドアップティルト試験
・肝炎インターフェロン治療計画料	・人工臓器検査、人工臓器療法
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・長期継続頭蓋内脳波検査
・薬剤管理指導料	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・脳波検査判断料1
・医療機器安全管理料1、2	・神経学的検査
・歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料	・補聴器適合検査
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・内服・点滴誘発試験
・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	・画像診断管理加算1、2
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・歯科画像診断管理加算1、2
・遺伝学的検査	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ	・CT撮影及びMRI撮影
・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	・冠動脈CT撮影加算

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外傷全身CT加算	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・心臓MRI撮影加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・乳房MRI撮影加算	・手術用顕微鏡加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・CAD/CAM冠
・外来化学療法加算1	・手術時歯根面レーザー応用加算
・無菌製剤処理料	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・センチネルリンパ節加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・皮膚移植術(死体)
・運動器リハビリテーション料(I)	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・がん患者リハビリテーション料	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・児童思春期精神科専門管理加算	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・認知療法・認知行動療法1	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便過活動膀胱)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・羊膜移植術
・医療保護入院等診療料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・口腔粘膜処置	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・口腔粘膜血管腫凝固術	・網膜再建術
・レーザー機器加算	・人工中耳植込術
・硬膜外自家血注入	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺)(副甲状腺)	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・人工腎臓	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術 ・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 ・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・補助人工心臓
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・同種心移植術
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・同種心肺移植術
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	
・同種死体肺移植術	
・生体部分肺移植術	
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの) ・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術 ・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。) ・腹腔鏡下肝切除術
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・生体部分肝移植術
・内視鏡下筋層切開術	・同種死体肝移植術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・体外衝撃波結石破碎術
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・経カテーテル大動脈弁置換術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
・磁気ナビゲーション加算	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・生体部分小腸移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・同種死体小腸移植術

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・歯根端切除手術の注3
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・麻酔管理料(I)(II)
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・放射線治療専任加算
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・高エネルギー放射線治療
・同種死体腎移植術	・1回線量増加加算
・生体腎移植術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・膀胱水圧拡張術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)(子宮頸がんに限る。)	・病理診断管理加算2
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1	・口腔病理診断管理加算2
・輸血管管理料I	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・貯血式自己血輸血管管理体制加算	・歯科矯正診断料
・コーディネート体制充実加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・自己生体組織接着剤作成術	
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	・
・マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は術後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	290回
剖検の状況	剖検症例数 21 例 / 剖検率 3.6 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
合併症が再現でき消化管の層構造をもつ、安全な内視鏡治療手技モデルを開発する	菅野 武	消化器内科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
放射線認知障害: Advanced MR による発症機構解明と動物モデルによる検証	麦倉 俊司	放射線診断科(放射線部)	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Muse細胞を用いた中枢神経治療のための研究基盤構築	富永 悌二	脳神経外科	13,650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
味覚障害の病因解明と治療戦略の構築 ー日本ータイ二国間比較研究ー	庄司 憲明	口腔診断科	2,200,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
上皮系細胞から上皮間葉転換(EMT)誘導を応用した歯胚形成	齋藤 幹	小児歯科	2,990,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
医ー獣医連携による未来型EX VIVO医療技術トレーニングシステムの構築	野田 雅史	呼吸器外科	4,420,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
超微小転移リンパ節の精密診断と新化学療法に関する総合的研究	阪本 真弥	口腔診断科	5,460,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
浸潤病変の局所制御と術後機能温存を両立する微弱衝撃波パルスジェットメスの開発	中川 敦寛	脳神経外科	13,780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
加齢による呼吸器疾患とリゾホスファチジン酸の関連ー肺の中の混沌と秩序ー	兼平 雅彦	卒後研修センター(先端医療技術トレーニングセンター)	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
OATP4C1の薬物体内動態への関与	山口 浩明	薬剤部	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症における新規分子病態を基盤としたバイオマーカーの開発	菊地 順裕	循環器内科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
認知行動療法が心身症患者の自己評価機能に及ぼす効果の脳画像による検証	佐藤 康弘	心療内科	650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計 12 件

医師主導臨床研究でのePROシステムの開発と普及	高田 宗典	臨床試験データセンター	650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
非侵襲的脳機能イメージング法を用いた歯根膜感覚受容変化メカニズムの解明	日原 大貴	咬合回復科	650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
パルス磁気刺激装置による摂食嚥下訓練の効果の筋電図学的評価	埴 総司	咬合回復科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
感性評価とプラーク除去評価による個別介助歯磨きスキルの習得支援プログラムの開発	猪狩 和子	障害者歯科治療部	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
顎矯正手術後の骨代謝亢進機構の解明と新しい治療体系への応用	阿部 陽子	歯科顎口腔外科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
胆道癌移植モデルを用いた脱ユビキチン化酵素の機能解析と新規薬物療法の開発	石田 匡彦	矯正歯科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
臨床応用可能な安全で機能的なヒトiPS細胞由来歯性間葉細胞の誘導技術の開発	関 大輔	矯正歯科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
$\gamma$ $\delta$ T細胞が制御する骨代謝機構の解明と骨破壊性疾患分子標的薬の可能性の検討	西村 寿晃	顎口腔機能治療部	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
生体内ウェアラブル測定装置による義歯床下荷重解析に基づく最適義歯設計の探索	依田 信裕	咬合回復科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
自然災害の被害にあった地域での精神医療・保健体制の構築に関する研究	奥山 純子	肢体不自由リハビリテーション科	130,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
毛様細胞性星細胞腫微小残存病変の検出と臨床応用	渡辺 祐子	小児科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
抗血管リンパ管新生療法は癌微小環境を改善し癌免疫療法の効果を増強する	岡崎 達馬	肢体不自由リハビリテーション科(リハビリテーション部)	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
マイクロ波ドライプロセスによる歯科インプラントアパットメントのTiN表面改質	伊藤 彩	周術期口腔支援センター	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件



呼吸・循環障害を合併した高度肥満症への包括的リハビリテーションの有効性の確立	高橋 珠緒	内部障害リハビリテーション科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マルファン症候群から迫る新規歯周病ペプチドの創製	折本 愛	保存修復科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
GDF-5と歯髄幹細胞ニッチを併用した新たな象牙質再生療法樹立の試み	丸谷 由里子	小児歯科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道ESD後難治性狭窄に対する自家細胞移植を用いた狭窄予防効果に関する研究	櫻井 直	移植・再建・内視鏡外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
緑色蛍光タンパク質結合一本鎖人工抗体を用いた癌可視化システムの構築および臨床応用	林 洋毅	肝・胆・膵外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ナノバブル発生技術を用いた脊髄液酸素化による対麻痺への新たな治療法の探求	秋山 正年	心臓血管外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
動脈瘤壁の治癒と穿通枝温存を両立する紡錘状動脈瘤治療用ステントの開発	遠藤 英徳	脳神経外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
麻酔薬によるKv1.3チャネルを介した免疫抑制作用の機序解明と予後改善戦略	外山 裕章	麻酔科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ハイドロゲル埋め込み電極を用いた治療的電気刺激による嚥下障害治療モデルの開発	小川 武則	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経膠腫の術前画像診断のためのT1rho MRIの撮像法と評価法の確立	明石 敏昭	放射線診断科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
てんかんモニタリング入院精査の心理社会的介入効果の実証：術前多施設コホート研究	藤川 真由	てんかん科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来神経オルガノイドを用いた筋萎縮性側索硬化症の軸索病態の解析	鈴木 直輝	神経内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆道癌にて高頻度に同定されたGCF2遺伝子変異がもたらす転移形成メカニズムの解明	深瀬 耕二	肝・胆・膵外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

多層性血流制御ステントによる解離性大動脈瘤治療のための流体力学的基礎研究	鈴木 佑輔	心臓血管外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタボリック症候群を病理基盤とした過活動膀胱の病態解明と早期診断法の開発	佐竹 洋平	泌尿器科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢視野狭窄患者の自動車運転能力の評価と運転支援	国松 志保	眼科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PTSD症状を有する統合失調症に対する認知処理療法の実施可能性についての検討	砂川 恵美	リハビリテーション部門	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺と他臓器のエクソソームによる相互コミュニケーションに着目したCOPD病態の解明	牧口 友紀	呼吸器内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌の施設内および施設間伝播様式の解明と環境感染制御	金森 肇	総合感染症科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膀胱がん再発予防を目的としたソノポレーション法による新規抗がん剤投与方法の開発	佐藤 琢磨	泌尿器科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポリフェノール光酸化反応を応用した殺菌消毒法の確立:より安全な補綴治療を目指して	倉内 美智子	咬合修復科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
副鼻腔真菌症の原因真菌とその微生物叢解析による重篤化予防と疾患制御に関する研究	角田 梨紗子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シスプラチン耐性卵巣癌の新規治療標的分子TIE-1の機能解析	石橋ますみ	産科・婦人科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖鎖とNK細胞の相互作用を用いた切除不能腎癌に対する新規免疫療法の確立	川崎 芳英	泌尿器科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥大心筋虚血再灌流に対する新規インドール化合物の心筋保護への応用	熊谷 紀一郎	心臓血管外科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MRIと流体シミュレーションによる脳脊髄液の動態生理と正常圧水頭症の病態の解明	鎌田 裕基	放射線診断科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

分子標的治療薬および化学療法薬が肺癌の免疫微小環境に与える影響	齊藤 涼子	病理部	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌の治療感受性を予測する新規バイオマーカーの探索	大内 康太	がんセンター	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
解糖系酵素ピルビン酸キナーゼM2による炎症性疾患の制御	白井 剛志	リウマチ膠原病内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
「window」に注目した上半規管裂隙症候群の病態・治療に関わる基礎的検討	池田 怜吉	耳鼻咽喉・頭頸部外科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
微小還流を用いた筋・筋膜性疼痛の組織液採取と組成解析	小野田 祥人	整形外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
MOG抗体関連脳脊髄炎における細胞性免疫動態に関する研究	三須 建郎	脳神経内科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Muse細胞を用いた脊髄損傷に対する新しい細胞移植治療法の開発	遠藤 俊毅	脳神経外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
抗菌薬耐性菌の多施設全県サーベイランスと細菌学的解析による伝播リスク評価法の開発	徳田 浩一	感染管理室	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
生体内分化誘導によるALS神経再生戦略の開発	割田 仁	神経内科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
心筋炎における新たな細胞治療	高橋 悟朗	心臓血管外科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
骨盤内臓器神経クロストークの病態解明と難治性骨盤痛症候群における新規治療法の開発	川守田 直樹	泌尿器科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
MDM2を中心とした食道扁平上皮癌の化学放射線抵抗性因子と新規分子標的薬の研究	岡本 宏史	移植・再建・内視鏡外科	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Truncated IL-36 $\beta$ を用いた悪性黒色腫治療	沼崎 宗夫	加齢・老年病科	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

心臓リハビリテーションにおける肺高血圧症の新たな非侵襲的重症度評価法の開発	秋月 三奈	リハビリテーション部門	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
経口放射性薬剤による乳糜胸の重症度・胸管損傷部位の非侵襲的診断法の確立	高浪 健太郎	放射線診断科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
切削用医療機器に固着するヒト由来組織の安全な除染法と自動化に関する研究	金澤 悦子	材料部	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
語性失読の障害機序の解明と、それに基づいた訓練手技の開発に関する研究	遠藤 佳子	リハビリテーション部門	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷に対する低出力体外衝撃波治療による神経栄養因子発現と二次損傷抑制	菅野 晴夫	整形外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
甲状腺未分化癌に対する新規治療法および治療薬の開発	西條 憲	腫瘍内科	1,650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗CCP抗体産生B細胞レパトア解析による新規関節リウマチモニタリング方法の開発	石井 智徳	血液・免疫科(臨床研究推進センター)	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
原因不明の消化器症状と食思不振患者における脳-消化管神経機能の類似性の検討	庄司 知隆	心療内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢患者むけ自記式調査票のユニバーサルデザイン化を実現するための研究	富田 尚希	加齢・老年病科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
$\alpha$ シヌクレインを介するヒストン修飾機構の解明	菅野 直人	神経内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病因特異的治療の可能性を秘めた新規コレステロール合成経路代謝異常症の疾患概念確立	菊池 敦生	小児科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎生期のsubplate neuron損傷が脳の成長発達に与える影響の解析	埴田 卓志	小児科(周産母子センター)	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
表皮内鉄代謝と炎症性皮膚疾患	浅野 雅之	皮膚科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

口腔癌の顎骨浸潤と浮腫・炎症の鑑別に有効な客観的画像診断指標の確立	村田 隆紀	放射線診断科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マージナルドナー肝移植とMuse細胞移植を融合した新たな末期肝不全治療法の開発	宮城 重人	移植・再建・内視鏡外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
代謝手術のNASH改善効果 酸化ストレスからみた空置空腸の意義	田中 直樹	胃腸外科	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵インスリンノーマにおけるプロゲステロン受容体発現意義の解明	青木 豪	肝・胆・膵外科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日本人ゲノム解析ツールによる股関節形成不全の疾患感受性遺伝子の探索	千葉 大介	整形外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多彩な閉塞病型と遺伝子発現制御に着目した胆道閉鎖症の病因・病態進展に関する研究	佐々木 英之	小児外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
経年的CTデータ分析に基づく顎骨リモデリングFEAの開発	重光 竜二	咬合回復科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部腫瘍切除に伴う下顎骨付着筋の切断が及ぼす下顎位偏位、歯列変形への影響	佐藤 奈央子	顎顔面口腔再建治療部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Hif1 $\alpha$ の役割解明に基づくiPS細胞由来歯性上皮細胞への新規分化誘導方法の確立	吉田 倫子	矯正歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
矯正歯の移動時における振動刺激の骨リモデリング亢進に対するTGF $\beta$ の機能解析	佐々木 紀代	矯正歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
主観的評価による臨床評価手法の最適化に基づく革新的医療機器開発促進のための研究	保坂 実樹	臨床研究推進センター	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腱板修復術後患者の修復腱板に加わる張力の定量的評価法の開発	石川 博明	リハビリテーション部門	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
左室駆出率が保たれた心不全の日米比較	後岡 広太郎	循環器内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

微小血管狭心症の病態機序における内皮由来過分極因子の重要性の解明	白戸 崇	臨床研究推進センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
筋疾患の封入体形成に共通する病態基盤の解明と治療標的分子の探索	井泉 瑠美子	脳神経内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
中枢性炎症性脱髄疾患における虚血性組織障害の関与とその治療応用	高井 良樹	神経内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポンプレス人工胎盤システムの開発: 人工羊水に対する濾過殺菌法の検討	佐藤 信一	小児科(周産母子センター)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Metomidateを使った原発性アルドステロン症の新たな診断法の確立	外山 由貴	放射線診断科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
補体結合性抗HLA抗体とIgGサブクラスの臓器移植後慢性拒絶反応における役割	戸子台 和哲	移植・再建・内視鏡外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
補体第3因子阻害による凝固・補体系抑制を介した肝細胞移植後早期炎症反応の制御	中西 渉	移植・再建・内視鏡外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規低弾性チタン合金であるTi-Nb-Sn合金を用いた骨折治療インプラントの開発	上村 雅之	整形外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
患者皮膚から誘導する神経膠様細胞を用いた難治性疼痛に対する移植治療	村上 徹	麻酔科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内膜症への網羅的TCRレパートリー解析の導入; 新規子宮内膜症治療戦略に向けて	渡邊 善	婦人科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨形成能を有する生体吸収性マグネシウム合金の可能性ー骨代謝に与える影響の検討ー	三浦 千絵子	形成外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
インフラマソームを標的とした低出力超音波パルスを用いた新規歯内治療の基盤構築	須藤 瑞樹	歯周病科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アクチン結合蛋白質の歯胚形成における役割の解析	日野 綾子(宮本綾子)	小児歯科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

失語症患者のためのQOL評価尺度の開発とQOL予測アルゴリズムの作成	成田 渉	高次脳機能障害科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
トランスプロフェッショナル教育モデルを用いた卒前医学教育プログラム開発とその検証	田中 淳一	総合地域医療教育支援部	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頭部外傷後精神疾患:包括的な支援体制の構築と発症要因特定のための研究基盤の形成	佐久間 篤	精神科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん患者家族における複雑性悲嘆のリスクアセスメント:死別前後の比較検討	佐竹 宣明	緩和医療部	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
長期コホート調査によるビッグデータに基づく稀な難治性リンパ腫の臨床病理学的研究	福原 規子	血液内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症発症過程と海馬グルタミン酸神経系の異常:感情経路仮説に基づくMRS解析	伊藤 文晃	精神科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌術中迅速断端診断のためのMRI拡散強調画像撮像技術の開発	森 菜緒子	放射線診断科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨形成不全症の分子基盤の解明とWntシグナルとOASISの活性化による新規治療	菅野 潤子	小児科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵上皮内癌周囲の膵腺房細胞萎縮に着目した膵癌早期診断の基礎的研究	菅野 敦	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺胞上皮細胞における転写因子LHX9の機能とCOPD病態における役割解明	山田 充啓	呼吸器内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新鮮気道分泌液の質的变化に起因する粘膜防御能脆弱化メカニズムの解明とその制御	玉田 勉	呼吸器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リンパ管を標的とした新たな胸膜炎治療の検討	小林 誠	呼吸器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
喘息気道における上皮破綻のメカニズムの解明 -ミトコンドリア機能から迫る-	市川 朋宏	呼吸器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

腸腎連関：腸内細菌叢が慢性腎臓病に与える正負両因子の解明	三島 英換	腎・高血圧・内分泌科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性皮膚疾患におけるヒアルロン酸バイオロジーの解析と創薬基盤強化の新機軸の探求	水芦 政人	皮膚科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
後天性鉄芽球性貧血の分子疫学及び病態の解明	藤原 亨	血液・免疫科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
POEMを応用した体内臓器への新しい低侵襲到達ルートの開発	佐藤 千晃	移植・再建・内視鏡外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
内因性抗菌タンパクの潰瘍性大腸炎・回腸囊炎への病態関与およびバイオマーカーの検討	渡辺 和宏	胃腸外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌の多様性を制御する「マイクロエクソン」の同定	唐澤 秀明	胃腸外科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
血液メタボロミクスによる胆嚢癌予後予測因子解析	中川 圭	肝・胆・膵外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
癌微小環境におけるWnt関連蛋白LRRFIP1の発現調節と浸潤転移促進機構の解明	大塚 英郎	肝・胆・膵外科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
腹部大動脈瘤拡大におけるHelicobacter Cinaedi菌の関与の解明	菅原 宏文	移植・再建・内視鏡外科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Type 1 regulatory T細胞による肺移植後の新規免疫抑制療法	大石 久	呼吸器外科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症における内皮微小粒子の動態とその病態生理学的作用の解明	齋藤 浩二	集中治療部	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Muse細胞を用いたてんかん原性治療手法の確立	大沢 伸一郎	脳神経外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Inflammasomeの評価による筋痛の病態解明	綿貫 宗則	整形外科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件



低弾性チタン合金インプラントによる応力遮蔽抑制効果と骨癒合促進効果の検討	森 優	整形外科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
緑内障病態におけるNrf2を介した硫化水素や補酵素の神経保護作用の検討	檜森 紀子	眼科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
腸管・口腔・結膜菌叢解析による眼疾患診断法の開発	横倉 俊二	眼科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ケロイド発生過程における脂肪細胞と線維芽細胞との関連性の解明	長尾 宗朝	形成外科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
モーダル解析によるオッセオインテグレーションとスクリー連結状態の検査機器の開発	宮下 牧子	咬合回復科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
人工知能による機械学習を基盤とした支台歯形成技能評価自動化システムの開発	奥山 弥生	咬合修復科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
形状記憶ゲルとバルーン技術を利用した3次元口腔・鼻咽腔印象採得方法の開発	小山 重人	顎顔面口腔再建治療部	2,210,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
骨格筋MRIを用いた舌内部における筋機能分布の3次元解析	山口 哲史	高齢者歯科治療部	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
PETバリデーションFEAに基づく顎骨リモデリングシミュレーションの構築	水戸 武彦	顎顔面口腔再建治療部	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症の骨代謝異常の解明に向けたRunx2の機械的応答機構の解析	福永 智広	矯正歯科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
周術期乳癌患者への予知的口腔支援システムの構築	丹田 奈緒子	予防歯科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
医療従事者や介助者に資する多機能型水晶体被曝防護機器の開発	常陸 真	医・保健学専攻放射線検査額分野(放射線部)	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
心的トラウマが精神病の発症・慢性化に与える影響を探索する心理学・症候学的研究	上田 一気	精神科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

悪性黒色腫におけるメラニン合成系を介した免疫寛容誘導機序の解析	日高 高德	皮膚科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
病理イメージングを用いたタウオパチーにおけるタウ-グリオーシス相互作用の解明	原田 愛子(石木愛子)	加齢・老年病科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
微小肺血管計測による肺移植後慢性拒絶反応の早期診断法の開発	佐藤 嘉尚	放射線診断科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
MRI-Linac用 NonlinearCCC線量計算アルゴリズムの開発	伊藤 謙吾	放射線治療科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
T1 $\rho$ による海馬てんかん原性病変検出法の開発	佐藤 志帆	放射線診断科	130,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
多角的アプローチに基づくニューマンピック病C型の脂質代謝異常機構の解明	前川 正充	薬剤部	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞癌の病態形成における抑制系免疫細胞とnon-coding RNAの関わり	岩田 朋晃	消化器内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌幹細胞はエクソソームを介した「自律性ニッチ」を形成しているのか?	黒羽 正剛	消化器内科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
拡張不全による心不全に対する低出力パルス波超音波治療の有効性を評価する基礎的検討	進藤 智彦	循環器内科	650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
アポトーシス細胞認識による気道上皮細胞の炎症制御機構の解明	藤野 直也	呼吸器内科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
アルツハイマー型認知症が全身の糖代謝に及ぼす影響とその機序の探索	浅井 洋一郎	糖尿病代謝科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
迷走神経シグナルによる膵 $\beta$ 細胞増殖機構の治療応用に向けた包括的解析	井泉 知仁	糖尿病代謝科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
オルガノイド培養に基づいた胃癌個別化治療の確立	山村 明寛	肝・胆・膵外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

網羅的解析による膀胱癌抗 癌剤感受性予測方法の確 立～プレジジョン医療の実 現を目指して	有明 恭平	肝・胆・膵外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
筋層非浸潤性膀胱癌の進 展リスク予測と進展予防へ の糖鎖バイオロジカルアプ ローチ	嶋田 修一	泌尿器科	780,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
酸化ストレス内耳障害の病 態と予防法解明のための Nrf2の局在および動態の 解析	本藏 陽平	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
PJDを応用した機能性フッ 素化アパタイト成膜による 新規予防填塞法の開発	泉田 一賢	顎顔面口腔再建治療 部	910,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
CAD/CAM冠合着後の早期 負荷が冠のひずみ及び 脱離に及ぼす影響	勝田 悠介	咬合修復科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
パラジウムに反応する特 異的T細胞受容体の遺伝 子導入細胞株や遺伝子導 入マウスの作製	武田 裕利	歯科顎口腔外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
鎖骨頭蓋異形成症におけ る易感染性と歯の移動遅 延解明にむけた免疫細胞 の解析	坂東 加南	矯正歯科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
多職種連携による介護予 防において、歯科は何が できるのか？ —挑戦的 介入研究—	遠藤 耕生	高齢者歯科治療部	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
マンモグラフィ検診の石灰 化に着目した検診精度の 底上げと新規マネジメント の基盤構築	佐藤 章子	乳腺・内分泌外科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
脳卒中片麻痺患者の屋外 環境下における歩行障害 のメカニズムの解明	関口 雄介	リハビリテーション部 門	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
末梢動脈疾患における間 歇性跛行の発生機序解明 と装具療法の開発	柿花 隆昭	リハビリテーション部 門	910,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
Radiomics技術を用いて CT画像のみから肺機能画 像を作成する手法の開発	角谷 倫之	放射線治療科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会
心臓MRIの画質改善・定 量性向上を目的とした DLRを用いたデノイズ手法 の開発	森田 佳明	放射線診断科	3,120,000	補 委	独立行政法人日本学術 振興会

小計 13 件

個別化医療を見据えた小児良性てんかんの遺伝学的背景の解明	福與 なおみ	小児科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒツジ胎仔を用いた人工子宮システムの開発: 成育限界児に対する効果と安全性の評価	渡邊 真平	周産母子センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺高血圧を伴う慢性肺疾患肺における肺胞傷害・修復機転の検討と治療法の開発	大田 千晴	小児科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小胞輸送機構を基軸としたB型肝炎ウイルス感染の病態解明と臨床応用に向けた研究	井上 淳	消化器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ピロリ菌除菌後の炎症性発癌過程における口腔内雑菌による胃粘膜バリア傷害機序の解明	宇野 要	消化器内科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たに同定されたチオプリン代謝酵素NUDT15のヒト血球内活性測定法の開発	志賀 永嗣	消化器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Rhoキナーゼを介した心筋症の冠微小循環障害による心筋リモデリングの機序解明	建部 俊介	循環器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
臓器間ネットワークによる肝糖新生制御機構の解明	金子 慶三	糖尿病代謝科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵・消化管神経内分泌腫瘍におけるCNPY2の肝転移関連機序の解明	水間 正道	肝・胆・膵外科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
中枢性メラトニン/mTOR交叉経路に着目した高齢者くも膜下出血の病態制御への挑戦	山本 修三	加齢・老年病科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
出生三世代コホートによる常位胎盤早期剥離の遺伝・環境要因の究明	倉片 三千代	婦人科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がんサバイバーの生殖補助医療におけるMRTの応用を目指した研究	立花 眞仁	産科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規インドール化合物MA-5による難治不妊の克服を目指した研究	志賀 尚美	婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

長鎖非翻訳RNAによる歯周炎発症制御機構の解明	鈴木 茂樹	歯周病科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯胚再生実現化へ向けた歯原性間葉細胞のHDAC3阻害による歯根長制御の試み	新部 邦透	咬合修復科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
福島第一原発事故後に形成された歯における内部被ばく量推定法の確立	高橋 温	障害者歯科治療部	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
講義と実習を連動させた効果的な漢方教育プログラムの開発と教育効果の検証	高山 真	総合地域医療教育支援部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
動画モーションキャプチャによる摂食嚥下機能の外部観察評価システムの構築	貴田岡 亜希	障害者歯科治療部	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨-脳連関に着目した高齢者コグニティブ・フレイルの神経基盤の解明	高野 由美	加齢・老年病科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎癌における免疫チェックポイント阻害薬の個別化投与法の確立	高崎 新也	薬剤部	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺がん3Dオルガノイド長期継代株の樹立手法の確立と臨床応用	野津田 泰嗣	呼吸器外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
満期産脳性麻痺の頭部MRI画像別遺伝的背景の同定	竹澤 祐介	小児科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
家族性ALSで見出した新規遺伝子変異の病原性解明パイプラインの確立	西山 亜由美	脳神経内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MR導電率マッピングによる乳房非造影撮像プロトコルの確立	前川 由依	放射線診断科	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌に対する心筋線量軽減による心毒性低下を図った放射線治療の確立	梅澤 玲	放射線治療科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
RASopathiesの網羅的遺伝子解析による新規原因遺伝子同定と臨床的特徴解明	梅木 郁美	小児科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

EGFR遺伝子変異陽性肺癌に対する免疫療法抵抗性の機序解明と克服法の開発	宮内 栄作	呼吸器内科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
活性イオウ代謝経路に着目した喘息難治化メカニズムの解明と新規バイオマーカーの創出	田中 里江	呼吸器内科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
膵β細胞の異所性嗅覚受容体システムが個体糖代謝に及ぼす役割の解明	宗像 佑一郎	糖尿病代謝科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
十二指腸空腸バイパス術後の代謝改善メカニズムにおける胆汁酸の意義と腸肝循環の変化	井本 博文	胃腸外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ソナゾイドと改良エンベロープ法を基盤とした次世代超音波ガイド下神経ブロックの確立	大西 詠子	手術部	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ICUビッグデータのヒューリスティック探索:AIで解明する赤字にならない集中治療	志賀 卓弥	集中治療部	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
集中治療患者の即時転帰予測システムの開発:人工知能によるビッグデータ時系列解析	小林 直也	手術部	2,860,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
日本人の性分化関連遺伝子バリエーションの頻度、および表現型との関連性の検討	近藤 亜希子	産科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝環境要因と児の出生体重に関する研究	岩間 憲之	周産母子センター	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ニコチンアミド(水溶性ビタミン)を用いた妊娠高血圧腎症に対する新規治療法の開発	只川 真理	産科	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
必須微量元素セレン欠乏に注目した急性感音難聴の病態解明	大越 明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌の発生を抑制する遺伝子(脱リン酸化酵素)の同定と機能解析	黒沢 是之	形成外科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Cochlear synaptopathyに対する予防法・治療法の開発	鈴木 淳	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

濾過胞癒痕化抑制薬の開発のための新規バイオマーカー及び創薬基盤の確立	津田 聡	眼科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腸内細菌叢と遺伝子変異の相互作用に着目した滲出型AMDの病態解明	安田 正幸	眼科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗酸化剤を対象としたハイスループットスクリーニングによる新規緑内障治療薬の探索	横山 悠	眼科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌細胞の代謝活性と環境因子の関連をリアルタイムモニタリング法で探る	森島 浩允	歯科顎口腔外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯髄痛覚系に対する交感神経の末梢修飾機序の解明	嶋田 雄介	口腔診断科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯根膜エクソソームとWntシグナルを基軸とした次世代歯周組織再生療法の基盤構築	向阪 幸彦	歯周病科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
力学誘導歯根膜細胞エクソソームによる抗炎症M2マクロファージ分極制御理論の確立	丸山 顕太郎	歯周病科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波顕微鏡のメカニズムを応用した、歯科疾患の科学的診断方法の確立	長沼 由泰	障害者歯科治療部	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞の初期化機構の個体差解明を介した新規再生歯科補綴治療の探索	鎌野 優弥	咬合修復科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Organ-on-a-Chip技術を応用した新規歯胚分化誘導法の開発	堀江 尚弘	咬合修復科	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口唇裂患者の包括的な顔面口腔形態と口腔機能の関連性に関する研究	板垣 祐介	顎口腔機能治療部	2,990,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
機械的刺激による骨細胞のRANKL産生をplectinとPPP1r18が制御する	前田 敏博	矯正歯科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Ca修飾によるチタン合金表面処理法の開発と骨形成・機能安定性促進に関する基礎研究	井田 裕人	矯正歯科	3,380,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件

硬組織蓄積性放射線傷害の概念に基づいた新たながん放射線治療有害事象の予防戦略	百々 美奈	予防歯科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経変性疾患に関わるPDIのSNO化位置の同定と神経変性機構との関連	小倉 次郎	薬剤部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乾癬、感染症、メタボリック症候群における抗菌ペプチドカセリサイデインの関与	高橋 隼也	皮膚科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高血圧患者における副腎アルドステロン産生の検討	尾股 慧	腎・高血圧・内分泌科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺癌における活性イオウ分子種とイオウ代謝酵素の役割の解明	突田 容子	呼吸器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血中マイクロRNAの測定による食道癌化学放射線療法の治療効果予測に関する研究	武田 一也	放射線治療科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工呼吸関連肺傷害における内皮微小粒子の動態とセボフルランの内皮傷害に対する影響	武井 祐介	麻酔科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞の細胞内レドックス制御を基盤とした新規骨再生法の開発	渡辺 隼	咬合修復科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯胚形態形成に関わる新規転写因子AmeloDの機能解析	千葉 雄太	小児歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Sox21-アメロプラスチン共役におけるエナメル芽細胞の分化制御機構の解明	山口 知子	小児歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳卒中片麻痺患者の地域社会における歩行時の転倒発生メカニズムの解明	本田 啓太	リハビリテーション部門	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
苦味受容体と解毒酵素の多型解析と医療ビッグデータによる発がんリスク評価法の開発	庄司 憲明	口腔診断科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
嘔吐するモデル動物スキunksの戻し交配で解明するPONVの遺伝学的機序	杉野 繁一	手術部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 13 件



新骨芽細胞膜チャンネルPannexin 3が制御する造血幹細胞ニッチの解明	石河 真幸	保存修復科	4,290,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
若年性特発性関節炎の原因遺伝子と分子病態の解明	森谷 邦彦	小児科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
破壊性関節炎・付着部炎モデルマウスを用いた病態機序の解明と治療標的の探索	泉山 拓也	整形外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
プロモドメインを標的とした卵巣明細胞癌個別化医療の確立	重田 昌吾	産科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
癌微小環境のremodelingによる腫瘍免疫応答の活性化を用いた新規治療法開発	青木 修一	肝・胆・膵外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
二次性ガラクトース血症に潜在している新規ガラクトース血症 (GALM欠損症)	岩澤 伸哉	小児科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Drug repositioning for the discovery of therapeutic approaches for pulmonary arterial hypertension	Siddique Moham mmadAbdulHai	循環器内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
活動性マイクログリア制御による緑内障モデル動物の神経保護治療の試み	前川 重人	眼科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Piezo-apicoectomyによる根尖治癒過程の解明	大竹 義雄	歯科顎口腔外科	650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
LIPUSとLMHF loadingによる骨形成活性効果のインプラントへの応用	庄原 健太	咬合回復科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法等の確立のための研究	金森 肇	総合感染症科	1,481,000	補 委	厚生労働省
パクリタケセルを用いた末梢血管治療デバイスの長期的安全性に関する研究	山口 拓洋	臨床試験データセンター	6,962,000	補 委	厚生労働省
小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	仁尾 正記	小児科	16,900,000	補 委	厚生労働省

小計 13 件

希少難治性筋疾患に関する調査研究	青木 正志	神経内科	26,247,000	補 委	厚生労働省
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化	相場 節也	皮膚科	11,077,000	補 委	厚生労働省
医工連携を基盤としたオープン・イノベーション・プラットフォーム構築	下川 宏明	臨床研究推進センター	175,079,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
東北大学病院における医療技術実用化総合促進拠点構築	下川 宏明	臨床研究推進センター	230,200,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
CRB事務局業務支援システムの検証と多施設共同研究版への対応に関する研究	高野 忠夫	臨床研究推進センター	36,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
非介入研究ガイドラインの普及を目指した検証と中央IRBの基盤整備および運用に関する研究	高野 忠夫	臨床研究推進センター	32,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医工連携拠点の支援を活用した異分野融合型研究開発の最適化	下川 宏明	臨床研究推進センター	40,430,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
拠点を基点とし、地域と世界をつなぐhub and spoke形成型拠点整備事業	富永 悌二	臨床研究推進センター	9,999,990	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
臨床研究総合促進事業	富永 悌二	臨床研究推進センター	16,222,000	補 委	厚生労働省
研究拠点病院医療データ活用事業	富永 悌二	臨床研究推進センター	15,107,890	補 委	厚生労働省
最先端の自然言語処理技術を活用した高度自然言語処理プラットフォームの研究開発	石井 正	総合地域医療教育支援部	24,202,063	補 委	総務省
高齢者への生活機能の指標開発	富田 尚希	老年科	9,850,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
眼の健康センサの開発(さりげないセンシングと日常人間ドック)	中澤 徹	眼科	3,700,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
センシングデータ・ゲノムデータ連携研究	中澤 徹	眼科	58,720,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構

小計 14 件

視野障害者・健常者運転データベース構築、視野障害者特有の事故要因の明確化 他	中澤 徹	眼科	12,649,000	補 委	国立研究開発法人理化学研究所
神経疾患特異的iPS細胞を活用した病態解明と新規治療法の創出を目指した研究	青木 正志	脳神経内科	3,846,154	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
細胞膜修復や不要蛋白クリアランス機構の破綻をきたす筋疾患におけるメカノセンシングの機序の解明とその評価系の確立および治療法開発	青木 正志	脳神経内科	8,360,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
自閉スペクトラム症に対する新規オキシトシン製剤の治験実施と病態・薬効のメカニズム解析、および社会性齧歯類によるオキシトシン受容体アゴニスト高感度評価系樹立	本多 奈美	精神科	27,600,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
免疫チェックポイント阻害薬使用による免疫関連副作用予測システムの開発	藤村 卓	皮膚科	19,967,598	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
胆道閉鎖症診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	仁尾 正記	小児外科	7,800,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
細胞内シグナル伝達異常による先天性疾患の新しい治療パスウェイ検索と治療法開発	青木 洋子	遺伝科	26,390,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
慢性骨髄性白血病におけるチロシンキナーゼ阻害剤との長期併用時のTM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験	張替 秀郎	血液内科	176,283,402	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医薬関係者による副作用報告の質向上に向けた情報連携のあり方の研究	眞野 成康	薬剤部	5,005,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
個体・臓器老化研究拠点	片桐 秀樹	糖尿病代謝科	525,320,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
レビー小体病の早期診断技術と根本治療薬の開発	長谷川 隆文	脳神経内科	3,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計 11 件

栄養・生活習慣・炎症に着目したうつ病の発症要因解明と個別化医療技術開発	富田 博秋	精神科	41,900,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
希少・難治小児脳幹部神経膠腫に対する塩酸ニムスチン局所投薬による新規治療法開発:多施設共同医師主導治験	富永 悌二	脳神経外科	74,718,367	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
世界初・日本発ミトコンドリア病治療薬MA-5のオールジャパン臨床治験	阿部 高明	腎・高血圧・内分泌科	241,052,500	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
組織の適応・修復のための神経シグナルを介した細胞増殖制御機構の解明	今井 淳太	糖尿病代謝科	17,054,479	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
胸部食道癌患者の放射線障害に対する、ニカラベンの無作為化第Ⅱ相臨床試験(医師主導治験)	神宮 啓一	放射線治療科	28,574,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肝細胞増殖因子(HGF)による筋萎縮性側索硬化症(ALS)の画期的治療法開発	青木 正志	脳神経内科	87,127,430	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
慢性便秘薬ルビプロストンの慢性腎不全治療薬としての適応拡大を目指す臨床研究	阿部 高明	腎・高血圧・内分泌科	81,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
認知症に対する経頭蓋超音波治療装置の開発	下川 宏明	循環器内科	37,700,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
住民健診・職域健診で使用可能な心房細動発症リスクスコアの開発と心房細動の再発・重症化予防戦略の確立	下川 宏明	循環器内科	15,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
オミックス解析に基づく心不全発症・重症化予測マーカーの開発と心不全発症・重症化機序の解明	坂田 泰彦	循環器内科	38,059,999	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
乳がん治療における心臓合併症の画像診断を用いた新たなリスク因子探索と心機能評価法標準化に関する研究-Cardio-	杉村 宏一郎	循環器内科	14,934,456	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多能性幹細胞(Muse細胞)による中枢神経再生療法の開発	富永 悌二	脳神経外科	53,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
活性イオウ分子種を用いた新規抗酸化眼内灌流液の開発	中澤 徹	眼科	87,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計 13 件

自閉症スペクトラム障害に対する新規治療薬の開発	呉 繁夫	小児科	36,202,933	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
選択的神経ブロックによる個別化リハビリテーションと治療効果の定量化を重視した凍結肩の集学的診療ガイドラインの開発	山内 正憲	麻酔科	6,433,050	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
重症狭心症を対象とした革新的超音波血管新生療法の開発	下川 宏明	循環器内科	42,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
NUDT15遺伝子型に基づき個人に最適化された安全かつ有効的なチオプリンによる免疫調節療法の開発	角田 陽一	消化器内科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
衝撃波アブレーションカテーテルシステムの開発	下川 宏明	循環器内科	49,020,302	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
遠位型ミオパチーにおける承認申請に向けたアセノイラミン酸の長期投与試験	青木 正志	脳神経内科	23,758,281	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
植込型補助人工心臓装着後の出血性合併症予知法および予防法の確立に関する研究	齋木 佳克	心臓血管外科	7,930,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
網膜色素変性症に対する経強膜ウノプロストン徐放製剤を用いた安全性及び有効性評価のための I / II a 相試験	中澤 徹	眼科	5,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ハイドロゲルを基材とする頭蓋内有機物電極の開発	中川 敦寛	脳神経外科	16,484,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肺高血圧症の新規病因蛋白セレノプロテインPに着目した早期診断法開発	佐藤 公雄	循環器内科	4,700,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験	大内・憲明	乳腺・内分泌外科	101,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
嚥下障害に対する包括的嚥下障害基礎訓練法の開発と有効性の検討	香取 幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,840,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多層オミックス解析による個別化緑内障創薬	中澤 徹	眼科	30,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計 13 件

多職種協働による地域包括ロービジョンケアシステム開発に関する研究	鈴鴨よしみ	肢体不自由リハ科	7,690,000	補 ⑤	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
緑内障のカルパイン活性化の生体内イメージングシステムの開発	中澤 徹	眼科	18,682,484	補 ⑤	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
嚥下障害患者の安全な経口摂取を支援する咽喉頭感覚評価法の研究	香取 幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,900,000	補 ⑤	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
経静脈的ラジオ波焼灼による原発性アルドステロン症の低侵襲根治療法	高瀬 圭	放射線診断科	11,420,500	補 ⑤	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医工・産学連携拠点機能を活用した医療機器ベンチャー教育・人材育成	富永 悌二	臨床研究推進センター	104,000,000	補 ⑤	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
オミックス解析に基づく乳がん患者における化学療法による心毒性発症機序の解明と危険因子の探索	杉村 宏一郎	循環器内科	10,400,000	補 ⑤	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多様な多施設共同非介入臨床研究における中央IRBの基盤整備とその効率的運用に関する研究	高野 忠夫	臨床研究推進センター	1,300,000	補 ⑤	国立大学法人大阪大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
網膜中心動脈閉塞症に対する神経保護薬の開発のための患者レジストリの構築及び早期第Ⅱ相臨床試験	中澤 徹	眼科	82,602,650	補 ⑤	千寿製薬株式会社(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
AI皮膚画像診療補助基盤の開発	山崎 研志	皮膚科	7,116,917	補 ⑤	公益社団法人日本皮膚科学会(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
プリオノイド蛋白質の凝集・伝播を標的とした神経コンフォメーション病の分子標的治療薬・バイオマーカーの開発	長谷川 隆文	脳神経内科	3,120,000	補 ⑤	国立大学法人大阪大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	綿貫 宗則	整形外科	299,000	補 ⑤	国立大学法人岡山大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
高齢者誤嚥性肺炎の発症及び再発リスクとフレイル・サルコペニアの関連性の探索	岡崎 達馬	肢体不自由リハ科	910,000	補 ⑤	学校法人杏林大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

小計 12 件

思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	八重樫 伸生	婦人科	260,000	補 委	学校法人昭和大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
未治療低腫瘍量進行期濾胞性リンパ腫に対するリツキンマブ早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験:JCOG1411	福原 規子	血液内科	1,300,000	補 委	国立大学法人山形大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
診療連携・国際連携をも視野にいれた、生活習慣病、CKDの診療の質向上に直結する多施設長期コホート研究	宮崎 真理子	腎・高血圧・内分泌科	195,000	補 委	国立大学法人筑波大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
次世代眼科医療を目指す、ICT/人工知能を活用した画像等データベースの基盤構築	中澤 徹	眼科	195,000	補 委	国立大学法人筑波大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	徳永 英樹	婦人科	975,000	補 委	国立大学法人筑波大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
B型肝炎ウイルスの感染性エンベロープ形成を阻害する治療法の開発	井上 淳	消化器内科	1,820,000	補 委	公立大学法人名古屋市立大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
CRP遺伝子多型解析による食道癌リンパ節転移リスク診断キットの開発	亀井 尚	移植・再建・内視鏡外科	29,392,187	補 委	国立大学法人秋田大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究	富永 悌二	脳神経外科	150,000	補 委	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
ヒルシユスプルング病類縁疾患診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	仁尾 正記	小児外科	325,000	補 委	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
慢性血栓塞栓性肺高血圧症に関する多施設共同レジストリ研究	杉村 宏一郎	循環器内科	260,000	補 委	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
産学官連携を加速する肺高血圧症患者レジストリJapan PH Registryの活用研究	杉村 宏一郎	循環器内科	1,300,000	補 委	学校法人国際医療福祉大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
JCOG1408の研究統括、JCOG1408の研究事務局、放射線治療の品質管理・保証、JCOG1408の患者登録	神宮 啓一	放射線治療科	520,000	補 委	国立大学法人広島大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

小計 12 件

新生児マスキング対象疾患等の診療に直結するエビデンス創出研究	市野井 那津子	小児科	390,000	補 委	国立大学法人岐阜大学 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤を用いた標準治療確立に関する研究	齋藤 竜太	脳神経外科	1,560,000	補 委	学校法人北里研究所 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
臨床情報・ゲノム情報の集積と検証による、診療に直結するエビデンス創出	香取 幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	325,000	補 委	独立行政法人国立病院機構東京医療センター (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録研究	下川 宏明	循環器内科	260,000	補 委	国立大学法人九州大学 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究	金森 政之	脳神経外科	650,000	補 委	学校法人埼玉医科大学 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究	徳永 英樹	婦人科	1,499,999	補 委	東京都立墨東病院(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
自閉スペクトラム症中核症状に対する初の治療薬実用化のための医師主導多施設治験	本多 奈美	精神科	1,247,220	補 委	国立大学法人浜松医科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
医師主導治験の実施(症例登録及びプロトコル遂行)	徳永 英樹	婦人科	1,827,798	補 委	国立大学法人千葉大学 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
宮城県におけるユースメンタルヘルスの包括的な地域連携モデルの構築	松本 和紀	精神科	1,000,000	補 委	学校法人東邦大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
東北地方での対象疾患頻度の検討、東北大学東北メディカル・メガバンク機構ゲノムデータを用いた有病率の推定	笹原 洋二	小児科	650,000	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
大規模医療情報の標準化のための統一的管理手法の構築と利活用の研究	中山 雅晴	メディカルITセンター	130,000	補 委	国立大学法人九州大学 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
臨床試験実施と検体収集	横山 寿行	血液内科	204,776	補 委	国立大学法人名古屋大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
Adenosine Deaminase 2 (ADA2)欠損症の病態解明と治療薬開発の基盤構築	笹原 洋二	小児科	592,800	補 委	国立大学法人京都大学 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

小計 13 件



妊産婦前向きコホート研究の成果を用いた要介入群の同定法と支援策の開発	富田 博秋	精神科	39,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
持続可能なビッグデータ運用体制の構築と眼科AIシステムの社会実装	中澤 徹	眼科	78,000	補 委	国立大学法人筑波大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
炎症性腸疾患のGWASデータベースの構築	角田 洋一	消化器内科	3,250,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
失明回避を目指す開放隅角緑内障の遺伝的リスク予測に関する研究開発	中澤 徹	眼科	4,485,000	補 委	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
ヒストリカルデータ解析:主要評価項目、無病再発生存率及び生存率	福原 規子	血液内科	169,000	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
成人SMA患者レジストリの整備、成人期SMAの臨床的検討、SMA予後マーカー・因子の探索	青木 正志	脳神経内科	520,000	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
4次元照射領域最適化を実現する放射線治療計画支援システムの開発と事業化	角谷 倫之	放射線治療科	4,160,000	補 委	アイテム株式会社(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
迅速ウイルス検出機器導入実証	青柳 哲史	感染症科	4,026,291	補 委	杏林製薬株式会社(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
縦断的データベースの臨床効果データベースによる循環器疾患データベース構築に関する研究	中山 雅晴	メディカルITセンター	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
先天性大脳白質形成不全症の臨床的基盤を明らかにするための研究	植松 有里佳	小児科	650,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
東北ブロックのIRUD拠点病院 / IRUD center hospital in Tohoku area	呉 繁夫	小児科	10,400,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
リンパ管疾患におけるバイオマーカーの意義の確定及び疾患鑑別マーカーの同定	青木洋子	遺伝科	520,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
小児難病の病因遺伝子同定と発症機序の解明	呉 繁夫	小児科	7,999,999	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

小計 13 件

診療ガイド作成と小型・正常大血小板異常症解析	笹原洋二	小児科	1,040,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
慢性血栓塞栓性肺高血圧症(CTEPH)に対するBalloon pulmonary angioplasty(BPA)の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究	下川 宏明	循環器内科	130,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
①冠動脈ハイリスクプラーク診断法の予測精度を検証する多施設共同前向き観察研究の画像診断、③PMRの自動測定のためのquantitative HIP analysis software (q-HIP)の開発と検証	高瀬 圭	放射線診断科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
進行・再発子宮頸癌の予後向上を目指した集学的治療の開発	八重樫 伸生	婦人科	195,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
Borderline resectable膵癌に対する集学的治療法を用いた標準治療確立に関する研究	海野 倫明	肝・胆・膵外科	260,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
機械学習によるアウトカム定義の作成・評価手法の確立、複数拠点におけるアウトカム定義の作成・評価基準の確立	中山 雅晴	メディカルITセンター	6,650,000	補 委	独立行政法人医薬品医療機器総合機構(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
上部尿路癌根治術後の膀胱内再発を予防する標準治療法の開発(JCOG1403)	伊藤 明宏	泌尿器科	1,300,000	補 委	地方独立行政法人宮城県立病院機構宮城県立がんセンター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	佐藤 康弘	心療内科	2,600,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
内視鏡検診対象群のリクルートおよび継続受診の勧奨	正宗 淳	消化器内科	100,001	補 委	公益財団法人宮城県対がん協会(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
子宮頸癌根治術後再発高リスク患者に対する強度変調放射線治療(IMRT)を用いた低毒性補助療法の確立に向けての研究	徳永 英樹	婦人科	130,000	補 委	沖縄県立中部病院(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
次世代人工知能・ロボット中核技術開発(大項目)人工知能の信頼性に関する技術開発(中項目)臨床現場での意思決定を支援する人工知能基盤の開発(小項目)	新妻 邦泰	脳神経外科	5,980,000	補 委	サスメド株式会社(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)

小計 11 件

インドネシアにおけるてんかん診療教育拠点設立に関する現地実証調査事業（日本での研修内容討及び候補者選定基準の策定を実施するために必要なインドネシアでの拠点候補病院への訪問）	中里 信和	てんかん科	968,000	補 ○委	日本光電工業株式会社（経済産業省、一般社団法人Medical Excellence JAPAN）
Dysferlinopathyおよび類似疾患の次世代シーケンサを用いた診断および結合蛋白に注目した病態研究	青木 正志	脳神経内科	700,000	補 ○委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
婦人科悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	八重樫 伸生	婦人科	500,000	補 ○委	国立研究開発法人国立がん研究センター
バイオデザインと連携した医療機器人材育成	中川 敦寛	脳神経外科	300,000	補 ○委	国立研究開発法人国立がん研究センター
RASopathies新規原因遺伝子検索と患者登録研究	青木 洋子	遺伝科	1,500,000	補 ○委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
胎児MRIの最適化:先天性頸部、胸部疾患の胎児MRIの撮像の有用性と最適化	青木 英和	放射線診断科	600,000	補 ○委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
乳癌患者におけるHER-2蛋白、ホルモン受容体をはじめとする予後因子に関する検討免疫組織的検討	渡辺みか	病理部	9,289,000	補 ○委	国家公務員共済組合連合会東北公済病院
遠隔病理診断装置の実用化	渡辺みか	病理部	700,000	補 ○委	気仙沼市立病院
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床研究情報収集に関する研究(J-DREAMS)	片桐秀樹	糖尿病代謝科	300,000	補 ○委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
CCT-B-2904 心臓カテーテル検査・治療中に生じる難治性冠攣縮に対するファスジルの有効性及び安全性に関する無作為化、プラセボ対照二重盲検比較試験	下川 宏明	循環器内科	16,854,194	補 ○委	公益社団法人日本医師会
CCT-C-3102 治験の実施に関する研究【トシリズマブ】	石井 智徳	リウマチ膠原病内科	396,142	補 ○委	公益社団法人日本医師会
治験の実施に関する研究【ペランパネル】CCT-C-2006	割田 仁	脳神経内科	58,460	補 ○委	公益社団法人日本医師会

小計 12 件

進行悪性黒色腫に対するニボルマブの有効性評価に関する観察研究－CREATIVE－	藤村卓	皮膚科	21,600	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
分化型甲状腺癌を対象としたレンバチニブの治療効果探索のためのコホート研究	中島 範昭	乳腺・内分泌外科	75,600	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
舌再建手術後の嚥下障害発生割合を検討する多施設共同前向き観察研究	高木 尚之	形成外科	5,400	補 委	公益財団法人静岡県産業振興財団

計 373 件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Jun Suzuki, Hitoshi Inada, Chul Han 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	"Passenger gene" problem in transgenic C57BL/6 mice used in hearing research.	Neuroscience research2019 Oct	Original Article
2	Mochizuki Y, Karasawa H, Une N 他	総合外科(旧:胃腸外科)	[A Case of Curatively Resected Rectal Cancer with Preservation of Urinary Function after Chemotherapy].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy2019 Apr;46(4):820-822	Case report
3	Kanno A, Masamune A	消化器病態学分野(消化器 内科)	[Diagnosis of autoimmune pancreatitis -imaging and histological diagnosis using EUS-FNA].	Nihon Shokakibyō Gakkai zasshi = The Japanese journal of gastro- enterology2019;116(4):28 6-295	Review
4	Nakagawa K, Koike T, Masamune A	消化器内科	[The utility of high-resolution manometry for functional esophageal disorders].	Nihon Shokakibyō Gakkai zasshi = The Japanese journal of gastro- enterology2019;116(10):7 80-787	Review
5	Higuchi S, Ota H, Ueda T 他	放射線診断科	3T MRI evaluation of regional catecholamine-producing tumor-induced myocardial injury	Endocr Connect. 2019 May;8(5):454-461	Original Article
6	Akaishi T, Kiyomoto H, Abe M 他	総合地域医療教育支援部 (総合診療科)	A 29-year-old Woman with Recurrent Pregnancy-induced Hypertension Based on Vascular Compression of the Medulla Oblongata.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2019 Aug;58(15):2257-2261	Case report
7	Tomotaka Hemmi, Jun Suzuki, Satoko Sato 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	A Case of an Incidentally Removed Lingual Osseous Choristoma.	Case reports in otolaryngology2020;2020: 3498915-3498915	Original Article
8	Sonobe S, Ezura M, Sato K 他	脳神経外科	A Case of Cavernous Sinus Dural Arteriovenous Fistula Presenting with Medulla Oblongata Dysfunction Along with Thrombosis of Varix on Drainage Route After Transvenous Embolization.	JNET J Neuroendovasc Ther2019;13:228-232	Case report
9	Ryotaro Matsumoto, Shin Miura, Atsushi Kanno 他	消化器病態学分野(消化器 内科)	A Case of IgG4-related Sclerosing Cholangitis Mimicking Cholangiocarcinoma Diagnosed by Endoscopic Ultrasound-guided Fine-needle Aspiration.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2019 Dec	Case report
10	Tang L, Matsushita H, Ishikawa Y 他	放射線腫瘍学分野(放射線 治療科)	A case report and review of the literature: cardiotoxicities after radiotherapy for breast cancer patients with high-risk factors of cardiovascular disease.	Int Cancer Conf J.2019 Oct;9(1):41-44	Case report
11	Takeda Y, Nogami S, Iwama R 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯 科顎口腔外科)	A case report: Spindle cell lipoma in the floor of mouth	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology2020	Case report
12	Seiryu M, Ida H, Mayama A 他	顎口腔矯正学分野(矯正歯 科)	A comparative assessment of orthodontic treatment outcomes of milder skeletal Class III malocclusion between facemask and facemask in combination with a miniscrew in growing patients: a single-center, prospective randomized controlled trial.	Angle orthod2020 Jan;90(1):3-12	Original Article

小計12件

13	Ito K, Kimura R, Konishi H 他	婦人科学分野(婦人科)	A comparison of liquid-based and conventional cytology using data for cervical cancer screening from the Japan Cancer Society.	Japanese journal of clinical oncology2019 Nov	Original Article
14	Ohta J, Ishida S, Kawase T 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野(耳鼻咽喉・頭頸部外科)	A computational fluid dynamics simulation of liquid swallowing by impaired pharyngeal motion: bolus pathway and pharyngeal residue.	American journal of physiology. Gastrointestinal and liver physiology2019 Dec;317(6):G784-G792	Original Article
15	Kajikawa T, Kadoya N, Ito K 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	A convolutional neural network approach for IMRT dose distribution prediction in prostate cancer patients.	J Radiat Res. 2019 Oct;60(5):685-693	Original Article
16	Marvin JS, Shimoda Y, Magloire V 他	脳神経外科	A genetically encoded fluorescent sensor for in vivo imaging of GABA	Nature Method2019;16:763-770	Original Article
17	Harada-Shoji N, Soga T, Tada H 他	総合外科(旧:乳腺・内分泌外科)	A metabolic profile of routine needle biopsies identified tumor type specific metabolic signatures for breast cancer stratification: a pilot study.	Metabolomics : Official journal of the Metabolomic Society2019 Nov;15(11):147	Original Article
18	Ryohei Kikuchi, Ariunbuyan Sukhbaatar, Maya Sakamoto 他	口腔診断科	A model system for studying superselective radiotherapy of lymph node metastasis in mice with swollen lymph nodes	Clinical and Translational Radiation Oncology2019 May;20:53-57	Original Article
19	Kadota T, Saito R, Kumabe T 他	脳神経外科	A multicenter randomized phase III study for newly diagnosed maximally resected glioblastoma comparing carmustine wafer implantation followed by chemoradiotherapy with temozolomide with chemoradiotherapy alone; Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1703 (MACS study)	Jpn J Clin O.ncol2019;49(12):1172-1175	Original Article
20	Ishikawa M, Kasamatsu T, Tsuda H 他	婦人科学分野(婦人科)	A multi-center retrospective study of neuroendocrine tumors of the uterine cervix: Prognosis according to the new 2018 staging system, comparing outcomes for different chemotherapeutic regimens and histopathological subtypes.	Gynecologic oncology2019 Dec;155(3):444-451	Original Article
21	Isohashi F, Takano T, Onuki M 他	プロトコル作成支援部門(婦人科)	A multi-institutional observational study on the effects of three-dimensional radiotherapy and weekly 40-mg/m <sup>2</sup> cisplatin on postoperative uterine cervical cancer patients with high-risk prognostic factors.	International journal of clinical oncology2019 May;24(5):575-582	Original Article
22	Yukihiro Hayatsu, Koyu Watanabe, Konosuke Sasaki 他	心臓血管外科学分野(心臓血管外科)	A novel diagnostic system for Doppler ultrasound of the peripheral arteries to detect the presence of thoracic aortic aneurysm.	Bio-medical materials and engineering2019;30(2):231-241	Original Article
23	Mansour A, Rashad S, Niizuma K 他	脳神経外科	A novel model of cerebral hyperperfusion with blood-brain barrier breakdown, white matter injury, and cognitive dysfunction.	J Neurosurg2019;18:1-13	Original Article
24	Fujimura T, Okabe T, Tanita K 他	皮膚科	A novel technique to diagnose non-melanoma skin cancer by thermal conductivity measurements: Correlations with cancer stromal factors.	Experimental dermatology2019 Sep;28(9):1029-1035	Original Article
25	Fujiwara H, Ushijima K, Nagao S 他	プロトコル作成支援部門(婦人科)	A phase II randomized controlled study of pegylated liposomal doxorubicin and carboplatin vs. gemcitabine and carboplatin for platinum-sensitive recurrent ovarian cancer (GOTIC003/intergroup study).	International journal of clinical oncology2019 Oct;24(10):1284-1291	Original Article
26	Akihiro Isozaki, Hideharu Mikami, Kotaro Hiramatsu 他	バイオデザイン部門(脳神経外科)	A practical guide to intelligent image-activated cell sorting.	Nature protocols2019 Aug;14(8):2370-2415	Original Article

小計14件

27	Takashi Kuno, Masahito Tachibana, Ayako Fujimine-Sato 他	婦人科学分野(婦人科)	A Preclinical Evaluation towards the Clinical Application of Oxygen Consumption Measurement by CERMs by a Mouse Chimera Model.	International journal of molecular sciences2019 Nov;20(22)	Original Article
28	Takeuchi A, Hatta W, Koike T 他	消化器内科	A Primary Barrett's Adenocarcinoma with a Squamous Cell Carcinoma Component.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2019 Sep;58(17):2467-2472	Case report
29	Hatta W, Gotoda T, Koike T 他	消化器内科	A Recent Argument for the Use of Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancers.	Gut and liver2019 Sep	Review
30	Mansour A, Niizuma K, Rashad S 他	脳神経外科	A refined model of chronic cerebral hypoperfusion resulting in cognitive impairment and a low mortality rate in rats.	J Neurosurg2019;131892-902	Original Article
31	Matsumura M, Imura T, Inagaki A 他	消化器外科学分野(旧:肝・胆・膵外科)	A Simple and Useful Predictive Assay for Evaluating the Quality of Isolated Hepatocytes for Hepatocyte Transplantation.	Scientific reports2019 Apr;9(1):6166	Original Article
32	Ninomiya A, A Saito, T Ishida 他	脳神経外科	A surgical case of cerebellar tuberculoma caused by a paradoxical reaction while on therapy for tuberculosis spondylitis.	Surg Neurol In2019;10:162	Case report
33	Kakuta R, Shimizu T, Goto H 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野(耳鼻咽喉・頭頸部外科)	Abdominal Aortic Graft Infection Caused by stG485.0, ST29 Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis.	Japanese journal of infectious diseases2019 Sep	Original Article
34	Tetsuya Akiyama, Naoki Suzuki, Mitsuru Ishikawa 他	神経内科学分野(脳神経内科)	Aberrant axon branching via Fos-B dysregulation in FUS-ALS motor neurons.	EBioMedicine2019 Jul;45:362-378	Original Article
35	Hisanori Horiuchi, Tsuyoshi Doman, Koichi Kokame 他	心血管外科学分野(心臓血管外科)	Acquired von Willebrand Syndrome Associated with Cardiovascular Diseases.	Journal of atherosclerosis and thrombosis2019 Apr;26(4):303-314	Original Article
36	Akaishi R, Taniyama Y, Sakurai T 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	Acute esophageal necrosis with esophagus perforation treated by thoracoscopic subtotal esophagectomy and reconstructive surgery on a secondary esophageal stricture: a case report.	Surg Case Rep2019 May;5(1):73	Case report
37	Kanta Kido, Yuki Shindo, Hitoshi Miyashita 他	手術部	Acute Management of Massive Epistaxis After Nasotracheal Extubation.	Anesthesia progress2019;66(4):211-217	Case report
38	Sano A, Inoue J, Kakazu E 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Acute-onset Autoimmune Hepatitis in a Patient with Selective Immunoglobulin M Deficiency.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2019 Apr;58(15):2185-2190	Case report
39	Omura J, Satoh K, Kikuchi N 他	循環器内科	ADAMTS8 promotes the development of pulmonary arterial hypertension and right ventricular failure -A possible novel therapeutic target-	Circ Res2019 Oct;125(10):884-906	Original Article
40	Junichi Omura, Kimio Satoh, Nobuhiro Kikuchi 他	呼吸器外科	ADAMTS8 Promotes the Development of Pulmonary Arterial Hypertension and Right Ventricular Failure: A Possible Novel Therapeutic Target.	Circulation research2019 Oct;125(10):884-906	Original Article

小計14件

41	Hashimoto K, Aizawa T, Kanno H 他	整形外科学分野(整形外科)	Adjacent segment degeneration after fusion spinal surgery—a systematic review.	International orthopaedics2019 Apr;43(4):987-993	Review
42	Kambayashi Y, Fujimura T, Ohuchi K 他	皮膚科	Advanced Invasive Extramammary Paget's Disease Concomitant with Cecal Cancer Possessing Rare Variant of TP53 Single Nucleotide Polymorphism.	Case reports in oncology2019 Sep;12(3):855-860	Case report
43	Naoya Kobayashi, Toshihiro Wagatsuma, Takuya Shiga 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔科)	Age-related changes in factors associated with delayed extubation after general anesthesia: a retrospective study.	JA clinical reports2020 Mar;6(1):20	Case report
44	Satoshi Ohira, Noriko Motoki, Takumi Shibazaki 他	婦人科学学分野(婦人科)	Alcohol Consumption During Pregnancy and Risk of Placental Abnormality: The Japan Environment and Children's Study	Scientific Reports2019 Dec;9(1)	Original Article
45	Ito S, Miki Y, Saito R 他	呼吸器外科	Amyloid precursor protein and its phosphorylated form in non-small cell lung carcinoma.	Pathology, research and practice2019 Aug;215(8):152463	Original Article
46	Tatsuo Hata, Masamichi Mizuma, Fuyuhiko Motoi 他	消化器病態学分野(消化器内科)	An integrated analysis of host- and tumor-derived markers for predicting high-grade dysplasia and associated invasive carcinoma of intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas.	Surgery today2020 Mar	Original Article
47	Iijima Y, Ogasawara K, Toda S 他	プロトコル作成支援部門(婦人科)	An overview of ethical review committees in Japan: examining the certification applications of ethical review committees.	Nagoya journal of medical science2019 Aug;81(3):501-509	Original Article
48	Nishio S, Mikami Y, Tokunaga H 他	婦人科	Analysis of gastric-type mucinous carcinoma of the uterine cervix - An aggressive tumor with a poor prognosis: A multi-institutional study.	Gynecologic oncology2019 Apr;153(1):13-19	Original Article
49	Nomura H, Aoki D, Susumu N 他	婦人科	Analysis of the relapse patterns and risk factors of endometrial cancer following postoperative adjuvant chemotherapy in a phase III randomized clinical trial.	Gynecologic oncology2019 Sep;155(3):413-419	Original Article
50	Sukhbaatar A, Sakamoto M, Mori S, Kodama T	歯科顎口腔外科	Analysis of tumor vascularization in a mouse model of metastatic lung cancer.	Scientific Reports2019 Oct	Original Article
51	Tsuyoshi Kurobane, Yukari Shiwaku, Takahisa Anada 他	口腔診断学分野(口腔診断科)	Angiogenesis involvement by octacalcium phosphate-gelatin composite-driven bone regeneration in rat calvaria critical-sized defect.	Acta biomaterialia2019 Apr;88:514-526	Original Article
52	今井源、西條憲、石岡千加史 他	腫瘍内科	Antibiotic therapy augments the efficacy of gemcitabine-containing regimens for advanced cancer: a retrospective study	Cancer management and Research2019 Nov;11:7953-7965	Original Article
53	Tomofumi Ishikawa, Taku Obara, Saya Kikuchi 他	婦人科学学分野(婦人科)	Antidepressant prescriptions for prenatal and postpartum women in Japan: A health administrative database study.	Journal of affective disorders2020 Mar;264:295-303	Original Article
54	Eikan Mishima, Hideki Ota, Takehiro Suzuki 他	心臓血管外科学学分野(心臓血管外科)	Apparent Diffusion Coefficient in the Resolution of Renal Ischemia after Angioplasty on Diffusion-weighted Imaging: A Case of Renal Artery Stenosis Caused by Progressive Thrombosis in Residual Chronic Aortic Dissection.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2020 Jan	Case report

小計14件



55	Tadashi Ishii, Tetsuya Akaishi, Kenji Fujimori 他	総合地域医療教育支援部 (総合診療科)	Application of Large Electronic Medical Database for Detecting Undiagnosed Patients in the General Population.	The Tohoku journal of experimental medicine2019 Oct;249(2):113-119	Original Article
56	Mino M, Fujimura M, Yoshida M 他	脳神経外科	Application of neuro-endoscopic target aspiration of the necrotic core for cerebral contusion with delayed progression: Technical note	Acta Neurochir (Wien)2019;161:225-230	Original Article
57	Tetsuya Matoba, Takahide Kohro, Hideo Fujita 他	医学情報学分野(メディカル ITセンター)	Architecture of the Japan Ischemic Heart Disease Multimodal Prospective Data Acquisition for Precision Treatment (J-IMPACT) System.	International Heart Journal.2019;60(2):264- 270	Original Article
58	Naoya Kobayashi, Atsuhiko Nakagawa, Daisuke Kudo 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔 科)	Arterial blood pressure correlates with 90-day mortality in sepsis patients: a retrospective multicenter derivation and validation study using high-frequency continuous data.	Blood pressure monitoring2019 Oct;24(5):225-233	Original Article
59	Taku Hatta, Masami Hosaka, Munenori Watanuki 他	整形外科学分野(整形外科)	Arthroscopic Excision of Intra-Articular Osteoid Osteoma at the Elbow.	Case reports in orthopedics2019;2019:850 5382-8505382	Original Article
60	Hidaka T, Fujimura T, Aiba S	皮膚科	Aryl Hydrocarbon Receptor Modulates Carcinogenesis and Maintenance of Skin Cancers.	Frontiers in medicine2019;6:194	Case report
61	Azusa Ito, Satoru Tsuda, Hiroshi Kunikata 他	眼科学分野(眼科)	Assessing retinal ganglion cell death and neuroprotective agents using real time imaging.	Brain research2019 Jul;1714:65-72	Original Article
62	Katada C, Yokoyama T, Yano T 他	消化器内科	Association between macrocytosis and metachronous squamous cell carcinoma of the esophagus after endoscopic resection in men with early esophageal squamous cell carcinoma.	Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society2019 Jul	Original Article
63	Sato T, Kohzuki M, Ono M 他	内部障害学分野(内部障害リ ハ科)	Association between physical activity and change in renal function in patients after acute myocardial infarction.	PloS one2019;14(2):e0212100	Original Article
64	Tatsuma Okazaki, Satoru Ebihara, Takashi Mori 他	肢体不自由学分野(肢体不 自由リハ科)	Association between sarcopenia and pneumonia in older people	Geriatr Gerontol Int. 2019 Dec;20(1):7-13	Original Article
65	Fujimura T, Sato Y, Tanita K 他	皮膚科	Association of Baseline Serum Levels of CXCL5 With the Efficacy of Nivolumab in Advanced Melanoma.	Frontiers in medicine2019;6:86	Original Article
66	Tsuchiya S, Tsuchiya M, Momma H 他	婦人科学分野(婦人科)	Association of cleft lip and palate on mother-to- infant bonding: a cross-sectional study in the Japan Environment and Children's Study (JECS).	BMC pediatrics2019 Dec;19(1):505	Original Article
67	Kuniyoshi Y, Kikuya M, Matsubara H 他	小児病態学分野(小児科)	Association of Feeding Practice with Childhood Overweight and/or Obesity in Affected Areas Before and After the Great East Japan Earthquake.	Breastfeeding medicine : the official journal of the Academy of Breastfeeding Medicine2019 Apr	Original Article
68	Kazuaki Tokodai, Claudia Lannsjö, Felicia Kjaernet 他	総合外科(旧:移植・再建・内 視鏡外科)	Association of post-reperfusion syndrome and ischemia-reperfusion injury with acute kidney injury after liver transplantation.	Acta anaesthesiologica Scandinavica2020 Feb	Original Article

小計14件

69	Yohei Morishita, Shunji Mugikura, Naoko Mori 他	てんかん学分野(てんかん科)	Atrophy of the ipsilateral mammillary body in unilateral hippocampal sclerosis shown by thin-slice-reconstructed volumetric analysis.	Neuroradiology2019 May;61(5):515-523	Original Article
70	Guo Z, Tada H, Kitamura N 他	総合外科(旧:乳腺・内分泌外科)	Automated Quantification of Extranuclear ER $\alpha$ using Phosphor-integrated Dots for Predicting Endocrine Therapy Resistance in HR <sup>+</sup> /HER2 <sup>-</sup> Breast Cancer.	Cancers2019 Apr;11(4)	Original Article
71	Izumita K, Akatsuka R, Hihara H 他	口腔システム補綴学分野(咬合回復科)	Basic Research for New Tooth Whitening Applied the Powder Jet Deposition	Acta Scientific Dental Sciences2019 Aug;3(9):23-31	Original Article
72	Endo Y, Funayama H, Yamaguchi K 他	咬合回復科	Basic Studies on the Mechanism, Prevention, and Treatment of Osteonecrosis of the Jaw Induced by Bisphosphonates.	Biol Pharm Bull. 2020;42(2):164-172	Original Article
73	Yoko Tsukita, Tatsuma Okazaki, Satoru Ebihara 他	呼吸器内科学分野(呼吸器内科)	Beneficial effects of sunitinib on tumor microenvironment and immunotherapy targeting death receptor5.	Oncoimmunology2019;8(2):e1543526	Original Article
74	Kayo Tanita, Taku Fujimura, Yota Sato 他	皮膚科	Bexarotene Reduces Production of CCL22 From Tumor-Associated Macrophages in Cutaneous T-Cell Lymphoma	Frontiers in Oncology2019 Sep;9:907	Original Article
75	Yoichi Wada, Atsuo Kikuchi, Natsuko Arai-Ichinoi 他	小児科	Biallelic GALM pathogenic variants cause a novel type of galactosemia.	Genetics in medicine : official journal of the American College of Medical Genetics2019 Jun;21(6):1286-1294	Original Article
76	Niitsuma S, Kudo H, Kikuchi A 他	小児科	Biallelic variants/mutations of IL1RAP in patients with steroid-sensitive nephrotic syndrome.	International immunology2019 Dec	Original Article
77	Yoshida M, Hosogai M, Yokokura S 他	眼科学分野(眼科)	Bilateral Necrotizing Herpes Simplex Keratitis in an Immunocompetent Patient With Genetic Analysis of Human Simplex Virus 1.	Cornea2019 Jun;38(9):1185-1188	Case report
78	Nakagawa A, Ohtani K, Kawaguchi T 他	バイオデザイン部門(脳神経外科)	Biological effect of shock waves: Mechanism of Blast-Induced Traumatic Injury to Medical Application	31st International symposium on Shock Waves2019;2:421-429	Review
79	Kambayashi Y, Fujimura T, Hidaka T 他	皮膚科	Biomarkers for Predicting Efficacies of Anti-PD1 Antibodies.	Frontiers in medicine2019;6:174	Review
80	Hatta Waku, Tsuji Yosuke, Shiroma Sho 他	消化器病態学分野(消化器内科)	BLEEDING AND THROMBOEMBOLISM ASSOCIATED WITH ENDOSCOPIC SUBMUCOSAL DISSECTION FOR EARLY GASTRIC CANCER -A NATIONWIDE MULTICENTER STUDY IN JAPAN	GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY2019 Jun;89(6):AB73-AB74	Original Article
81	Kazuaki Tokodai, Makiko Kumagai-Braesch, Ahmad Karadagi 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	Blood Group Antigen Expression in Isolated Human Liver Cells in Preparation for Implementing Clinical ABO-Incompatible Hepatocyte Transplantation	JOURNAL OF CLINICAL AND EXPERIMENTAL HEPATOLOGY2019 Sep	Original Article
82	Kakazu E, Sano A, Morosawa T 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Branched chain amino acids are associated with the heterogeneity of the area of lipid droplets in hepatocytes of patients with non-alcoholic fatty liver disease.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology2019 Apr;49(8):860-871	Original Article

小計14件

83	Aizawa T, Karasawa H, Funayama R 他	消化器外科学分野(旧:胃腸外科)	Cancer-associated fibroblasts secrete Wnt2 to promote cancer progression in colorectal cancer.	Cancer medicine2019 Aug	Original Article
84	Fakhruddin KS, Samaranayake LP, Egusa H 他	分子・再生歯科補綴学分野	Candida biome of severe early childhood caries (S-ECC) and its cariogenic virulence traits.	J Oral Microbiol2020 Feb;12(1):1724484	Original Article
85	Ogihara Y, Fujimoto N, Ohashi H 他	遺伝医療学分野(遺伝科)	Case of Noonan Syndrome With an Expanding Coronary Arterial Aneurysm.	Circulation. Cardiovascular imaging2019 Sep;12(9):e009429	Case report
86	Minoru Ohsawa, Shin Takayama, Akiko Kikuchi 他	総合地域医療教育支援部(漢方内科)	Cases of Chemical Sensitivity Successfully Treated With Kampo Medicine	Alternative Therapies in Health med Medicine2019 Dec	Case report
87	Ishizawa K, Yamanaka M, Saiki Y 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	CD45+CD326+ Cells are predictive of poor prognosis in Non-Small Cell Lung Cancer patients.	Clinical cancer research : an official journal of the American Association for Cancer Research2019 Aug	Original Article
88	Ise I, Tanaka N, Imoto H 他	消化器外科学分野(旧:胃腸外科)	Changes in Enterohepatic Circulation after Duodenal-Jejunal Bypass and Reabsorption of Bile Acids in the Bilio-Pancreatic Limb.	Obesity surgery2019 Jun;29(6):1901-1910	Original Article
89	Nishio S, Matsuo K, Shibata T 他	婦人科	Changes in the Clinicopathological Demographics of Vulvar Cancer in Japan: Increasing Oldest-Old, Stage Shifting, and Decreasing Cohort-Level Survival <sup>†</sup>	Journal of clinical medicine2019 Nov;8(12)	Original Article
90	Kazuaki Tokodai, Shigehito Miyagi, Wataru Nakanishi 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	Characteristics and predictive value for graft fibrosis of the complement-binding capacity of donor-specific human leukocyte antigen antibodies after pediatric liver transplantation.	Pediatric transplantation2020 Feb;24(1):e13648	Original Article
91	Tokodai K, Karadagi A, Kjaernet F 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	Characteristics and risk factors for recurrence of nonalcoholic steatohepatitis following liver transplantation.	Scandinavian journal of gastroenterology2019 Apr;1-7	Original Article
92	Hasebe Y, Fukuda K, Nakano M 他	循環器内科	Characteristics of ventricular tachycardia and long-term treatment outcome in patients with dilated cardiomyopathy complicated by Lamin A/C gene mutations.	J Cardiol2019 Nov;74(5):451-459	Original Article
93	Inoue Takashi, Ishida T, Inoue Tomoo 他	脳神経外科	Circulating lectin-like oxidized low density lipoprotein receptor-1 levels as a biomarker of acute intracerebral hemorrhage.	J Stroke & Cerebrovasc Dis2019;28:490-494	Original Article
94	Omodaka S, Endo H, Niizuma K 他	脳神経外科	Circumferential wall enhancement in evolving intracranial aneurysms on magnetic resonance vessel wall imaging.	J Neurosurg2019;131:1262-1268	Original Article
95	Oka N, Kasajima A, Konukiewitz B 他	呼吸器外科	Classification and prognostic stratification of bronchopulmonary neuroendocrine neoplasms.	Neuroendocrinology2019 Aug	Original Article
96	Yasuhiro Fujisawa, Shusuke Yoshikawa, Akane Minagawa 他	皮膚科	Classification of 3097 patients from the Japanese melanoma study database using the American joint committee on cancer eighth edition cancer staging system.	Journal of dermatological science2019 May;94(2):284-289	Original Article

小計14件

97	Yasuhiro Fujisawa, Shusuke Yoshikawa, Akane Minagawa 他	皮膚科	Clinical and histopathological characteristics and survival analysis of 4594 Japanese patients with melanoma.	Cancer medicine2019 May;8(5):2146-2156	Original Article
98	Watanabe T, Soeda S, Nishiyama H 他	婦人科	Clinical and reproductive outcomes of fertility-sparing surgery in stage I epithelial ovarian cancer.	Molecular and clinical oncology2020 Jan;12(1):44-50	Original Article
99	Sato K, Takahashi J, Odaka Y 他	循環器内科	Clinical characteristics and long-term prognosis of contemporary patients with vasospastic angina -Ethnic differences detected in an international comparative study-	Int J Cardiol2019 Sep;291:13-18	Original Article
100	Takaya Yamamoto, Rei Umezawa, Hideki Tokunaga 他	放射線治療学分野(放射線治療科)	Clinical experience of pelvic radiotherapy or chemoradiotherapy for postoperative uterine cervical cancer using intensity-modulated radiation therapy.	Journal of radiation research2020 Feb	Original Article
101	Akaishi T, Sato DK, Takahashi T 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Clinical spectrum of inflammatory central nervous system demyelinating disorders associated with antibodies against myelin oligodendrocyte glycoprotein.	J Gen Fam Med.2019 May;20(3):118-121	Review
102	Tadashi Kawai, Shinji Kamakura, Keiko Matsui 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Clinical study of octacalcium phosphate and collagen composite in oral and maxillofacial surgery	Journal of Tissue Engineering2020;11	Original Article
103	Tetsuya Akaishi, Toru Nakano, Tomomi Machida 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Clinical Usefulness of Endoscopy, Barium Fluoroscopy, and Chest Computed Tomography for the Correct Diagnosis of Achalasia.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2020 Feb;59(3):323-328	Original Article
104	Harunobu Matsumoto, Mototsugu Shimokawa, Kaei Nasu 他	婦人科	Clinicopathologic features, treatment, prognosis and prognostic factors of neuroendocrine carcinoma of the endometrium: a retrospective analysis of 42 cases from the Kansai Clinical Oncology Group/Intergroup study in Japan.	Journal of gynecologic oncology2019 Nov;30(6):e103	Original Article
105	Onodera K, Sakurada A, Hoshi F 他	呼吸器外科	Clinicopathological features of intraoperative pleural lavage cytology for non-small cell lung cancer.	General thoracic and cardiovascular surgery2019 Jul	Original Article
106	Mansour A, Endo T, Inoue T 他	脳神経外科	Clipping of an anterior spinal artery aneurysm using an endoscopic fluorescence imaging system for craniocervical junction epidural arteriovenous fistula: technical note.	J Neurosurg2019;26:1-6	Case report
107	Ishida T, Endo H, Saito R 他	神経外科学分野(脳神経外科)	Coexistence of an intracranial germ cell tumor with a growing arteriovenous fistula: a case report.	World Neurosurg2019 Apr	Case report
108	Erina Iwabuchi, Yasuhiro Miki, Yoshiaki Onodera 他	乳腺・内分泌外科学分野(総合外科(旧:乳腺・内分泌外科))	Co-expression of carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule 6 and 8 inhibits proliferation and invasiveness of breast carcinoma cells.	Clinical & experimental metastasis2019 Oct;36(5):423-432	Original Article
109	Kuriyama S, Metoki H, Kikuya M 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Cohort Profile: Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study (TMM BirThree Cohort Study): Rationale, Progress and Perspective	Nature communilnternational Journal of Epidemiology2020 Feb;49(1):18-19	Review
110	Ariake K, Motoi F, Mizuma M 他	総合外科(旧:肝・胆・膵外科)	Collagen gel droplet-embedded culture drug sensitivity test (CD-DST) predicts the effect of adjuvant chemotherapy on pancreatic cancer.	Surg Today.2019 Dec;49(12):1035-1043	Original Article

小計14件

111	Ouchi J, Kunikata H, Omodaka K 他	眼科学分野(眼科)	Color visual acuity in preperimetric glaucoma and open-angle glaucoma.	PloS one2019;14(4):e0215290	Original Article
112	Tsuyoshi Shirai, Koji Murakami, Hiroshi Fujii 他	血液・免疫科	Comment on: Aortarctia: a rare manifestation of relapsing polychondritis	Rheumatology2020 Feb;59(7)	Letter
113	Onishi E, Toda N, Kameyama Y 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔科)	Comparison of Clinical Efficacy and Anatomical Investigation between Retrolaminar Block and Erector Spinae Plane Block.	BioMed research international2019;2019:2578396	Original Article
114	Inoue J, Akahane T, Nakayama H, Kimura O 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Comparison of hepatitis B virus genotypes B and C among chronically hepatitis B virus-infected patients who received nucleos(t)ide analogs: A multicenter retrospective study.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology2019 Jun	Original Article
115	Nemoto K, Kawashiro S, Toh Y 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	Comparison of the effects of radiotherapy doses of 50.4 Gy and 60 Gy on outcomes of chemoradiotherapy for thoracic esophageal cancer: subgroup analysis based on the Comprehensive Registry of Esophageal Cancer in Japan from2009 to 2011 by the Japan Esophageal Society.	Esophagus. 2020 Jan;17(2):122-126	Original Article
116	Sato N, Handa K, Venkata VS 他	保存修復科	Comparison of the vertical bone defect healing abilities of carbonate apatite, $\beta$ -tricalcium phosphate, hydroxyapatite and bovine-derived heterogeneous bone.	Dental Materials Journal2020 Feb;39(2):309-318	Original Article
117	Iida M, Tsuboi K, Niwa T 他	乳腺・内分泌外科学分野(総合外科(旧:乳腺・内分泌外科))	Compensatory role of insulin-like growth factor 1 receptor in estrogen receptor signaling pathway and possible therapeutic target for hormone therapy-resistant breast cancer.	Breast cancer (Tokyo, Japan)2019 May;26(3):272-281	Original Article
118	Osamu Adachi, Tomoyuki Suzuki, Ichiro Yoshioka 他	心臓血管外科学分野(心臓血管外科)	Concomitant Valve-Sparing Aortic Root Replacement With Repair of Tetralogy of Fallot.	The Annals of thoracic surgery2019 Aug;108(2):e99-e101	Case report
119	Akaishi T, Takahashi T, Abe M 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Consideration of gravity as a possible etiological factor in amyotrophic lateral sclerosis.	Medical hypotheses2019 Aug;132:109369	Original Article
120	Masao Nagasaki, Yoko Kuroki, Tomoko F Shibata 他	婦人科学分野(婦人科)	Construction of JRG (Japanese reference genome) with single-molecule real-time sequencing.	Human genome variation2019;6:27	Original Article
121	Hatta W, Koike T, Okata H 他	消化器内科	Continuous liquid-suction catheter attachment for endoscope reduces volume of liquid reflux to the mouth in esophageal endoscopic submucosal dissection.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society2019 Sep;31(5):527-534	Original Article
122	Morihisa Hirota, Tooru Shimosegawa, Katsuya Kitamura 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Continuous regional arterial infusion versus intravenous administration of the protease inhibitor nafamostat mesilate for predicted severe acute pancreatitis: a multicenter, randomized, open-label, phase 2 trial	Journal of Gastroenterology2020 Mar;55(3):342-352	Original Article
123	Hatta W, Koike T, Okata H 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Continuously liquid-sucking catheter attachment for the endoscope reduces the volume of liquid reflux to the mouth in esophageal endoscopic submucosal dissection.	Digestive Endoscopy2019 Sep;31(5):527-534	Original Article
124	Kasahara S, Sakata Y, Nochioka K 他	臨床生理検査学分野(循環器内科)	Conversion formula from B-type natriuretic peptide to N-terminal proBNP values in patients with cardiovascular diseases.	International journal of cardiology2019 Apr;280:184-189	Original Article

125	Sato K, Endo T, Sakata H 他	脳神経外科	Cord compression caused by a tangled and warped lumbar catheter after lumboperitoneal shunt placement.	Neurospine2019;16(2):368-372	Case report
126	Suda A, Takahashi J, Hao K 他	循環器内科	Coronary functional abnormalities in patients with angina and non-obstructive coronary artery disease.	J Am Coll Cardiol2019 Nov;74(19):2350-2360	Original Article
127	Kakuta Y, Izumiyama Y, Okamoto D 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Correction to: High-resolution melt analysis enables simple genotyping of complicated polymorphisms of codon 18 rendering the NUDT15 diplotype.	Journal of gastroenterology2019 Nov	Original Article
128	Endo S, Ikeda N, Kondo T 他	呼吸器外科	Correction to: Risk assessments for broncho-pleural fistula and respiratory failure after lung cancer surgery by National Clinical Database Japan.	General thoracic and cardiovascular surgery2019 Oct;67(10):904-906	Review
129	Chiba H, Kakuta Y, Kinouchi Y 他	消化器外科学分野(旧・肝胆・膵外科)	Correction: Allele-specific DNA methylation of disease susceptibility genes in Japanese patients with inflammatory bowel disease.	PloS one2019;14(2):e0212148	Others
130	Nishiguchi KM, Yokoyama Y, Kunikata H 他	眼科学分野(眼科)	Correlation between aqueous flare and residual visual field area in retinitis pigmentosa.	The British journal of ophthalmology2019 Apr;103(4):475-480	Original Article
131	Tsuyoshi Fujii, Satoshi Yamaguchi, Yulwan Sung 他	加齢歯科学分野(高齢者歯科)	Correlation between changes in the transverse relaxation time and electromyographic measurements of the superficial masseter and temporal muscles.	Magnetic Resonance in Medical Sciences2019	Original Article
132	Suzuki H, Oishi H, Noda M 他	呼吸器外科	Correlation between the native lung volume change and postoperative pulmonary function after single lung transplantation for lymphangiomyomatosis: Evaluation of lung volume by three-dimensional computed tomography volumetry.	PloS one2019;14(2):e0210975	Original Article
133	An Y, Sekinaka T, Tando Y, Okamura D 他	婦人科学分野(婦人科)	Corrigendum to "Derivation of pluripotent stem cells from nascent undifferentiated teratoma"	Developmental biology2019 Sep;453(1):110	Original Article
134	Takura T, Ebata-Kogure N, Goto Y 他	内部障害学分野(内部障害)八科)	Cost-Effectiveness of Cardiac Rehabilitation in Patients with Coronary Artery Disease: A Meta-Analysis.	Cardiology research and practice2019(9):1-11	Original Article
135	Fukuhara N, Ishizawa K	血液・免疫科	Current approaches and future perspectives for advanced-stage follicular lymphoma with a low tumor burden.	Japanese journal of clinical oncology2019 Apr;49(4):306-310	Original Article
136	Horinouchi H, Asano F, Okubo K 他	呼吸器外科	Current status of diagnostic and therapeutic bronchoscopy in Japan: 2016 national survey of bronchoscopy.	Respiratory investigation2019 May;57(3):238-244	Original Article
137	Toh Y, Numasaki H, Tachimori Y 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	Current status of radiotherapy for patients with thoracic esophageal cancer in Japan, based on the Comprehensive Registry of Esophageal Cancer in Japan from 2009 to 2011 by the Japan Esophageal Society.	Esophagus.2020 Jan;17(1):25-32	Original Article
138	Wang Z, Maruyama K, Sakisaka Y 他	歯内歯周治療学分野(歯周病科)	Cyclic Stretch Force Induces Periodontal Ligament Cells to Secrete Exosomes That Suppress IL-1 $\beta$ Production Through the Inhibition of the NF- $\kappa$ B Signaling Pathway in Macrophages.	Frontiers in immunology2019;10:1310	Original Article

小計14件

139	Tawarayama H, Feng Q, Murayama N 他	眼科学分野(眼科)	Cyclin-Dependent Kinase Inhibitor 2b Attenuates Excitotoxicity-Induced Death of Retinal Ganglion Cells.	Investigative ophthalmology & visual science2019 Oct;60(13):4479-4488	Original Article
140	Sato Y, Saito R, Kanamori M 他	脳神経外科	Cystic Glioblastoma rupturing into the ventricle	NMC Case Report Journal2019;7:1	Case report
141	Sato A, Takagi K, Miki Y 他	乳腺・内分泌外科学分野(総合外科(旧:乳腺・内分泌外科))	Cytochrome c1 as a favorable prognostic marker in estrogen receptor-positive breast carcinoma.	Histology and histopathology2019 May;18130	Original Article
142	Yamada M, Watanabe J, Ueno T 他	分子・再生歯科補綴学分野	Cytoprotective preconditioning of osteoblast-Like cells with N-acetyl-L-cysteine for bone regeneration in cell therapy.	Int J Mol Sci.2019 Oct;20(20):5199	Original Article
143	Atsushi Tanno, Naoya Fujino, Mitsuhiro Yamada 他	呼吸器内科	Decreased expression of a phagocytic receptor Siglec-1 on alveolar macrophages in chronic obstructive pulmonary disease	Respiratory Research2020 Jan;21(1)	Original Article
144	Kanno E, Tanno H, Masaki A 他	形成外科学分野(形成外科)	Defect of Interferon $\gamma$ Leads to Impaired Wound Healing through Prolonged Neutrophilic Inflammatory Response and Enhanced MMP-2 Activation.	International journal of molecular sciences2019 Nov;20(22)	Original Article
145	Tachi M	形成外科学分野(形成外科)	Defying hard-to-heal wounds with an early antibiofilm intervention strategy: 'wound hygiene'.	J Wound Care2019 Dec;28(12):818-822	Original Article
146	Takamasa Komiyama, Takashi Ohi, Yasutake Tomata 他	加齢歯科学分野(高齢者歯科)	Dental Status is Associated With Incident Functional Disability in Community-Dwelling Older Japanese: A Prospective Cohort Study Using Propensity Score Matching.	Journal of epidemiology2020 Feb;30(2):84-90	Original Article
147	Kiyomiya H, Nogami S, Yoshiga D 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Dento-alveolar reconstruction using titanium mesh and bone grafting followed by dental implants placement for malunion and malocclusion after a maxillofacial-mandibular fracture.	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology2020	Original Article
148	Akio Izumida	総合歯科診療部	Denture repair with the application of a magnetic attachment to the inner crown of a telescopic crown: A 3-year follow-up case.	The Journal of the Japanese Society of Magnetic Applications in Dentistry2019;28(2):9-13	Case report
149	Sumiyo SUZUKI, Yu KATAOKA, Masafumi KANEHIRA 他	歯科保存学分野(保存修復科)	Detection of enamel subsurface lesions by swept-source optical coherence tomography	Dental Materials Journal2019 Apr;38(2):303-310	Original Article
150	Koshizuka T, Matsuda Y, Suzuki H 他	呼吸器外科	Detection of engraftment of donor-derived antibody producing cells in a lung transplant recipient by anti-cytomegalovirus IgG avidity test.	Transplant immunology2019 Apr;53:34-37	Original Article
151	Michio Ozeki, Yoko Aoki, Akifumi Nozawa 他	遺伝医療学分野(遺伝科)	Detection of NRAS mutation in cell-free DNA biological fluids from patients with kaposiform lymphangiomatosis.	Orphanet journal of rare diseases2019 Sep;14(1):215-215	Original Article
152	Kurniawan A, Yodokawa K, Kosaka M 他	咬合回復科	Determining the effective number and surfaces of teeth for forensic dental identification through the 3D point cloud data analysis	Egyptian Journal of Forensic Sciences 2020;10(1)	Original Article

小計14件

153	Morosawa S, Yamamoto H, Hirano M 他	循環器内科	Development of a shock-wave catheter ablation system for ventricular tachyarrhythmias: Validation study in pigs in vivo	J Am Heart Assoc2019 Jun;8(2)	Original Article
154	Yamamoto S, Funaki T, Fujimura M 他	脳神経外科	Development of Hemorrhage-prone Anastomoses in Asymptomatic Moyamoya Disease - A Comparative Study with Japan Adult Moyamoya Trial.	J Stroke & Cerebrovasc Dis2019;28:104328	Original Article
155	Kikuchi N, Satoh K, Satoh T 他	循環器内科	Diagnostic and prognostic significance of serum levels of selenoprotein P in patients with pulmonary hypertension.	Arterioscler Thromb Vasc Biol2019 Dec;39(12):2553-2562	Original Article
156	Aizawa N, Kunikata H, Nakazawa T	眼科学分野(眼科)	Diagnostic power of laser speckle flowgraphy-measured optic disc microcirculation for open-angle glaucoma: Analysis of 314 eyes.	Clinical & experimental ophthalmology2019 Jul;47(5):680-683	Original Article
157	Saito A, Fujimura M, Endo H 他	脳神経外科	Diagnostic Value of Contrast-Enhanced Magnetic Resonance Vessel Wall Imaging on the Onset Type of Vertebral Artery Dissection.	Cerebrovasc Dis2019;26:1-8	Original Article
158	Noriyuki Iwama, Takashi Sugiyama, Hirohito Metoki 他	婦人科学分野(婦人科)	Difference in the prevalence of gestational diabetes mellitus according to gestational age at 75-g oral glucose tolerance test in Japan: The Japan Assessment of Gestational Diabetes Mellitus Screening trial.	Journal of diabetes investigation2019 Nov;10(6):1576-1585	Original Article
159	Nishiwaki S, Mizuta S, Onashi K 他	血液・免疫科	Different impact of BCR-ABL transcripts on allogeneic hematopoietic cell transplantation from different graft sources for Ph <sup>+</sup> /ALL with minimal residual disease.	American journal of hematology2019 Nov;94(11):E301-E305	Original Article
160	Okata T, Uno K, Fujishima F 他	消化器病態学分野(消化器 内科)	Difficult Preoperative Diagnosis of Lymphoepithelioma-Like Carcinoma of the Esophagus.	ACG case reports journal2019 Aug;6(8):e00163	Original Article
161	Salybekov AA, Masuda H, Miyazaki K 他	呼吸器外科	Dipeptidyl dipeptidase-4 inhibitor recovered ischemia through an increase in vasculogenic endothelial progenitor cells and regeneration-associated cells in diet-induced obese mice.	PloS one2019;14(3):e0205477	Original Article
162	Satoshi Tsuchiya, Yasuharu Matsumoto, Tsuayoshi Doman 他	循環器内科	Disappearance of Angiodysplasia Following Transcatheter Aortic Valve Implantation in a Patient with Heyde's Syndrome: A Case Report and Review of the Literature.	Journal of atherosclerosis and thrombosis2020 Mar;27(3):271-277	Case report
163	Tomohiro Yokoyama, Shohei Mori, Mototaka Arakawa 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔 科)	Discrimination of thoracic spine from muscle based on their difference in ultrasound reflection and scattering characteristics.	Journal of medical ultrasonics (2001)2020 Jan;47(1):3-11	Original Article
164	Kokubun S, Sato T, Yajima T 他	口腔器官解剖学分野(保存 修復科)	Distribution of postganglionic neurons which contain dopamine $\beta$ -hydroxylase, tyrosine hydroxylase, neuropeptide Y and vasoactive intestinal polypeptide in the human middle cervical ganglion.	Tissue & cell2019 Jun;58:42-50	Original Article
165	Shiga S, Murata Y, Hashimoto T 他	放射線腫瘍学分野(放射線 治療科)	DNA-PKcs is activated under nutrient starvation and activates Akt, MST1, FoxO3a, and NDR1.	Biochem Biophys Res Commun.2020 Jan;521(3):668-673	Original Article
166	Kishikawa A, Kitaura H, Kimura K 他	顎口腔矯正学分野(矯正歯 科)	Docosahexaenoic Acid Inhibits Inflammation-Induced Osteoclast Formation and Bone Resorption <i>in vivo</i> Through GPR120 by Inhibiting TNF- $\alpha$ Production in Macrophages and Directly Inhibiting Osteoclast Formation.	Frontiers in endocrinology2019 Mar;10:157	Original Article

小計14件



167	Sumitaka Kobayashi, Fumihiro Sata, Katsuyuki Murata 他	婦人科学分野(婦人科)	Dose-dependent associations between prenatal caffeine consumption and small for gestational age, preterm birth, and reduced birthweight in the Japan Environment and Children's Study	Paediatric and Perinatal Epidemiology2019 May;33(3):185-194	Original Article
168	Ishida M, Shen WR, Kimura K 他	顎口腔矯正学分野(矯正歯科)	DPP-4 inhibitor impedes lipopolysaccharide-induced osteoclast formation and bone resorption in vivo.	Biomedicine & Pharmacotherapy2019 Jun;109:242-253	Original Article
169	Hata T, Mizuma M, Motoi F 他	総合外科(旧:肝・胆・膵外科)	Early postoperative drainage fluid culture positivity from contaminated bile juice is predictive of pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy.	Surg Today.2020 Mar;50(3):248-257	Original Article
170	Kawaguchi T, Ogawa Y, Tominaga T 他	脳神経外科	Early surgical intervention for patients with possible clinically silent somatotroph adenoma: a case series	J Med Case Rep2019;13:85	Case report
171	Kinoshita T, Seiji K, Putra NK 他	放射線診断科	Effect of a notch at the distal end of a microcatheter on vein deformation in segmental adrenal venous sampling: a preliminary study using computational fluid dynamics	Med Biol Eng Comput . 2019 Jun;57(7):1425-1436	Original Article
172	Masafumi KANEHIRA, Hiroshi ISHIHATA, Yasuyuki ARAKI 他	歯科保存学分野(保存修復科)	Effect of artificial saliva on permeability of dentin treated with phosphate containing desensitizer measured by digital flow meter	Dental Materials Journal2019 Sep;38(6):963-969	Original Article
173	Iikubo M, Kagawa T, Fujisawa J 他	口腔診断学分野(口腔診断科)	Effect of exposure parameters and gutta-percha cone size on fracture-like artifacts in endodontically treated teeth on cone-beam computed tomography images.	Oral radiology2019 Oct	Original Article
174	Sumida H, Sugino S, Kuratani N 他	手術部	Effect of forced-air warming by an underbody blanket on end-of-surgery hypothermia: a propensity score-matched analysis of 5063 patients.	BMC anesthesiology2019 Apr;19(1):50	Original Article
175	Shiraishi N, Ishiko-Uzuka R, Takahashi K 他	咬合回復科	Effect of Functionally-Graded Calcium Titanate Film, Prepared by Metal-Organic Chemical Vapor Deposition, on Titanium Implant.	Appl. Sci.2019;9(1):172	Original Article
176	Nomura H, Aoki D, Michimae H 他	婦人科	Effect of Taxane Plus Platinum Regimens vs Doxorubicin Plus Cisplatin as Adjuvant Chemotherapy for Endometrial Cancer at a High Risk of Progression: A Randomized Clinical Trial.	JAMA oncology2019 Jun;5(6):833-840	Original Article
177	Ohori F, Kitaura H, Marahleh A 他	顎口腔矯正学分野(矯正歯科)	Effect of TNF- $\alpha$ -Induced Sclerostin on Osteocytes during Orthodontic Tooth Movement.	Journal of Immunology Research2019 Jun	Original Article
178	Yasutaka Kuniyoshi, Taku Obara, Mami Ishikuro 他	小児病態学分野(小児科)	Effectiveness of seasonal inactivated influenza vaccination in Japanese schoolchildren: an epidemiologic study at the community level	Human Vaccines and Immunotherapeutics2020 Feb;16(2):295-300	Original Article
179	Kamiyama Y, Yamashita S, Nakagawa A 他	脳神経外科	Effects of a Novel Piezo Actuator-Driven Pulsed Water Jet System on Residual Kidney after Partial Nephrectomy in a Rat Model.	Urology2019;123:265-272	Original Article
180	Yokoyama Y, Kawasaki R, Takahashi H 他	眼科学分野(眼科)	Effects of Brimonidine and Timolol on the Progression of Visual Field Defects in Open-angle Glaucoma: A Single-center Randomized Trial.	Journal of glaucoma2019 Jun;28(7):575-583	Original Article

小計14件

181	Zheng K, Yoda N, Chen J 他	咬合回復科	Effects of Buccal Thickness Augmentation on Bone Remodeling after Maxillary Anterior Implantation	Biomech Model Mechanobiol2019	Original Article
182	Yohei Honkura, Jun Suzuki, Nobuyuki Sakayori 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Effects of enriched endogenous omega-3 fatty acids on age-related hearing loss in mice.	BMC research notes2019 Nov;12(1):768	Original Article
183	Hisayuki Yokoyama, Junya Kanda, Shunichi Kato 他	血液・免疫科	Effects of HLA mismatch on cytomegalovirus reactivation in cord blood transplantation.	Bone marrow transplantation2019 Jul;54(7):1004-1012	Original Article
184	Kido K, Toda S, Shindo Y 他	手術部	Effects of low-dose ketamine infusion on remifentanyl-induced acute opioid tolerance and the inflammatory response in patients undergoing orthognathic surgery.	Journal of pain research2019;12:377-385	Original Article
185	Yamauchi K, Takahashi T, Yamaguchi Y 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Effects of surgery-first approaches on temporomandibular joint symptom and function: A comparison with orthodontics-first approaches.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol2019 May;127(5):387-392	Original Article
186	Masaaki Yoshida, Hiroshi Kunikata, Shiho Kunitatsu-Sanuki 他	眼科学分野(眼科)	Efficacy of 27-Gauge Vitrectomy with Internal Limiting Membrane Peeling for Epiretinal Membrane in Glaucoma Patients.	Journal of ophthalmology2019;2019():7807432	Original Article
187	Kato Y, Fujimura M, Sato K 他	脳神経外科	Efficacy of direct revascularization surgery for hemorrhagic moyamoya syndrome as a late complication of cranial irradiation for childhood craniopharyngioma.	J Stroke & Cerebrovasc Dis2019;28:e46-e50	Original Article
188	Suzuki K, Oikawa T, Nochioka K 他	臨床生理検査学分野(循環器内科)	Elevated Serum Non-HDL (High-Density Lipoprotein) Cholesterol and Triglyceride Levels as Residual Risks for Myocardial Infarction Recurrence Under Statin Treatment.	Arteriosclerosis, thrombosis, and vascular biology2019 May;39(5):934-944	Original Article
189	Masaaki Yoshida, Shunji Yokokura, Takashi Nishida 他	眼科学分野(眼科)	Endogenous endophthalmitis caused by group B streptococcus; case reports and review of 35 reported cases.	BMC ophthalmology2020 Mar;20(1):126-126	Case report
190	Yamauchi K, Morishima H, Nogami S 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Endoscope-assisted intraoral approach for removal of ectopic third molar to the lower border mandible using long-tip ultrasonic device	Clinics in Surgery2019;4:2329	Original Article
191	Rintaro Moroi, Hisashi Shiga, Masatake Kuroha 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Endoscopic radial incision and cutting for Crohn's Disease-associated intestinal stricture: a pilot study.	Endoscopy international open2020 Jan;8(1):E81-E86	Original Article
192	Kanno H, Aizawa T, Hashimoto K 他	整形外科科学分野(整形外科)	Enhancing percutaneous pedicle screw fixation with hydroxyapatite granules: A biomechanical study using an osteoporotic bone model.	PloS one2019;14(9):e0223106	Original Article
193	Fuse N, Sakurai-Yageta M, Katsuoka F 他	小児病態学分野(小児科)	Establishment of Integrated Biobank for Precision Medicine and Personalized Healthcare: The Tohoku Medical Megabank Project.	JMA Journal2019 Sep;2(2):113-122	Original Article
194	Yamaguchi M, Inomata S, Harada S 他	医学情報学分野(メディカルITセンター)	Establishment of the MID-NET? medical information database network as a reliable and valuable database for drug safety assessments in Japan	Pharmacoepidemiology and Drug Safety.2019 Oct;1395-1404	Original Article

小計14件

195	Yamaguchi-Kabata Y, Yasuda J, Uruno A 他	婦人科学分野(婦人科)	Estimating carrier frequencies of newborn screening disorders using a whole-genome reference panel of 3552 Japanese individuals.	Human genetics2019 Apr;138(4):389-409	Original Article
196	Masafumi Kikuchi, Kensuke Shigeta, Masaki Tanaka 他	呼吸器外科	Estimation of Blood Sirolimus Concentration Based on Tacrolimus Concentration/Dose Normalized by Body Weight Ratio in Lung Transplant Patients.	Therapeutic drug monitoring2019 Oct;41(5):615-619	Original Article
197	ITO, Takuya, SUGIBAYASHI, Rika, SATO 他	婦人科学分野(婦人科)	Evaluating the reliability of fetal electrocardiogram monitoring that acts via the abdominal wall of pregnant rabbits	Translational and Regulatory Sciences2020 Mar;2(1):14-18	Original Article
198	Noriyuki Kadoya, Kota Abe, Hikaru Nemoto 他	放射線治療学分野(放射線治療科)	Evaluation of a 3D-printed heterogeneous anthropomorphic head and neck phantom for patient-specific quality assurance in intensity-modulated radiation therapy.	Radiological physics and technology2019 Sep;12(3):351-356	Original Article
199	Hasegawa H, Masui S, Ishihata H 他	咬合回復科	Evaluation of a Newly Designed Microperforated Pure Titanium Membrane for Guided Bone Regeneration.	International Journal of Oral and Maxillofacial Implants2019;34(2):411-422	Original Article
200	Qu Y, Hong G, Liu L 他	咬合回復科	Evaluation of silk fibroin electrogel coating for zirconia material surface.	Dental materials journal2019;38(5):813-820	Original Article
201	Nakajima Y, Kadoya N, Kanai T 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	Evaluation of the effect of user-guided deformable image registration of thoracic images on registration accuracy among users.	Med Dosim.2020 Jan	Original Article
202	Yohei Ozawa, Toru Nakano, Yusuke Taniyama 他	消化器外科学分野(旧:肝・胆・膵外科)	Evaluation of the impact of psoas muscle index, a parameter of sarcopenia, in patients with esophageal squamous cell carcinoma receiving neoadjuvant therapy.	Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society2019 Oct;16(4):345-351	Original Article
203	Tomofumi Ishikawa, Taku Obara, Kazutaka Jin 他	てんかん学分野(てんかん科)	Examination of the prescription of antiepileptic drugs to prenatal and postpartum women in Japan from a health administrative database.	Pharmacoepidemiology and drug safety2019 Jun;28(6):804-811	Original Article
204	Tanda N, Hoshikawa Y, Sato T. 他	予防歯科	Exhaled acetone and isoprene in perioperative lung cancer patients under intensive oral care: possible indicators of inflammatory responses and metabolic changes.	Biomedical research (Tokyo, Japan)2019;40(1):29-36	Original Article
205	Chonan M, Saito R, Kanamori M 他	脳神経外科	Experience of Low Dose Peramppanel to Add-on in Glioma Patients with Levetiracetam-uncontrollable Epilepsy.	Neurol Med Chirurgica2020 Jan;60(1):37-44	Original Article
206	Fujiwara S, Saiki Y, Ishizawa K 他	消化器外科学分野(旧:肝・胆・膵外科)	Expression of SNAIL in accompanying PanIN is a key prognostic indicator in pancreatic ductal adenocarcinomas.	Cancer medicine2019 Apr;8(4):1671-1678	Original Article
207	Kobayashi J, Hasegawa T, Sugeno N 他	神経内科学分野(脳神経内科)	Extracellular $\alpha$ -synuclein enters dopaminergic cells by modulating flotillin-1-assisted dopamine transporter endocytosis.	FASEB journal : official publication of the Federation of American Societies for Experimental Biology2019 Sep;33(9):10240-10256	Original Article
208	NOGAMI S, Yamauchi K, Bottini G 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Fall-related mandible fractures in a Japanese population: a retrospective study	Dent Traumatol2019 Jun;35(3):194-198	Original Article

小計14件

209	Naoko Nakamura, Rumiko Izumi, Yosuke Hoshi 他	神経内科学分野(脳神経内科)	FDG-PET detects extensive calcinosis cutis in anti-NXP2 antibody-positive dermatomyositis.	Rheumatology (Oxford, England)2019 Oct;58(10):1888	Case report
210	Jingu K, Umezawa R, Yamamoto T 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	FDG-PET might not contribute to improving survival in patients with locally advanced inoperable esophageal cancer.	Int J Clin Oncol.2019 Aug;24(8):927-933	Original Article
211	Machida H, Iwata T, Okugawa K 他	婦人科学分野(婦人科)	Fertility-sparing trachelectomy for early-stage cervical cancer: A proposal of an ideal candidate.	Gynecologic oncology2019 Nov	Original Article
212	Maruyama D, Nagai H, Fukuhara N 他	血液・免疫科	Final analysis of a phase II study of ibrutinib in Japanese patients with relapsed/refractory mantle cell lymphoma.	Journal of clinical and experimental hematopathology : JCEH2019;59(2):98-100	Original Article
213	Takahiro Okabe, Taku Fujimura, Junnosuke Okajima 他	皮膚科	First-in-human clinical study of novel technique to diagnose malignant melanoma via thermal conductivity measurements	Scientific Reports2019 Dec;9(1):3853	Original Article
214	Iwaki K, Fujiwara T, Ito T 他	検査部	Flow Cytometry-Based Photodynamic Diagnosis with 5-Aminolevulinic Acid for the Detection of Minimal Residual Disease in Multiple Myeloma.	The Tohoku journal of experimental medicine2019 Sep;249(1):19-28	Original Article
215	Abe R, Sakata Y, Nochioka K 他	臨床生理検査学分野(循環器内科)	Gender differences in prognostic relevance of self-care behaviors on mortality and hospitalization in patients with heart failure - A report from the CHART-2 Study.	Journal of cardiology2019 May;73(5):370-378	Original Article
216	Saito K, Fujiwara T, Hatta S 他	血液・免疫科	Generation and Molecular Characterization of Human Ring Sideroblasts: a Key Role of Ferrous Iron in Terminal Erythroid Differentiation and Ring Sideroblast Formation.	Molecular and cellular biology2019 Apr;39(7)	Original Article
217	Tashiro R, Fujimura M, Sakata H 他	脳神経外科	Genetic analysis of ring finger protein 213 (RNF213) c.14576G>A polymorphism in patients with vertebral artery dissection: a comparative study with moyamoya disease.	Neurol Res2019;41(9):811-816	Original Article
218	Daisuke Okamoto, Yosuke Kawai, Yoichi Kakuta 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Genetic Analysis of Ulcerative Colitis in Japanese Individuals Using Population-specific SNP Array.	Inflammatory bowel diseases2020 Feb	Original Article
219	Baba H, Kanamori H, Kudo H 他	感染管理室	Genomic analysis of Shiga toxin-producing Escherichia coli from patients and asymptomatic food handlers in Japan.	PloS one2019;14(11):e0225340	Original Article
220	Yasuko Shoji, Shinobu Ida, Tetsuya Niihori 他	遺伝医療学分野(遺伝科)	Genotype-phenotype correlation analysis in Japanese patients with Noonan syndrome.	Endocrine journal2019 Nov;66(11):983-994	Original Article
221	Tetsuya Niihori, Koki Nagai, Atsushi Fujita 他	遺伝医療学分野(遺伝科)	Germline-Activating RRAS2 Mutations Cause Noonan Syndrome.	American journal of human genetics2019 Jun;104(6):1233-1240	Original Article
222	Koichi Kikuchi, Daisuke Saigusa, Yoshitomi Kanemitsu 他	小児病態学分野(小児科)	Gut microbiome-derived phenyl sulfate contributes to albuminuria in diabetic kidney disease.	Nature communications2019 Apr;10(1):1835-1835	Original Article

小計14件

223	Zhang JJ, Li S, Fujimura M 他	脳神経外科	Hemodynamic analysis of the recipient parasylvian cortical arteries for predicting postoperative hyperperfusion during STA-MCA bypass in adult patients with moyamoya disease.	J Neurosurg2019;271-8	Original Article
224	Fujimura M, Tominaga T	脳神経外科	Hemorrhagic Moyamoya Disease: A Recent Update.	J Korean Neurosurg. Soc2019;62:136-143	Review
225	Koh Iwasaki, Shin Takayama	総合地域医療教育支援部 (漢方内科)	Hemp seed pill may improve chronic constipation of the elderly and reduce the burden of helpers.	Journal of family medicine and primary care2019 Jun;8(6):2150-2150	Case report
226	Akaishi T, Abe M, Okuda H 他	総合地域医療教育支援部 (総合診療科)	High glucose level and angiotensin II type 1 receptor stimulation synergistically amplify oxidative stress in renal mesangial cells.	Sci Rep.2019 Mar;9(1)	Original Article
227	Yamauchi S, Wang X, Egusa H 他	分子・再生歯科補綴学分野	High performance dental adhesives containing an ether-based monomer.	J Dent Res.2020 Feb;99(2):189-195	Original Article
228	Kosuke Tanaka, Hidekazu Nishigori, Zen Watanabe 他	婦人科	Higher prevalence of hypertensive disorders of pregnancy in women who smoke: the Japan environment and children's study.	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension2019 Apr;42(4):558-566	Original Article
229	Martinez-de la Cruz G, Yamauchi K, Odajima K 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Histologic and histomorphometric evaluation of the bone regeneration following cortical bone repositioning in a rabbit mandible	Clin Implant Dent Relat Res2019 Aug;613-620	Original Article
230	Shiraishi N, Masumoto H, Takahashi K 他	口腔システム補綴学分野(咬合回復科)	Histomorphometric assessments of peri-implant bone around Ti-Nb-Sn alloy implants with low Young's modulus	Dental Materials Journal2020 Jan;39(1):148-153	Original Article
231	Shiraishi N, Masumoto H, Takahashi K 他	咬合回復科	Histomorphometric assessments of peri-implant bone around Ti-Nb-Sn alloy implants with low Young's modulus.	Dent Mater J.2019 Aug;1:148-153	Original Article
232	Hatta W, Gotoda T, Koike T 他	消化器内科	History and future perspectives in Japanese guidelines for endoscopic resection of early gastric cancer.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society2019 Sep	Review
233	Kadoya N, Tanaka S, Kajikawa T 他	放射線治療学分野(放射線治療科)	Homology-based radiomic features for prediction of the prognosis of lung cancer based on CT-based radiomics.	Med Phys2020 Feb	Original Article
234	Taniyama Y, Sakurai T, Hikage M 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	How does presurgical chemotherapy influence the efficiency of treatment for esophageal cancer recurrence after curative esophagectomy?	Thorac Cancer2019 Apr;10(4):769-774	Original Article
235	Umezawa R, Ito Y, Wakita A 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	How Much Was the Elective Lymph Node Region Covered in Involved-Field Radiation Therapy for Locally Advanced Pancreatic Cancer? Evaluation of Overlap Between Gross Target Volume and Celiac Artery-Superior Mesenteric Artery Lymph Node Regions.	Adv Radiat Oncol.2019 Sep;5(3):377-387	Original Article
236	Morita S, Mochizuki M, Wada K 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野(耳鼻咽喉・頭頸部外科)	Humanized anti-CD271 monoclonal antibody exerts an anti-tumor effect by depleting cancer stem cells.	Cancer letters2019 Oct;461:144-152	Original Article

小計14件

237	Shuntaro Oribe, Shotaro Yoshida, Shinya Kusama 他	バイオデザイン部門(脳神経 外科)	Hydrogel-Based Organic Subdural Electrode with High Conformability to Brain Surface.	Scientific reports2019 Sep;9(1):13379	Original Article
238	Nakamura K, Shirato M, Tenkumo T 他	咬合回復科	Hydroxyl radicals generated by hydrogen peroxide photolysis recondition biofilm- contaminated titanium surfaces for subsequent osteoblastic cell proliferation	Scientific Reports2019;9(1)	Original Article
239	Kurosawa R, Satoh K, Kikuchi N 他	循環器内科	Identification of celastramycin as a novel therapeutic agent for pulmonary arterial hypertension -High-throughput screening of 5,562 compounds-	Circ Res2019 Jul;125(3):309-327	Original Article
240	Siddique MAH, Satoh K, Kurosawa R 他	循環器内科	Identification of emetine as a therapeutic agent for pulmonary arterial hypertension -A novel effect of an old drug-	Arterioscler Thromb Vasc Biol.2019 Nov;39(11):2367-2385	Original Article
241	Tashiro R, Niizuma K, Khor SS 他	脳神経外科	Identification of HLA-DRB1*04:10 allele as risk allele for Japanese moyamoya disease and its association with autoimmune thyroid disease: A case-control study.	PLoS On2019;14(8):e0220858	Original Article
242	Tomoyuki Mutoh, Tsuyoshi Shirai, Tomonori Ishii 他	血液・免疫科	Identification of two major autoantigens negatively regulating endothelial activation in Takayasu arteritis.	Nature communications2020 Mar;11(1):1253-1253	Original Article
243	Kokubo S, Ohnuma S, Karasawa H 他	総合外科(旧:胃腸外科)	Identifying new inhibitors of ABCG2 by high- throughput screening	Cancer Research2019 Jul;79(13)	Original Article
244	Yokoyama S, Watanabe Y, Kurashima Y 他	消化器外科学分野(旧:胃腸 外科)	Identifying the needs for teaching fundamental knowledge of laparoscopic surgery: a cross- sectional study in Japan.	Surgical endoscopy2019 Jul;33(7):2242-2248	Original Article
245	Ohori F, Kitaura H, Ogawa S 他	顎口腔矯正学分野(矯正歯 科)	IL-33 inhibits TNF- $\alpha$ -induced osteoclastogenesis and bone resorption.	International Journal of Molecular Sciences2020 Feb;21(3):1130	Original Article
246	Iwamura R, Sakamoto M, Mori S 他	口腔診断科	Imaging of the mouse lymphatic sinus during early-stage lymph node metastasis using intranodal lymphangiography with X-ray micro- computed tomography	Molecular Imaging and Biology2019;(5):825-834	Original Article
247	Hisayuki Yokoyama, Yasuo Morishima, Shigeo Fuji 他	血液・免疫科	Impact of HLA Allele Mismatch at HLA-A, -B, -C, and -DRB1 in Single Cord Blood Transplantation	Biol Blood Marrow Transplant 2019 Nov;26(3):519-528	Original Article
248	Yasuo Morishima, Satoko Morishima, Makoto Murata 他	血液・免疫科	Impact of Homozygous Conserved Extended HLA Haplotype on Single Cord Blood Transplantation: Lessons for Induced Pluripotent Stem Cell Banking and Transplantation in Allogeneic Settings.	Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation2020	Original Article
249	Nochioka K, Sakata Y, Miura M 他	循環器内科	Impaired glucose tolerance and albuminuria in patients with chronic heart failure: a subanalysis of the SUPPORT trial	ESC Heart Fail2019 Dec;6(6):1252-1261	Original Article
250	Okawa H, Egusa H, Nishimura I.	分子・再生歯科補綴学分野	Implications of the circadian clock in implant dentistry.	Dent Mater J.2020 Mar;39(2):173-180	Review

小計14件

251	Ishii T, Akaishi T, Abe M 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Importance of Barium Swallow Test and Chest CT Scan for Correct Diagnosis of Achalasia in the Primary Care Setting.	The Tohoku Journal of Experimental Medicine2019 Jun;247(1):41-49	Original Article
252	Seki D, Takeshita N, Seiryu M 他	矯正歯科	Improvement of Open Bite and Stomatognathic Function in an Axenfeld- Rieger Syndrome Patient by Orthodontic Sectional Arch Mechanics: Clinical Considerations and the Risk of Orthodontic Tooth Movement.	Acta medica Okayama2019 Jun;73(3):255-262	Case report
253	Ma Z, Ozaki H, Ishikawa Y 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	Improvement of the MRI and clinical features of Asian Graves' ophthalmopathy by radiation therapy with steroids.	Jpn J Radiol.2019 Aug;37(8):612-618	Original Article
254	Takaya Suzuki, Chiharu Ota, Naoya Fujino 他	呼吸器外科	Improving the viability of tissue-resident stem cells using an organ-preservation solution	FEBS Open Bio2019 Dec;9(12):2093-2104	Original Article
255	近松園子、西條憲、今井源 他	腫瘍内科	In Vitro and in Vivo antitumor activity and the mechanism of siphonodictyal B in human colon cancer cells.	Cancer Medicine2019 Sep;8(12):5662-5672	Original Article
256	Weijian Chen, Mazvita R Nyasha, Masashi Koide 他	神経内科学分野(脳神経内科)	In vitro exercise model using contractile human and mouse hybrid myotubes.	Scientific reports2019 Aug;9(1):11914	Original Article
257	Limraksasin P, Kondo T, Zhang M 他	分子・再生歯科補綴学分野	In vitro fabrication of hybrid bone/cartilage complex using mouse induced pluripotent stem cells.	Int J Mol Sci.2020 Jan;21(2):581	Original Article
258	Katayama S, Sato K, Nakazawa T	眼科学分野(眼科)	In vivo and in vitro knockout system labelled using fluorescent protein via microhomology-mediated end joining.	Life science alliance2020 Jan;3(1)	Original Article
259	Kosuke Fujita, Koji M Nishiguchi, Kota Sato 他	眼科学分野(眼科)	In vivo imaging of the light response in mouse retinal ganglion cells based on a neuronal activity-dependent promoter	Biochemical and Biophysical Research Communications2019 Oct;521(2):471-477	Original Article
260	Tashiro R, Fujimura M, Kameyama M 他	脳神経外科	Incidence and Risk Factors of the Watershed Shift Phenomenon after Superficial Temporal Artery- Middle Cerebral Artery Anastomosis for Adult Moyamoya Disease	Cerebrovasc Dis2019;47:178-187	Original Article
261	Shibahara I, Saito R, Osada Y 他	脳神経外科	Incidence of initial spinal metastasis in glioblastoma patients and the importance of spinal screening using MRI.	J Neurooncol2019;141:337-345	Original Article
262	Yusuke Takei, Mitsuhiro Yamada, Koji Saito 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔科)	Increase in circulating ACE-positive endothelial microparticles during acute lung injury	The European respiratory journal2019 Oct;54(4):1801188	Original Article
263	Oikawa T, Sakata Y, Nochioka K 他	臨床生理検査学分野(循環器内科)	Increased risk of cancer death in patients with chronic heart failure with a special reference to inflammation-A report from the CHART-2 Study.	International journal of cardiology2019 Sep;290:106-112	Original Article
264	Koseki Y, Ikuta Y, Cong L 他	乳腺・内分泌外科学分野(総合外科(旧:乳腺・内分泌外科))	Influence of hydrolysis susceptibility and hydrophobicity of Sn-38 nano-prodrugs on their anticancer activity	Bulletin of the Chemical Society of Japan2019;92(8):1305-1313	Original Article

小計14件

265	Michiaki Abe, Tetsuya Akaishi, Takashi Miki 他	総合地域医療教育支援部 (総合診療科)	Influence of renal function and demographic data on intrarenal Doppler ultrasonography.	PloS one2019 Aug;14(8):221-244	Original Article
266	Abe Y, Koike T, Saito M 他	消化器内科	Influence of the pH Value of Refluxate and Proximal Extent on Heartburn Perception in Patients with Proton Pump Inhibitor-Refractory Non-Erosive Reflux Disease.	Digestion2019 Jul;101(4):375-381	Original Article
267	Sato T, Yabushita T, Sakamoto S 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 (耳鼻咽喉・頭頸部外科)	In-home auditory training using audiovisual stimuli on a tablet computer: Feasibility and preliminary results.	Auris, nasus, larynx2019 Nov	Original Article
268	Mutoh T, Shirai T, Fujii H 他	血液・免疫科	Insufficient use of corticosteroids without immunosuppressants results in higher relapse in Takayasu arteritis.	The Journal of rheumatology2019 May;47(2):255-263	Original Article
269	Kaou Tanoue, Hidekazu Nishigori, Zen Watanabe 他	婦人科	Interannual Changes in the Prevalence of Intimate Partner Violence Against Pregnant Women in Miyagi Prefecture After the Great East Japan Earthquake: The Japan Environment and Children's Study.	Journal of interpersonal violence2019 Oct	Original Article
270	Bando K, Kuroishi T, Sugawara S 他	顎口矯正学分野(矯正歯 科)	Interleukin-1 and histamine are essential for inducing nickel-allergy in mice.	Clin Exp Allergy2019 Oct;49(10):1362-1373	Original Article
271	Manokawinchoke J, Pavasant P, Sawangmake C 他	分子・再生歯科補綴学分野	Intermittent compressive force promotes osteogenic differentiation in human periodontal ligament cells by regulating the transforming growth factor- $\beta$ pathway.	Cell Death Dis2019 Oct;10(10):761	Original Article
272	Inoue-Shibui A, Kato M, Suzuki N 他	脳神経内科	Interstitial pneumonia and other adverse events in riluzole-administered amyotrophic lateral sclerosis patients: a retrospective observational study.	BMC neurology2019 Apr;19(1):72	Case report
273	Yoshida M, Kunikata H, Nakazawa T	眼科学分野(眼科)	Intraocular Concentrations of Cytokines and Chemokines in a Unique Case of Nivolumab-Induced Uveitis.	Ocular immunology and inflammation2019 Apr;1-4	Case report
274	Kana Saito, Yu Kaiho, Toru Tamii 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔 科)	Intraoperative hemorrhage in revision total hip arthroplasty: a retrospective single-center study.	Journal of anesthesia2019 Jun;33(3):399-407	Original Article
275	Saitoh Y, Hara Y, Miyagi S 他	総合外科(旧:移植・再建・内 視鏡外科)	Intraoperative modulation of arterial blood flow in a hybrid operating room: A report of three cases.	Clinical case reports2019 Oct;7(10):1839-1843	Case report
276	Ishida E, Lee J, Campbell JS 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 (耳鼻咽喉・頭頸部外科)	Intratumoral delivery of an HPV vaccine elicits a broad anti-tumor immune response that translates into a potent anti-tumor effect in a preclinical murine HPV model.	Cancer immunology, immunotherapy : CII2019 Aug;68(8):1273-1286	Original Article
277	Fujimura M, Funaki T, Houkin K 他	脳神経外科	Intrinsic development of choroidal and thalamic collaterals in hemorrhagic-onset moyamoya disease: Case control study of the Japan Adult Moyamoya trial	J Neurosurg2019;130:1453- 1459	Original Article
278	Zheng K, Liao Z, Yoda N 他	咬合回復科	Investigation on Masticatory Muscular Functionality Following Oral Reconstruction ? An Inverse Identification Approach.	J Biomech2019;90:1-10	Original Article

小計14件



279	Tsujimura T, Ueha R, Yoshihara M 他	口腔システム補綴学分野(咬合回復科)	Involvement of the epithelial sodium channel in initiation of mechanically evoked swallows in anaesthetized rats.	The Journal of physiology2019 Jun;597(11):2949-2963	Original Article
280	Hatta W, Gotoda T, Oyama T 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Is Additional Surgery Always Sufficient for Preventing Recurrence After Endoscopic Submucosal Dissection with Curability C-2 for Early Gastric Cancer?	Annals of surgical oncology2019 Oct;26(11):3636-3643	Original Article
281	Jingu K, Takahashi N, Murakami Y 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	Is Concurrent Chemotherapy With Radiotherapy for Esophageal Cancer Beneficial in Patients Aged 80 Years or Older?	Anticancer Res2019 Aug;39(8):4279-4283	Original Article
282	Saori Mishima, Hiroya Taniguchi, Kiwamu Akagi 他	プロトコル作成支援部門(婦人科)	Japan Society of Clinical Oncology provisional clinical opinion for the diagnosis and use of immunotherapy in patients with deficient DNA mismatch repair tumors, cooperated by Japanese Society of Medical Oncology, First Edition.	International journal of clinical oncology2020 Feb;25(2):217-239	Original Article
283	Yoichi Naito, Saori Mishima, Kiwamu Akagi 他	プロトコル作成支援部門(婦人科)	Japan society of clinical oncology/Japanese society of medical oncology-led clinical recommendations on the diagnosis and use of tropomyosin receptor kinase inhibitors in adult and pediatric patients with neurotrophic receptor tyrosine kinase fusion-positive advanced solid tumors, cooperated by the Japanese society of pediatric	International journal of clinical oncology2020 Mar;25(3):403-417	Original Article
284	Yasuhiro Nakamura, Jun Asai, Hiroshi Igaki 他	皮膚科	Japanese Dermatological Association Guidelines: Outlines of guidelines for cutaneous melanoma 2019.	The Journal of dermatology2020 Feb;47(2):89-103	Original Article
285	Mina Dodo, Hiroshi Kitamura, Hiroki Shima 他	予防歯科	Lactate dehydrogenase C is required for the protein expression of a sperm-specific isoform of lactate dehydrogenase A.	Journal of biochemistry2019 Apr;165(4):323-334	Original Article
286	Inoue T, Ishida T, Inoue T 他	脳神経外科	Lectin-Like Oxidized Low-Density Lipoprotein Receptor-1 Levels as a Biomarker of Acute Intracerebral Hemorrhage	J Stroke & Cerebrovasc Dis2019;28(2):490-494	Original Article
287	Takahashi T, Ugajin T, Imai N 他	婦人科学学分野(婦人科)	Leiomyosarcoma after Total Laparoscopic Hysterectomy with Power Morcellation.	Case reports in obstetrics and gynecology2019:1-4	Original Article
288	Sato Suzuki- Muromoto, Takuya Miyabayashi, Koki Nagai 他	小児科	Leucine-485 deletion variant of BRAF may exhibit the severe end of the clinical spectrum of CFC syndrome.	Journal of human genetics2019 May;64(5):499-504	Original Article
289	Sato Y, Fujimura T, Mizuashi M 他	皮膚科	Lichen planus pemphigoides developing from patient with non-small-cell lung cancer treated with nivolumab.	The Journal of dermatology2019 May;46(10):e374-e375	Case report
290	Masaki Tanaka, Masafumi Kikuchi, Shinya Takasaki 他	呼吸器外科	Limited Sampling Strategy for the Estimation of Mycophenolic Acid and its Acyl Glucuronide Metabolite Area under the Concentration-Time Curve in Japanese Lung Transplant Recipients.	Journal of pharmacy & pharmaceutical sciences : a publication of the Canadian Society for Pharmaceutical Sciences, Societe canadienne des	Original Article
291	M Ezura, A Kikuchi, A Ishiki 他	神経内科学学分野(脳神経内科)	Longitudinal changes in 18 F-THK5351 positron emission tomography in corticobasal syndrome.	European journal of neurology2019 Sep;26(9):1205-1211	Original Article
292	Ezura M, Kikuchi A, Ishiki A 他	老年医学学分野	Longitudinal changes in 18F-THK5351 positron emission tomography in corticobasal syndrome.	Eur J Neurol2019 Apr;26(9):1205-1211	Original Article

小計14件

293	Abe M, Araya K, Akaishi T 他	総合地域医療教育支援部 (総合診療科)	Long-term assessment of intrarenal blood flow with Doppler ultrasonography for hypertensive patients after percutaneous transluminal renal angioplasty.	Hypertension research2019 Oct;42(10):1649-1651	Original Article
294	Yoshikazu Nakaoka, Mitsuaki Isobe, Yoshiya Tanaka 他	臨床研究実施部門(血液・免疫科)	Long-term efficacy and safety of tocilizumab in refractory Takayasu arteritis: final results of the randomized controlled phase 3 TAKT study.	Rheumatology (Oxford, England)2020 Jan	Original Article
295	Michiaki Unno, Tatsuo Hata, Fuyuhiko Motoi	消化器外科学分野(旧:肝・胆・膵外科)	Long-term outcome following neoadjuvant therapy for resectable and borderline resectable pancreatic cancer compared to upfront surgery: a meta-analysis of comparative studies by intention-to-treat analysis.	Surgery today2019 Apr;49(4):295-299	Original Article
296	Naomi Hino-Fukuyo, Kazuhiro Haginoya, Toshiyuki Takahashi 他	小児病態学分野(小児科)	Long-term outcome of a group of Japanese children with myelin-oligodendrocyte glycoprotein encephalomyelitis without preventive immunosuppressive therapy.	Brain & development2019 Oct;41(9):790-795	Original Article
297	Michihisa Umetsu, Daijirou Akamatsu, Hitoshi Goto 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	Long-Term Outcomes of Acute Limb Ischemia: A Retrospective Analysis of 93 Consecutive Limbs.	Annals of vascular diseases2019 Sep;12(3):347-353	Original Article
298	Abe S, Ishihara R, Takahashi H 他	消化器内科	Long-term outcomes of endoscopic resection and metachronous cancer after endoscopic resection for adenocarcinoma of the esophagogastric junction in Japan.	Gastrointestinal endoscopy2019 Jun;89(6):1120-1128	Original Article
299	Munetaka Hashimoto, Hitoshi Goto, Daijirou Akamatsu 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	Long-Term Outcomes of Surgical Treatment by In Situ Graft Reconstruction for Infected Abdominal Aortic Aneurysm	Annals of Vascular Diseases2019 Dec;12(4):524-529	Original Article
300	Rintaro Moroi, Hisashi Shiga, Katsuya Endo 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Long-Term Prognosis of Japanese Patients with Crohn's Disease Treated by Switching Anti-Tumor Necrosis Factor- $\alpha$ Antibodies.	Inflammatory intestinal diseases2020 Feb;5(1):11-19	Original Article
301	Imai Y, Kochi S, Nakajo T 他	形成外科学分野(形成外科)	Long-term Prognosis of Mandibular Distraction in 3 Cases of Hypoglossia-Hypodactyly Syndrome without Extremity Anomalies.	Plastic and reconstructive surgery. Global open2019 May;7(5):e2211	Original Article
302	Satoshi Ichikawa, Noriko Fukuhara, Shotaro Watanabe 他	血液・免疫科	Long-term survival after cord blood transplantation for acute myeloid leukemia complicated with disseminated fusariosis.	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy2020 Feb;26(2):292-295	Case report
303	Takahashi S, Okae H, Kobayashi N 他	婦人科学分野(婦人科)	Loss of p57 <sup>KIP2</sup> expression confers resistance to contact inhibition in human androgenetic trophoblast stem cells.	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America2019 Dec	Original Article
304	Taiki Abe, Ikumi Umeki, Shin-Ichiro Kanno 他	遺伝医療学分野(遺伝科)	LZTR1 facilitates polyubiquitination and degradation of RAS-GTPases.	Cell death and differentiation2019 Jul;27(3):1023-1035	Original Article
305	Sato Y, Fujimura T, Tanita K 他	皮膚科	Malassezia-derived aryl hydrocarbon receptor ligands enhance the CCL20/Th17/soluble CD163 pathogenic axis in extra-mammary Paget's disease.	Experimental dermatology2019 Aug;28(8):933-939	Original Article
306	Hajime Shimoda, Tetsu Takahashi	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Management of paroxysmal atrial flutter that occurred in an outpatient prior to dental surgery: a case report	BMC Oral Health2019 Dec;19(271)	Case report

小計14件

307	Nogami S, Yamauchi K, Bottini GB 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Mandibular fractures and dental injuries sustained during baseball and softball over 14 years in a Japanese population: a retrospective multicentre study.	Dent Traumatol2020;36:156-160	Original Article
308	Inoue T, Endo T, Sato K 他	脳神経外科	Massive intramedullary hemorrhage following a subarachnoid hemorrhage in a patient with vertebro-vertebral arteriovenous fistula.	World Neurosurg2019;129:432-436	Case report
309	Noriko Motoki, Yuji Inaba, Takumi Shibazaki 他	婦人科学分野(婦人科)	Maternal Exposure to Housing Renovation During Pregnancy and Risk of Offspring with Congenital Malformation: The Japan Environment and Children's Study	Scientific Reports2019 Dec;9(1)	Original Article
310	Ogawa Y, Tominaga T	脳神経外科	Maximal removal of pediatric suprasellar craniopharyngioma by extended transsphenoidal approach - reconstituted hypothalamic function and long-term tumor control.	Interdiscip Neurosurg2019;19:100559	Original Article
311	Masaaki Naganuma, Masatoshi Akiyama, Hiroki Takaya 他	心臓血管外科学分野(心臓血管外科)	Maximization of the sealing effect of fibrin glue in aortic surgery.	General thoracic and cardiovascular surgery2020 Jan;68(1):18-23	Original Article
312	Kentaro Maruyama, Eiji Nemoto, Satoru Yamada	歯内歯周治療学分野(歯周病科)	Mechanical regulation of macrophage function ? cyclic tensile force inhibits NLRP3 inflammasome-dependent IL-1 $\beta$ secretion in murine macrophages.	Inflamm. Regen.2019;39:3	Review
313	Sonobe S, Yoshida M, Niizuma K 他	脳神経外科	Mechanical Thrombectomy for Acute Ischemic Stroke Arising from Thrombus of the Left Superior Pulmonary Vein Stump after Left Pneumonectomy: A Case Report.	NMC Case Report Journal2019;6:17-20	Original Article
314	Leighton T. Izu, Peter Kohl, Penelope A. Boyden 他	臨床生理検査学分野(循環器内科)	Mechano-Electric and Mechano-Chemo-Transduction in Cardiomyocytes	J Physiol2019 Dec	Original Article
315	Mizutani Y, Kobayashi H, Iida T 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Meflin-positive cancer-associated fibroblasts inhibit pancreatic carcinogenesis.	Cancer research2019 Aug;79(20):5367-5381	Original Article
316	Masayuki Kamimura, Jutaro Umehara, Atsushi Takahashi 他	整形外科科学分野(整形外科)	Meniscal tear morphology independently affects pain relief following arthroscopic partial meniscectomy in middle-aged patients	Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy2019 Aug;27(8):2460-2467	Original Article
317	Yoichi Wada, Atsuo Kikuchi, Akimune Kaga 他	小児科	Metabolic and pathologic profiles of human LSS deficiency recapitulated in mice.	PLoS genetics2020 Feb;16(2):e1008628	Original Article
318	Tagaino R, Washio J, Abiko Y 他	顎顔面口腔再建治療部	Metabolic property of acetaldehyde production from ethanol and glucose by oral Streptococcus and Neisseria.	Scientific Reports2019 Jul;9:10446	Original Article
319	Shijo M, Fukase K, Ohtsuka H 他	総合外科(旧:肝・胆・膵外科)	Metastasis of ovarian cancer to the bile duct: a case report.	Surgical case reports2019 Jun;5(1):100	Case report
320	Akaishi T, Motomura M, Aoki M 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	MGTX extension study longitudinally favors early thymectomy in non-thymomatous young-adult patients with AChR antibody-positive myasthenia gravis.	Ann Transl Med. 2019 Sep;7(Suppl 6):S208	Review

小計14件

321	Nishimiya K, Yin B, Piao Z 他	循環器内科	Micro-optical coherence tomography for endothelial cell visualization in the coronary arteries.	JACC Imaging2019 Sep;12(9):1878-1880	Original Article
322	Kanno H, Aizawa T, Hahimoto K 他	整形外科学分野(整形外科)	Minimally invasive discectomy for lumbar disc herniation: current concepts, surgical techniques, and outcomes.	International orthopaedics2019 Apr;43(4):917-922	Review
323	Shingo Yoshimachi, Hideo Ohtsuka, Takeshi Aoki 他	総合外科(旧:肝・胆・膵外科)	Mixed adenoneuroendocrine carcinoma of the ampulla of Vater: a case report and literature review.	Clinical journal of gastroenterology2020 Feb;13(1):37-45	Case report
324	Ido K, Nakamura N, Nakayama M.	医学情報学分野(メディカルITセンター)	Miyagi Medical and Welfare Information Network: A Backup System for Patient Clinical Information after the Great East Japan Earthquake and Tsunami.	M. Tohoku Journal of Experimental Medicine.2019 May;248(1):19-25	Original Article
325	Fujiwara T, Harigae H	検査部	Molecular pathophysiology and genetic mutations in congenital sideroblastic anemia.	Free Radic Biol Med.2019;133:179-185	Review
326	Yasuko Tatewaki, Tatsushi Mutoh, Kazuko Omodaka 他	眼科学分野(眼科)	Morphological prediction of glaucoma by quantitative analyses of ocular shape and volume using 3-dimensional T2-weighted MR images.	Scientific reports2019 Oct;9(1):15148	Original Article
327	Hidekazu Nishigori, Taku Obara, Toshie Nishigori 他	婦人科	Mother-to-infant bonding failure and intimate partner violence during pregnancy as risk factors for father-to-infant bonding failure at 1 month postpartum: an adjunct study of the Japan Environment and Children's Study.	J Matern Fetal Neonatal Med2019 Apr;1-8	Original Article
328	Takagi H, Kadoya N, Kajikawa T 他	放射線治療学分野(放射線治療科)	Multi-atlas-based auto-segmentation for prostatic urethra using novel prediction of deformable image registration accuracy.	Med Phys2020 Mar	Original Article
329	Kawamura M, Fujimura S, Tokuda K 他	感染管理室	Mutant selection window of disinfectants for Staphylococcus aureus and Pseudomonas aeruginosa.	J Glob Antimicrob Resist.2019 Jun;17:316-320	Original Article
330	Daida K, Nishioka K, Li Y 他	神経内科学分野(脳神経内科)	Mutation analysis of LRP10 in Japanese patients with familial Parkinson's disease, progressive supranuclear palsy, and frontotemporal dementia.	Neurobiology of aging2019 Sep	Original Article
331	Katsuki M, Narisawa A, Karibe H 他	脳神経外科	Mutism resulting from heterochronic bilateral cerebellar hemorrhages - A case report.	Surg Neurol In2019;10:12	Case report
332	Atsushi Masamune, Kazuhiro Kikuta, Shin Hamada 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Nationwide epidemiological survey of autoimmune pancreatitis in Japan in 2016	Journal of Gastroenterology2019	Original Article
333	Mino M, Fujimura M, Endo H 他	脳神経外科	Neuro-endoscopic management of hemorrhagic moyamoya disease in the acute stage: single institute experience.	Neurol Res2019;41(12):1097-1103	Original Article
334	Akaishi T, Nakashima I, Takahashi T 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Neuromyelitis optica spectrum disorders with unevenly clustered attack occurrence.	Neurology(R) neuroimmunology & neuroinflammation2020 Jan;7(1)	Original Article

小計14件

335	Faheem H, Mansour A, Elkordy A 他	脳神経外科	Neuroprotective effects of minocycline and progesterone on white matter injury after focal cerebral ischemia	J Clin Neurosci2019;64:206-213	Original Article
336	Takahara S, Inoue SI, Miyagawa- Tomita S 他	心臓血管外科学分野(心臓血管外科)	New Noonan syndrome model mice with RIT1 mutation exhibit cardiac hypertrophy and susceptibility to $\beta$ -adrenergic stimulation-induced cardiac fibrosis.	EBioMedicine2019 Apr;42:43-53	Original Article
337	Zhang Q, Ganapathy S, Avraham H 他	口腔診断学分野(口腔診断科)	Nicotine Exposure by Perturbing Cellular Surveillance, Potentiates Lung Tumorigenesis	British Journal of Cancer, in press2019 Dec	Original Article
338	Yorihiko Kyogoku, Hisatoshi Sugiura, Tomohiro Ichikawa 他	呼吸器内科	Nitrosative stress in patients with asthma?chronic obstructive pulmonary disease overlap	Journal of Allergy and Clinical Immunology2019 Oct;144(4):972-983	Original Article
339	Akizuki M, Sugimura K, Aoki T 他	内部障害学分野(内部障害科)	Non-invasive screening using ventilatory gas analysis to distinguish between chronic thromboembolic pulmonary hypertension and pulmonary arterial hypertension.	Respirology (Carlton, Vic.)2019 Jul	Original Article
340	Takenami T, Maeda S, Karasawa H 他	総合外科(旧:肝・胆・膵外科)	Novel biomarkers distinguishing pancreatic head Cancer from distal cholangiocarcinoma based on proteomic analysis.	BMC cancer2019 Apr;19(1):318	Original Article
341	Kouketsu A, Matsui K, Kawai T 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Octacalcium phosphate collagen composite stimulates the expression and activity of osteogenic factors to promote bone regeneration.	J Tissue Eng Regen Med2019	Original Article
342	Takashi Sasaki, Kuniyasu Niizuma, Atsushi Kanoke 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Octacalcium phosphate collagen composites (OCP/Col) enhance bone regeneration in rat model of skull defect with the defect of dura.	Heliyon2020;6	Original Article
343	Shirasawa H, Ono N, Kumazawa Y 他	婦人科学分野(婦人科)	Oocyte collection and in vitro maturation after train transportation of human follicular fluid aspirated from resected non-stimulated ovaries of patients with endometrial adenocarcinoma.	Reproductive medicine and biology2019 Apr;18(2):180-189	Original Article
344	Asaoka K, Kunimatsu- Sanuki S, Kokubun T 他	眼科学分野(眼科)	Optical Coherence Tomography Assessment of Risk Factors for Visual Acuity Decline after Trabeculectomy in Patients with Advanced Open-angle Glaucoma.	Journal of glaucoma2019 Jun;28(9):780-784	Original Article
345	Shirato M, Nakamura K, Tenkumo T 他	咬合回復科	Oral mucosal irritation potential of antimicrobial chemotherapy involving hydrogen peroxide photolysis with high-power laser irradiation for the treatment of periodontitis	Journal of Photochemistry and Photobiology B: Biology2019;201:111633	Original Article
346	Akamatsu H, Nakamura K, Ebara T 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	Organ-preserving approach via radiotherapy for small cell carcinoma of the bladder: an analysis based on the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG) survey.	J Radiat Res.2019 Jul;60(4):509-516	Original Article
347	Tetsuya Akaishi, Toshiyu ki Takahashi, Ichiro Nakashima 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Osmotic pressure of serum and cerebrospinal fluid in patients with suspected neurological conditions.	Neural regeneration research2020 Mar;15(5):944-947	Original Article
348	Mori T, Onishi Y, Ozawa Y 他	血液・免疫科	Outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in adult patients with hepatitis-associated aplastic anemia.	International journal of hematology2019 Apr	Original Article

小計14件

349	Takahiro Takeda, Mutsumi Iijima, Yuko Shimizu 他	神経内科学分野(脳神経内科)	p.N345K mutation in TARDBP in a patient with familial amyotrophic lateral sclerosis: An autopsy case.	Neuropathology : official journal of the Japanese Society of Neuropathology2019 Aug;39(4):286-293	Case report
350	Numano Y, Ogawa T, Ishikawa T 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野(耳鼻咽喉・頭頸部外科)	Parotid secretory carcinoma with high-grade transformation.	Auris, nasus, larynx2019 Oct	Original Article
351	Matsumoto K, Nishimura M, Onoe T 他	婦人科学分野(婦人科)	PARP inhibitors for BRCA wild type ovarian cancer; gene alterations, homologous recombination deficiency and combination therapy.	Japanese journal of clinical oncology2019 Aug;49(8):703-707	Original Article
352	Ogawa Y, Tominaga T	脳神経外科	Partial reconstitution of the hypothalamo-pituitary axes after pituitary stalk sectioning and specific magnetic resonance imaging findings.	World Neurosurg2019;31:e81-e87	Original Article
353	Yujiao Yu, Tadashi Nakagawa, Akane Morohoshi 他	神経内科学分野(脳神経内科)	Pathogenic mutations in the ALS gene CCNF cause cytoplasmic mislocalization of Cyclin F and elevated VCP ATPase activity.	Human molecular genetics2019 Oct;28(20):3486-3497	Original Article
354	Nakagawa K, Hara K, Fikree A 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Patients with dyspepsia have impaired mucosal integrity both in the duodenum and jejunum: in vivo assessment of small bowel mucosal integrity using baseline impedance.	Journal of gastroenterology2019 Aug	Original Article
355	Inoue C, Miki Y, Saito R 他	呼吸器外科	PD-L1 Induction by Cancer-Associated Fibroblast-Derived Factors in Lung Adenocarcinoma Cells.	Cancers2019 Aug;11(9)	Original Article
356	Miyashita H, Suzuki H, Matsui K 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Pediatric cemento-ossifying fibroma of the anterior mandible: A case report.	J Oral Maxillofac Surg, Oral Med, Oral Pathol,2020	Case report
357	後藤 昌史	移植再生医学分野(総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科))	Pediatric living-donor liver transplant recipients without transition after reaching adulthood	Ann Transplant2019;8(24):18-24	Original Article
358	Hiroataka Iwaki, Kazutaka Jin, Norio Sugawara 他	てんかん学分野(てんかん科)	Perampanel-induced weight gain depends on level of intellectual disability and its serum concentration.	Epilepsy research2019 May;152:1-6	Original Article
359	Toshiya Takahashi, Kenshi Yamasaki, Hitoshi Terui 他	皮膚科	Perifolliculitis capitis abscedens et suffodiens treatment with tumor necrosis factor inhibitors: A case report and review of published cases	The Journal of Dermatology2019 Sep;46(9):802-807	Case report
360	Hitoshi Miyashita, Jun Kitamura, Fumi Ando 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Perioperative Evaluation of the Controlling Nutritional Status (CONUT) Score in Patients with N0 Oral Cancer	Progress in Nutrition2019;21(3)	Original Article
361	Hiroki Kamada, Hideki Ota, Masanori Nakamura 他	心臓血管外科学分野(心臓血管外科)	Perioperative Hemodynamic Changes in the Thoracic Aorta in Patients With Aortic Valve Stenosis: A Prospective Serial 4D-Flow MRI Study.	Seminars in thoracic and cardiovascular surgery2020;32(1):25-34	Original Article
362	Shimada M, Tokunaga H, Kobayashi H 他	婦人科	Perioperative treatments for stage IB-IIIB uterine cervical cancer.	Japanese journal of clinical oncology2019 Dec	Original Article

小計14件

363	Maruyama S, Taniyama Y, Sakurai T 他	総合外科(旧:移植・再建・内 視鏡外科)	Per-oral endoscopic myotomy (POEM) for a sigmoid type of achalasia: short-term outcomes and changes in the esophageal angle.	Surgical endoscopy2019 Oct;11	Original Article
364	Shin Takayama, Ryutaro Arita, Minoru Ohsawa 他	総合地域医療教育支援部 (漢方内科)	Perspectives on the Use of Ninjin'yoeito in Modern Medicine: A Review of Randomized Controlled Trials.	Evidence-based complementary and alternative medicine : eCAM2019;2019:9590260	Review
365	Wataru Munakata, Kiyoshi Ando, Kiyohiko Hatake 他	血液・免疫科	Phase I study of tirabrutinib (ONO-4059/GS-4059) in patients with relapsed or refractory B-cell malignancies in Japan.	Cancer science2019 May;110(5):1686-1694	Original Article
366	Nishiguchi KM, Ikeda Y, Fujita K 他	眼科学分野(眼科)	Phenotypic Features of Oguchi Disease and Retinitis Pigmentosa in Patients with S-Antigen Mutations: A Long-Term Follow-up Study.	Ophthalmology2019 Jun;126(11):1557-1566	Original Article
367	Ikeda R, Kikuchi T, Kawamura Y 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分 野(耳鼻咽喉・頭頸部外科)	Plug size selection protocol for the treatment of intractable patulous Eustachian tube with Kobayashi Plug.	Acta oto- laryngologica2019 Oct;139(10):849-853	Original Article
368	Seto M, Nemoto H, Kobayashi N 他	リハビリテーション部	Post-disaster mental health and psychosocial support in the areas affected by the Great East Japan Earthquake: a qualitative study.	BMC psychiatry2019 Aug;19(1):261	Original Article
369	Koyu Watanabe, A Toshimitsu Yokobori, Toshihito Ohmi 他	心臓血管外科学分野(心臓 血管外科)	Pre-clinical assessment of a prototype non-invasive diagnostic device to detect aortic aneurysms.	Journal of artificial organs : the official journal of the Japanese Society for Artificial Organs2020 Mar;23(1):70-76	Original Article
370	Hidekazu Nishigori, Taku Obara, Toshie Nishigori 他	婦人科学分野(婦人科)	Preconception folic acid supplementation use and the occurrence of neural tube defects in Japan: A nationwide birth cohort study of the Japan Environment and Children's Study.	Congenital anomalies2019 Jul;59(4):110-117	Original Article
371	Ryo Nakagawa, Yasushi Onishi, Akihisa Kawajiri 他	血液・免疫科	Preemptive therapy for cytomegalovirus reactivation after daratumumab-containing treatment in patients with relapsed and refractory multiple myeloma.	Annals of hematology2019 Aug;98(8):1999-2001	Case report
372	Kuniyoshi Y, Kikuya M, Miyashita M 他	小児病態学分野(小児科)	Prefabricated Temporary Housing and Eczema or Respiratory Symptoms in Schoolchildren after the Great East Japan Earthquake: The ToMMo Child Health Study.	Disaster medicine and public health preparedness2019 Jun;13(43957):1-7	Original Article
373	Nao Furukawa, Yoshihiko Ito, Yasue Tanaka 他	加齢歯科学分野(高齢者歯 科)	Preliminary exploration for evaluating acuity of oral texture perception.	Journal of Texture Studies2019 Jun;50(3):217-223	Original Article
374	Saito K, Sunouchi A, Toyama H 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔 科)	Preoperative Assessment of Airway Patency During General Anesthesia in a Patient With Severe Tracheal Stenosis: Effectiveness of Noninvasive Positive Pressure Ventilation.	Journal of cardiothoracic and vascular anesthesia2019 Jun	Original Article
375	Miura S, Kanno A, Fukase K 他	消化器内科	Preoperative biliary drainage of the hepatic lobe to be resected does not affect liver hypertrophy after percutaneous transhepatic portal vein embolization.	Surgical endoscopy2019 May	Original Article
376	Tetsuya Akaishi, Masakatsu Motomura, Hirokazu Shiraishi 他	総合地域医療教育支援部 (総合診療科)	Preoperative risks of post-operative myasthenic crisis (POMC): A meta-analysis.	Journal of the neurological sciences2019 Dec;407:116530	Original Article

小計14件

377	Hidetoshi Mezawa, Ai Tomotaki, Kiwako Yamamoto-Hanada 他	婦人科学分野(婦人科)	Prevalence of congenital anomalies in the Japan environment and children's study	Journal of Epidemiology2019;29(7):247-256	Original Article
378	Satoshi Ichikawa, Asami Sasaoka, Noriko Fukuhara 他	血液・免疫科	Primary ovarian diffuse large B-cell lymphoma preceded by autoimmune hemolytic anemia	Journal of Hematopathology2020 Mar;13(1):63-67	Case report
379	Kazuhiro Ishii, Fumiko Yamamoto, Shinsuke Homma 他	呼吸器外科	Probable progressive multifocal leukoencephalopathy-immune reconstitution inflammatory syndrome with immunosuppressant dose reduction following lung transplantation: a case report and literature review.	BMC neurology2019 Oct;19(1):263-263	Original Article
380	Tanda N, Washio J, Kamei T 他	予防歯科	Professional Oral Care Reduces Carcinogenic Acetaldehyde Levels in Mouth Air of Perioperative Esophageal Cancer Patients: A Prospective Comparative Study.	The Tohoku journal of experimental medicine2019 Sep;249(1):75-83	Original Article
381	Hayashi T, Ichimura T, Sano K 他	婦人科学分野(婦人科)	Profiling of Target Molecules for Immunotherapy in Mesenchymal Tumors.	Journal of clinical medicine research2019 Aug;11(8):609-613	Original Article
382	Maeda S, Ariake K, Iseki M 他	総合外科(旧:肝・胆・膵外科)	Prognostic indicators in pancreatic cancer patients undergoing total pancreatectomy.	Surgery today2019 Nov	Original Article
383	Inoue C, Tamatsuki D, Miki Y 他	呼吸器外科	Prognostic significance of combining immunohistochemical markers for cancer-associated fibroblasts in lung adenocarcinoma tissue.	Virchows Archiv : an international journal of pathology2019 Aug;475(2):181-189	Original Article
384	Konno R, Tatebe S, Sugimura K 他	循環器内科	Prognostic value of the model for end-stage liver disease excluding INR score (MELD-XI) in patients with adult congenital heart disease.	PLOS ONE2019 Nov;14(11)	Original Article
385	Nishiguchi KM, Oguchi Y, Nakazawa T	眼科学分野(眼科)	Progression from Classical Oguchi Disease to Retinitis Pigmentosa after 50 Years.	Ophthalmology2020 Jan;127(1):51	Case report
386	Naoki Masaki, Osamu Adachi, Shintaro Katahira 他	心臓血管外科学分野(心臓血管外科)	Progression of vascular remodeling in pulmonary vein obstruction.	The Journal of thoracic and cardiovascular surgery2020 Feb	Original Article
387	Kimiwada T, Hayashi T, Takahashi M 他	脳神経外科	Progressive cerebral ischemia and intracerebral hemorrhage after indirect revascularization for a patient with cerebral proliferative angiopathy	J Stroke & Cerebrovasc Dis2019;28(4):853-858	Original Article
388	Seitaro Terakura, Tetsuya Nishida, Masashi Sawa 他	血液・免疫科	Prospective Phase 2 Study of Umbilical Cord Blood Transplantation in Adult Acute Leukemia and Myelodysplastic Syndrome.	Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation2020	Original Article
389	Masamune A, Nabeshima T, Kikuta K 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Prospective study of early chronic pancreatitis diagnosed based on the Japanese diagnostic criteria.	Journal of gastroenterology2019 Oct;54(10):928-935	Original Article
390	Lasher D, Szabó A, Masamune A 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Protease-Sensitive Pancreatic Lipase Variants Are Associated With Early Onset Chronic Pancreatitis.	The American journal of gastroenterology2019 Jun;114(6):974-983	Original Article

小計14件



391	Ken Hashimoto, Tyler T Hickman, Jun Suzuki 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Protection from noise-induced cochlear synaptopathy by virally mediated overexpression of NT3.	Scientific reports2019 Oct;9(1):15362	Original Article
392	Akaishi T, Yasaka K, Abe M 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Protein-losing gastroenteropathy with severe hypoalbuminemia associated with Sjögren's syndrome: A case report and review of the literature	Journal of General and Family Medicine2020 Jan;21(1):24-28	Case report
393	Niibe Y, Yamamoto T, Onishi H 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	Pulmonary Oligometastases Treated by Stereotactic Body Radiation Therapy: A Nationwide Survey of 1,378 Patients.	Anticancer Res. 2020 Jan;40(1):393-399	Original Article
394	Yamauchi K, Suzuki H, Yamaguchi Y 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Pyramidal and posterior osseous release for maxillary superior/posterior mobilization using an ultrasonic bone-cutting device after Le Fort?osteotomy.	J Craniomaxillofac Surg2020 Feb;48(2):170-175	Original Article
395	Sugita T, Miyatake N, Aizawa T 他	整形外科科学分野(整形外科)	Quality of life after staged bilateral total knee arthroplasty: a minimum five-year follow-up study of seventy-eight patients.	International orthopaedics2019 Oct;43(10):2309-2314	Original Article
396	Risa Sato, Hiroshi Kunikata, Toshifumi Asano 他	眼科学分野(眼科)	Quantitative analysis of the macula with optical coherence tomography angiography in normal Japanese subjects: The Taiwa Study.	Scientific reports2019 Jun;9(1):8875	Original Article
397	Shioya A, Takuma H, Takahashi T 他	神経内科学分野(脳神経内科)	Radiological findings in siblings with dysferlin mutation with diverse phenotype.	Journal of the neurological sciences2019 Nov;409:116579	Case report
398	Akaishi T, Abe M, Miki T 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Ratio of diastolic to systolic blood pressure represents renal resistive index.	J Hum Hypertens.2019 Oct	Original Article
399	Hatoyama K, Taniyama Y, Sakurai T 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	Reconstructed gastric conduit obstruction caused by a bezoar after esophagectomy: a case report.	BMC surgery2019 Jun;19(1):59	Case report
400	Hirono S, Shimizu Y, Ohtsuka T 他	消化器内科	Recurrence patterns after surgical resection of intraductal papillary mucinous neoplasm (IPMN) of the pancreas; a multicenter, retrospective study of 1074 IPMN patients by the Japan Pancreas Society.	Journal of gastroenterology2019 Aug	Original Article
401	Shinya Iwasawa, Kumiko Yanagi, Atsuo Kikuchi 他	小児科	Recurrent de novo MAPK8IP3 variants cause neurological phenotypes.	Annals of neurology2019 Jun;85(6):927-933	Original Article
402	Atsushi Nakayashiki, Tomohiro Kawaguchi, Atsuhiko Nakagawa 他	バイオデザイン部門(脳神経外科)	Reducing Surgeon's Physical Stress in Minimally Invasive Neurosurgery.	Journal of neurological surgery. Part A, Central European neurosurgery2019 Sep;80(5):333-340	Original Article
403	Matsumoto K, Yaegashi N, Iwata T 他	婦人科学分野(婦人科)	Reduction in HPV16/18 prevalence among young women with high-grade cervical lesions following the Japanese HPV vaccination program.	Cancer science2019 Dec;110(12):3811-3820	Original Article
404	Mutoh T, Ishii T, Shirai T 他	臨床研究実施部門(血液・免疫科)	Refractory Takayasu arteritis successfully treated with rituximab: case-based review.	Rheumatology international2019 Aug	Case report

小計14件

405	Endo T, Inoue T, Sugiyama S 他	脳神経外科	Regression of Recurrent Spinal Cord High-Grade Glioma After Convection-Enhanced Delivery of Nimustine Hydrochloride: Case Reports and Literature Review.	Oper Neurosurg (Hagerstown)2019	Original Article
406	Tanaka K, Sailer I, Iwama R 他	咬合回復科	Relationship between cortical bone thickness and implant stability at the time of surgery and secondary stability after osseointegration measured using resonance frequency analysis.	J Periodontal Implant Sci2019;48:360-372	Original Article
407	Higuchi K, Chiba M, Sai Y, Yamaguchi Y 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Relationship between temporomandibular joint pain and magnetic resonance imaging findings in patients with temporomandibular joint disorders	Int J Oral Maxillofac Surg2020 Feb;49(2):230-236	Original Article
408	I Kojima, M Sakamoto, M Iikubo 他	口腔診断学分野(口腔診断科)	Relationship of MR Imaging of Submandibular Glands to Hyposalivation in Sjögren's Syndrome	Oral Diseases2019;25(1):117-125	Original Article
409	Yamada K, Kawabata T, Kagawa Y 他	婦人科学分野(婦人科)	Relationships between docosahexaenoic acid compositions of maternal and umbilical cord erythrocytes in pregnant Japanese women.	Prostaglandins, leukotrienes, and essential fatty acids2019 Aug;147:1-5	Original Article
410	Ietsuya Akaishi, Toshiyuki Takahashi, Ichiro Nakashima 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Repeated follow-up of AQP4-IgG titer by cell-based assay in neuromyelitis optica spectrum disorders (NMOSD).	Journal of the neurological sciences2020 Mar;410:116671	Original Article
411	Ito K, Yamazaki F, Nogami S 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Repeated live imaging in the temporomandibular joint of an anterior crossbite mouse model using 7T magnetic resonance device.	In Vivo2020 Jan;34(1):95-99	Original Article
412	Kikuta K, Masamune A	消化器病態学分野(消化器内科)	Reply to "Study of Early Chronic Pancreatitis Needs to be Improved".	Journal of gastroenterology2019 Sep	Others
413	Minami Y, Nishino Y, Kawai M 他	乳腺・内分泌外科学分野(総合外科(旧:乳腺・内分泌外科))	Reproductive history and breast cancer survival: a prospective patient cohort study in Japan.	Breast cancer (Tokyo, Japan)2019 Apr;26:687-702	Original Article
414	Kawaguchi T, Ogawa Y, Tominaga T	脳神経外科	Retinal nerve fiber layer thickness measurement for predicting visual outcome after transphenoidal surgery: optic disc atrophy is not the deciding indicator.	World Neurosurg2019;127:e427-e435	Original Article
415	Kitaya S, Kikuchi T, Yahata I 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野(耳鼻咽喉・頭頸部外科)	Risk factors of post-tonsillectomy dysgeusia.	Auris, nasus, larynx2019 Jul	Original Article
416	Manokawinchoke J, Pavasant P, Sawangmake C 他	分子・再生歯科補綴学分野	RNA sequencing data of human periodontal ligament cells treated with continuous and intermittent compressive force	Data Brief2019 Oct;26:104553	Original Article
417	Miyashita M, Niikura N, Kumamaru H 他	総合外科(旧:乳腺・内分泌外科)	Role of Postmastectomy Radiotherapy After Neoadjuvant Chemotherapy in Breast Cancer Patients: A Study from the Japanese Breast Cancer Registry.	Annals of surgical oncology2019 Aug;26(8):2475-2485	Original Article
418	Inoue J, Nakamura T, Masamune A	消化器病態学分野(消化器内科)	Roles of Hepatitis B Virus Mutations in the Viral Reactivation after Immunosuppression Therapies.	Viruses2019 May;11(5)	Review

小計14件

419	Morimoto S, Takahashi S, Fukushima K 他	神経内科学分野(脳神経内科)	Ropinirole hydrochloride remedy for amyotrophic lateral sclerosis - Protocol for a randomized, double-blind, placebo-controlled, single-center, and open-label continuation phase I/IIa clinical trial (ROPALS trial).	Regenerative therapy2019 Dec;11:143-166	Original Article
420	Kunihiko Moriya, Tasuku Suzuki, Nao Uchida 他	小児病態学分野(小児科)	Ruxolitinib treatment of a patient with steroid-dependent severe autoimmunity due to STAT1 gain-of-function mutation	International Journal of Hematology2020	Case report
421	Michael G Hanna, Umesh A Badrising, Olivier Benveniste 他	神経内科学分野(脳神経内科)	Safety and efficacy of intravenous bimagrumab in inclusion body myositis (RESILIENT): a randomised, double-blind, placebo-controlled phase 2b trial.	The Lancet. Neurology2019 Sep;18(9):834-844	Original Article
422	Warita H, Kato M, Asada R 他	神経内科学分野(脳神経内科)	Safety, Tolerability, and Pharmacodynamics of Intrathecal Injection of Recombinant Human HGF (KP-100) in Subjects With Amyotrophic Lateral Sclerosis: A Phase I Trial.	Journal of clinical pharmacology2019 May;59(5):677-687	Original Article
423	Kazutomo Saito, Nozomu Abe, Hiroaki Toyama 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔科)	Second-Generation Histamine H1 Receptor Antagonists Suppress Delayed Rectifier K <sup>+</sup> -Channel Currents in Murine Thymocytes.	BioMed research international2019;2019:6261951-6261951	Original Article
424	Kiyota N, Shiga Y, Yasuda M 他	眼科学分野(眼科)	Sectoral Differences in the Association of Optic Nerve Head Blood Flow and Glaucomatous Visual Field Defect Severity and Progression.	Investigative ophthalmology & visual science2019 Jun;60(7):2650-2658	Original Article
425	Minoru Kato, Noriya Uedo, Takashi Nagahama 他	消化器内科	Self-study of the non-extension sign in an e-learning program improves diagnostic accuracy of invasion depth of early gastric cancer.	Endoscopy international open2019 Jul;7(7):E871-E882	Original Article
426	Naoya Fujino, Oliver J. Brand, David J. Morgan 他	呼吸器内科	Sensing of apoptotic cells through Axl causes lung basal cell proliferation in inflammatory diseases	Journal of Experimental Medicine2019 Sep;216(9):2184-2201	Original Article
427	Akaishi T, Kobayashi J, Abe M 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Sensitivity and specificity of meningeal signs in patients with meningitis.	Journal of general and family medicine2019 Sep;20(5):193-198	Original Article
428	Niikura H, Tsuji K, Tokunaga H 他	婦人科	Sentinel node navigation surgery in cervical and endometrial cancer: a review.	Japanese journal of clinical oncology2019 Jun;49(6):495-500	Review
429	Taimu Sato, Koji M Nishiguchi, Kosuke Fujita 他	眼科学分野(眼科)	Serum anti-recoverin antibodies is found in elderly patients with retinitis pigmentosa and cancer.	Acta ophthalmologica2020 Feb	Original Article
430	Tetsuya Akaishi, Toshiyuki Takahashi, Noriko Himori 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Serum AQP4-IgG level is associated with the phenotype of the first attack in neuromyelitis optica spectrum disorders.	Journal of neuroimmunology2020 Mar;340:577168	Original Article
431	Hisashi Shiga, Izuru Abe, Motoyuki Onodera 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Serum C-reactive protein and albumin are useful biomarkers for tight control management of Crohn's disease in Japan.	Scientific reports2020 Jan;10(1):511	Original Article
432	Eto T, Aizawa T, Kanno H 他	整形外科学分野(整形外科)	Several pathologies cause delayed postoperative paralysis following posterior decompression and spinal fusion for thoracic myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association2019 Sep	Original Article

小計14件

433	Irimada M, Fujimura T, Kambayashi Y 他	皮膚科	Severe rhabdomyolysis developing in an advanced melanoma patient treated by pembrolizumab followed by dabrafenib trametinib combined therapy.	The Journal of dermatology2019 Jul;46(7):e256-e258	Case report
434	Fujimura T, Fujisawa Y, Kambayashi Y 他	皮膚科	Significance of BRAF Kinase Inhibitors for Melanoma Treatment: From Bench to Bedside.	Cancers2019 Sep;11(9)	Case report
435	Kameyama M, Fujimura M, Tashiro R 他	脳神経外科	Significance of quantitative cerebral blood flow measurement in the acute stage after revascularization surgery for adult moyamoya disease: implication for the pathological threshold of local cerebral hyperperfusion	Cerebrovasc Dis2019;48:212-225	Original Article
436	Nakanishi M, Minakata Y, Tanaka R 他	呼吸器内科学分野(呼吸器内科)	Simple standard equation for daily step count in Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease.	International journal of chronic obstructive pulmonary disease2019;14:1967-1977	Original Article
437	Koji M Nishiguchi, Kosuke Fujita, Fuyuki Miya 他	眼科学分野(眼科)	Single AAV-mediated mutation replacement genome editing in limited number of photoreceptors restores vision in mice.	Nature communications2020 Jan;11(1):482-482	Original Article
438	Naoya Murakami, Fumiaki Isohashi, Yoko Hasumi 他	婦人科学分野(婦人科)	Single-arm confirmatory trial of postoperative concurrent chemoradiotherapy using intensity modulated radiation therapy for patients with high-risk uterine cervical cancer: Japan Clinical Oncology Group study (JCOG1402).	Japanese journal of clinical oncology2019 Sep;49(9):881-885	Original Article
439	Yanai A, Harada R, Iwata R 他	乳腺・内分泌外科学分野(総合外科(旧:乳腺・内分泌外科))	Site-Specific Labeling of F-18 Proteins Using a Supplemented Cell-Free Protein Synthesis System and O-2- <sup>18</sup> F]Fluoroethyl-L-Tyrosine: [ <sup>18</sup> F]FET-HER2 Affibody Molecule.	Molecular imaging and biology2019 Jun;21(3):529-537	Original Article
440	Jun Inoue, Masashi Ninomiya, Teruyuki Umetsu 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Small Interfering RNA Screening for the Small GTPase Rab Proteins Identifies Rab5B as a Major Regulator of Hepatitis B Virus Production.	Journal of virology2019 Aug;93(15)	Original Article
441	Ishiguro T, Mayanagi G, Azumi M 他	咬合回復科	Sodium fluoride and silver diamine fluoride-coated tooth surfaces inhibit bacterial acid production at the bacteria/tooth interface.	Journal of dentistry2019;84:30-35	Original Article
442	Hiroki Hihara, Hiroyasu Kanetaka, Akitake Kanno 他	口腔システム補綴学分野(咬合回復科)	Somatosensory evoked magnetic fields of periodontal mechanoreceptors.	Heliyon2020 Jan;6(1):e03244	Original Article
443	Kiichi Takahashi, Naoki Asano, Akira Imatani 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Sox2 induces tumorigenesis and angiogenesis of early stage esophagealsquamous cell carcinoma through secretion of Suprabasin.	Carcinogenesis2020 Feb	Original Article
444	Kumi Kamata, Hiroshi Ozawa, Yusuke Sekiguchi 他	整形外科科学分野(整形外科)	Spino-pelvic- lower extremity balance during walking in elderly patients with spinal kyphosis.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association2019 Sep;24(5):793-797	Original Article
445	Tadashi Ishii, Shin Takayama, Michiaki Abe 他	総合地域医療教育支援部(総合診療科)	Spontaneous Regression of Recurrent Undifferentiated Carcinoma of the Endometrium.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2019 Jun;58(11):1649-1653	Case report
446	後藤 昌史	移植再生医学分野(総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科))	Strategy towards tailored donor tissue-specific pancreatic islet isolation	PLOS ONE2019;10(14):e0216136-e0216136	Original Article

小計14件

447	Saito M, Koike T, Nakagawa K 他	消化器内科	Strong Intra-Esophageal Reflux May Contribute to the Development of Barrett's Adenocarcinoma and Affect the Localization.	Digestion2019 Aug;1-9	Original Article
448	Kazuko Omodaka, Shunsuke Fujioka, Guangzhou An 他	眼科学分野(眼科)	Structural Characterization of Glaucoma Patients with Low Ocular Blood Flow.	Current eye research2020 Mar;1-7	Original Article
449	Kedar PS, Harigae H, Ito E 他	検査部	Study of pathophysiology and molecular characterization of congenital anemia in India using targeted next-generation sequencing approach.	Int J Hematol.2019	Original Article
450	Hiroko Miura, Shin Kawana, Shigekazu Sugino 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔科)	Successful management of an infant with hypertensive heart failure associated with Wilms' tumor: a case report.	JA clinical reports2020 Feb;6(1):12	Case report
451	Tetsuya Akaishi, Shin Takayama, Minoru Ohsawa 他	総合地域医療教育支援部 (総合診療科)	Successful treatment of intractable menstrual migraine with the traditional herbal medicine tokishakuyakusan.	Journal of general and family medicine2019 May;20(3):118-121	Case report
452	Haga T, Fujimura T, Aiba S 他	皮膚科	Successful treatment of microcystic adnexal carcinoma on the philtrum with oral S-1 monotherapy.	The Journal of dermatology2019 Jun;46(6):e208-e209	Case report
453	Ishihara-Yusa S, Fujimura T, Lyu C, Sugawara M 他	皮膚科	Successful treatment of multiple eruptive adult xanthogranuloma concomitant with xanthelasma palpebrarum with probucol.	The Journal of dermatology2019 May;46(10):e362-e364	Case report
454	Yoshida S, Fujimura T, Kambayashi Y 他	皮膚科	Successful Treatment of Multiple Metastatic Melanoma with Nivolumab, Ipilimumab plus Denosumab Combined Therapy.	Case reports in oncology2019 Sep;12(3):829-833	Case report
455	Takehiro Numata, Kazuki Miura, Tetsuya Akaishi 他	総合地域医療教育支援部 (漢方内科)	Successful Treatment of Myalgic Encephalomyelitis/Chronic Fatigue Syndrome with Chronic Febricula Using the Traditional Japanese Medicine Shosaikoto.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2020 Jan;59(2):297-300	Case report
456	Yusho Ishii, Hiroshi Fujii, Koichiro Sugimura 他	血液・免疫科	Successful Treatment of Pulmonary Arterial Hypertension in Systemic Sclerosis with Anticentriole Antibody	Case Reports in Rheumatology2020 Feb	Case report
457	Fujimura T, Kambayashi Y, Sato Y 他	皮膚科	Successful Treatment of Unresectable Advanced Melanoma by Administration of Nivolumab With Ipilimumab Before Primary Tumor Resection.	Frontiers in medicine2019;6:140	Case report
458	Fujimura T, Kambayashi Y, Sato Y 他	皮膚科	Successful treatment of unresectable recurrent programmed death ligand 1 moderately-expressing malignant melanoma of the nasal cavity with pembrolizumab monotherapy.	The Journal of dermatology2019 Jul;46(7):e260	Case report
459	Haruo Usuda, Shimpei Watanabe, Masatoshi Saito 他	小児病態学分野(小児科)	Successful use of an artificial placenta to support extremely preterm ovine fetuses at the border of viability.	American journal of obstetrics and gynecology2019 Jul;221(1):69.e1-69.e17	Original Article
460	Hayashi K, Jin K, Nagamori C 他	てんかん学分野(てんかん科)	Sudden unexpected death in epilepsy in the bathtub.	Epilepsy & behavior : E&B2019 Jul;96:33-40	Original Article

小計14件

461	Kameda M, Abiko Y, Washio J 他	顎口腔矯正学分野(矯正歯科)	Sugar Metabolism of <i>Scardovia wiggisiae</i> , a Novel Caries-Associated Bacterium.	Front. Microbiol2020 Mar;11(479)	Original Article
462	Tsukasa Yoshida, Susumu Hijioka, Waki Hosoda 他	消化器内科	Surgery for Pancreatic Neuroendocrine Tumor G3 and Carcinoma G3 Should be Considered Separately	Annals of Surgical Oncology2019;26(5):1385-1393	Original Article
463	Ujii N, Taniyama Y, Sato C 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	Surgical intervention for Laimer's diverticulum, a rare type of pharyngoesophageal diverticulum: a case report	OTO-Open 2019;3(2)	Case report
464	Handa K, Ozawa H, Aizawa T 他	整形外科学分野(整形外科)	Surgical Management of Giant Sacral Schwannoma: A Case Series and Literature Review.	World neurosurgery2019 Sep;129:e216-e223	Case report
465	Ikeda R, Miyazaki H, Morita M 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野(耳鼻咽喉・頭頸部外科)	Surgical treatments for a case of superior canal dehiscence syndrome associated with patulous Eustachian tube.	Auris, nasus, larynx2019 Aug;46(4):630-635	Original Article
466	Sato K, Endo H, Fujimura M 他	脳神経外科	Tailor-made branch reconstruction by intracranial to intracranial bypass during clipping surgery for middle cerebral artery aneurysms.	World Neurosurg Jul2019;127:e1152-e1158	Original Article
467	Nakamura T, Takai Y, Kaneko K 他	神経内科学分野(脳神経内科)	T-cell Lymphoma Presenting Neutrophilic Inflammation in the Cerebrospinal Fluid: A Case Report.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2019 Oct	Case report
468	Sato K, Takahashi J, Hao K 他	循環器内科	Temporal trends in the prevalence and outcomes of geriatric patients with acute myocardial infarction in Japan -A report from with the Miyagi AMI Registry Study-	J Cardiol2020 Mar;75(5):465-472	Original Article
469	Masatoshi Akiyama, Konosuke Sasaki, Satoshi Kawatsu 他	心臓血管外科学分野(心臓血管外科)	Temporary ventricular assist device implantation by sternotomy-avoiding technique for bridge-to-decision therapy: a comparison with conventional implantation.	General thoracic and cardiovascular surgery2020 Mar;68(3):240-247	Original Article
470	Kasahara S, Sakata Y, Nochioka K 他	臨床生理検査学分野(循環器内科)	The 3A3B score: The simple risk score for heart failure with preserved ejection fraction - A report from the CHART-2 Study.	International journal of cardiology2019 Jun;284:42-49	Original Article
471	Yamaguchi Y, Yamauchi K, Suzuki H 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	The accuracy of maxillary position using a CAD/CAM intermediate splint delivered via surgical simulation in bimaxillary orthognathic surgery	J Craniofac Surg2020	Original Article
472	Hanzawa S, Tateishi T, Takemura T 他	呼吸器外科	The Analysis of Surgical Lung Biopsy and Explanted Lung Specimens Sheds Light on the Pathological Progression of Chronic Bird-related Hypersensitivity Pneumonitis.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2019 Apr;58(8):1145-1150	Original Article
473	Takashi Ohi, Takamasa Komiyama, Yoshitada Miyoshi 他	加齢歯科学分野(高齢者歯科)	The association between bilateral maximum occlusal force and all-cause mortality among community-dwelling older adults: The Tsurugaya project.	Journal of Prosthodontic Research2019 Sep	Original Article
474	Yukiko Nishihama, Nozomi Tatsuta, Miyuki Iwai-Shimada 他	婦人科学分野(婦人科)	The association between gestational use of personal care products and neonatal urological abnormality at birth: The Japan Environment and Children's Study.	Reproductive toxicology (Elmsford, N.Y.)2020 Jan;93:83-88	Original Article

小計14件

475	Uchida K, Himori N, Hashimoto K 他	眼科学分野(眼科)	The association between oxidative stress and corneal hysteresis in patients with glaucoma.	Scientific reports2020 Jan;10(1):545	Original Article
476	Imai Y, Sanada T, Tachi M	形成外科学分野(形成外科)	The Birth Prevalence of Cleft Lip and/or Cleft Palate After the 2011 Tohoku Earthquake and Tsunami.	The Cleft palate- craniofacial journal : official publication of the American Cleft Palate- Craniofacial Association2019	Original Article
477	Kawamura Y, Ikeda R, Kikuchi T 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分 野(耳鼻咽喉・頭頸部外科)	The characteristic of patulous eustachian tube patients diagnosed by the JOS diagnostic criteria.	PloS one2019;14(12):e0226908	Original Article
478	Alexander Ró th,Orcl iconJun-ichi Nishimura,Zsolt Nagy 他	血液・免疫科	The complement C5 inhibitor crovalimab in paroxysmal nocturnal hemoglobinuria.	Blood2020 Mar;135(12):912-920	Original Article
479	Kotaro Yamamoto, Taiki Kokubun, Kota Sato 他	眼科学分野(眼科)	The DNA topoisomerase II inhibitor amsacrine as a novel candidate adjuvant in a model of glaucoma filtration surgery.	Scientific reports2019 Dec;9(1):19288	Original Article
480	Takuya Izumiya, Yu Mori, Shiro Mori 他	歯科顎口腔外科	The effect of anti-IL-6 receptor antibody for the treatment of Mch-lpr/lpr-RA1 mice that spontaneously developed destructive arthritis and enthesitis. BMC Musculoskeletal Disorder	BMC Musculoskeletal Disorder2019;20	Original Article
481	Ohnuma S, Wang DY, Suzuki H 他	総合外科(旧:胃腸外科)	The effect of anti-TNF-alpha Ab in AOM/DSS-induced colitic cancer mouse model	Cancer Research2019 Jul;79(13)	Original Article
482	Serizawa F, Tanaka M, Shimizu T 他	総合外科(旧:移植・再建・内 視鏡外科)	The Epidemiology of Micro-arteriovenous Fistulas in the Lower Legs.	Annals of vascular surgery2019 Apr;56:29-35	Original Article
483	Fumika Nanto- Hara, Yoshitomi Kanemitsu, Shinji Fukuda 他	小児病態学分野(小児科)	The guanylate cyclase C agonist linacotide ameliorates the gut-cardio-renal axis in an adenine-induced mouse model of chronic kidney disease.	Nephrology, dialysis, transplantation : official publication of the European Dialysis and Transplant Association - European Renal	Original Article
484	Masatoshi Akiyama, Kou Sakatsume, Konosuke Sasaki 他	心臓血管外科学分野(心臓 血管外科)	The incidence, risk factors, and outcomes of gastrointestinal bleeding in patients with a left ventricular assist device: a Japanese single-center cohort study.	Journal of artificial organs : the official journal of the Japanese Society for Artificial Organs2020 Mar;23(1):27-35	Original Article
485	Kanehara K, Ohnuma S, Kanazawa Y 他	総合外科(旧:胃腸外科)	The indole compound MA-35 attenuates tumorigenesis in an inflammation-induced colon cancer model.	Scientific reports2019 Sep;9(1):12739	Original Article
486	Hikage M, Taniyama, Y, Sakurai T 他	総合外科(旧:移植・再建・内 視鏡外科)	The Influence of the Perioperative Nutritional Status on the Survival Outcomes for Esophageal Cancer Patients with Neoadjuvant Chemotherapy.	Ann Surg Oncol2019;26(13):4744- 4753	Original Article
487	Lee YK, Uchida H, Smith H 他	脳神経外科	The isolation and molecular characterization of cerebral microvessels	Nature Protocols2019;14:3059- 3081	Original Article
488	Hatta W, Gotoda T, Koike T 他	消化器病態学分野(消化器 内科)	The management following endoscopic resection in elderly patients with early-stage upper gastrointestinal neoplasia	Dig Endosc2019 Dec	Review

小計14件

489	Naoki Kiyota, Yukihiro Shiga, Masayuki Yasuda 他	眼科学分野(眼科)	The optic nerve head vasoreactive response to systemic hyperoxia and visual field defect progression in open-angle glaucoma, a pilot study.	Acta ophthalmologica2020 Feb	Original Article
490	Iida M, Nakamura M, Tokuda E 他	乳腺・内分泌外科学分野(総合外科(旧:乳腺・内分泌外科))	The p21 levels have the potential to be a monitoring marker for ribociclib in breast cancer.	Oncotarget2019 Aug;10(47):4907-4918	Original Article
491	Kondo Eiji, Tabata Tsutomu, Suzuki Nao 他	婦人科学分野(婦人科)	The prognosis of patients with recurrent or persistent ovarian clear cell carcinoma: Results from a randomized phase III study (JGOG3017/GCIG).	JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY2019 May;37(15)	Original Article
492	Ichinohasama K, Kunikata H, Ito A 他	眼科学分野(眼科)	The Relationship between Carotid Intima-Media Thickness and Ocular Circulation in Type-2 Diabetes.	Journal of ophthalmology2019	Original Article
493	Yabana T, Sato K, Shiga Y 他	眼科学分野(眼科)	The relationship between glutathione levels in leukocytes and ocular clinical parameters in glaucoma.	PloS one2019;14(12):e0227078	Original Article
494	Gerardo Martinez-de la Cruz, Yamauchi K, Saito S 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	The relationship between neurosensory disturbance of the inferior alveolar nerve and the lingual split pattern at sagittal split osteotomy.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol2020	Original Article
495	Wainwright JV, Endo T, Cooper JB 他	脳神経外科	The role of 5-aminolevulinic acid in spinal tumor surgery: a review	J Neurooncol2019;141:575- 584	Review
496	Kuniyoshi S, Miki Y, Sasaki A 他	乳腺・内分泌外科学分野(総合外科(旧:乳腺・内分泌外科))	The significance of lipid accumulation in breast carcinoma cells through perilipin 2 and its clinicopathological significance.	Pathology international2019 Aug;69(8):463-471	Original Article
497	Takanori Morikawa, Masaharu Ishida, Tatsuyuki Takadate 他	総合外科(旧:肝・胆・膵外科)	The superior approach with the stomach roll-up technique improves intraoperative outcomes and facilitates learning laparoscopic distal pancreatectomy: a comparative study between the superior and inferior approach.	Surgery today2020 Feb;50(2):153-162	Original Article
498	Kota Sato, Yurika Nakagawa, Kazuko Omodaka 他	眼科学分野(眼科)	The Sustained Release of Tafluprost with a Drug Delivery System Prevents the Axonal Injury-induced Loss of Retinal Ganglion Cells in Rats.	Current eye research2020 Jan;1-10	Original Article
499	Suzuki N, Mori- Yoshimura M, Yamashita S 他	脳神経内科	The updated retrospective questionnaire study of sporadic inclusion body myositis in Japan.	Orphanet journal of rare diseases2019 Jun;14(1):155	Original Article
500	Yamada K, Itoh M, Fujimura Y 他	医学情報学分野(メディカルITセンター)	The utilization and challenges of Japan's MID-NET? medical information database network in postmarketing drug safety assessments: A summary of pilot pharmacoepidemiological studies.	Pharmacoepidemiology Drug Safety.2019 May;28:601-608	Original Article
501	西條憲、今井 源、石岡千加史 他	腫瘍内科	Therapeutic Benefits of Ipilimumab among Japanese Patients with Nivolumab-Refractory Mucosal Melanoma: A Case Series Study.	Tohoku Journal of Experimental Medicine2019 May;248(1):37-43	Case report
502	Amagai R, Fujimura T, Kambayashi Y 他	皮膚科	Three cases of nivolumab therapy-failed advanced melanoma successfully controlled by ipilimumab with intensity-modulated radiotherapy.	The Journal of dermatology2019 May;46(5):449-452	Case report

小計14件



503	Elkordy A, Rashad S, Shehabeldeen H 他	脳神経外科	tiRNAs as a novel biomarker for cell damage assessment in in vitro ischemia-reperfusion model in rat neuronal PC12 cells	Brain Res2019;1714:8-17	Original Article
504	Ogawa S, Kitaura H, Kishikawa A 他	顎口腔矯正学分野(矯正歯科)	TNF- $\alpha$ is responsible for the contribution of stromal cells to osteoclast and odontoclast formation during orthodontic tooth movement.	PLOS ONE2019 Oct;14(10):e0223989	Original Article
505	Tokunaga H, Shimada M, Ishikawa M 他	婦人科	TNM classification of gynaecological malignant tumours, eighth edition: changes between the seventh and eighth editions.	Japanese journal of clinical oncology2019 Apr;49(4):311-320	Original Article
506	Koh Iwasaki, Motonari Kurachi, Tatsuya Nogami 他	総合地域医療教育支援部(漢方内科)	Traditional Chinese therapy initiates oral feeding in a stroked woman after three years of nasogastric tube feeding.	Journal of family medicine and primary care2019 Sep;8(9):3059-3060	Case report
507	Hai The Phung, Hiroyuki Nagashima, Shuhei Kobayashi 他	消化器病態学分野(消化器内科)	TRAF5 Deficiency Ameliorates the Severity of Dextran Sulfate Sodium Colitis by Decreasing TRAF2 Expression in Nonhematopoietic Cells.	ImmunoHorizons2020 Mar;4(3):129-139	Original Article
508	Miura M, Handoh T, Taguchi Y 他	臨床生理検査学分野(循環器内科)	Transient elevation of glucose increases arrhythmia susceptibility in non-diabetic rat trabeculae with nonuniform contraction.	Circulation Journal2020 Feb	Original Article
509	Nagai N, Nezhad ZK, Daigaku R 他	眼科学分野(眼科)	Transscleral sustained ranibizumab delivery using an episcleral implantable device: Suppression of laser-induced choroidal neovascularization in rats.	International journal of pharmaceutics2019 Jun;567:118458	Original Article
510	Ogawa Y, Niizuma K, Tominaga T 他	脳神経外科	Transsphenoidal removal of retroclival chondroma with pituitary transposition manifesting as repeated subarachnoid hemorrhage: a case report.	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg2019;80:228-232	Case report
511	Fujii H, Horie S, Sukhbaatar A 他	歯科顎口腔外科	Treatment of false-negative metastatic lymph nodes by a lymphatic drug delivery system with 5-fluorouracil	Cancer Med2019 Apr	Original Article
512	Fujii H, Horie S, Sukhbaatar A 他	口腔診断科	Treatment of false-negative metastatic lymph nodes by a lymphatic drug delivery system with 5-fluorouracil.	Cancer Med.2019 May;8(5):2244-2251	Original Article
513	Matsuo K, Ross MS, Yunokawa M 他	プロトコル作成支援部門(婦人科)	Tumor characteristics and outcome of uterine carcinosarcoma in women aged $\geq$ 80 years.	Surgical oncology2019 Jun;29:25-32	Original Article
514	Naoko Mori, Hiroyuki Abe, Shunji Mugikura 他	総合外科(旧:乳腺・内分泌外科)	Ultrafast Dynamic Contrast-Enhanced Breast MRI: Kinetic Curve Assessment Using Empirical Mathematical Model Validated with Histological Microvessel Density	Academic Radiology2019 Jul;26(7):e141-e149	Original Article
515	Mori T, Izumi S, Suzukamo Y 他	肢体不自由学分野(肢体不自由リハ科)	Ultrasonography to detect age-related changes in swallowing muscles.	Eur Geriatr Med2019 Oct;10(5):753-760	Original Article
516	Ochi T, Onishi Y, Nasu K 他	検査部	Umbilical Cord Blood Transplantation Using Reduced-intensity Conditioning without Antithymocyte Globulin in Adult Patients with Severe Aplastic Anemia.	Biol Blood Marrow Transplant.2019;25:e55-e59	Case report

小計14件

517	Y. Osada, I. Shibahara, A. Nakagawa 他	バイオデザイン部門(脳神経外科)	Unilateral chronic subdural hematoma due to spontaneous intracranial hypotension: a report of four cases	BJ Neurosurg2019;1-6	Case report
518	Kato S, Shirai Y, Sakamoto M 他	歯科顎口腔外科	Use of a lymphatic drug delivery system and sonoporation to target malignant metastatic breast cancer cells proliferating in the marginal sinuses.	Scientific Reports2019 Sep;9(1):13242	Original Article
519	Sachiko Mogami, Ryutaro Arita, Miwa Nahata 他	総合地域医療教育支援部(漢方内科)	Usefulness of a Kampo Medicine on Stress-Induced Delayed Gastric Emptying in Mice.	Evidence-based complementary and alternative medicine : eCAM2020;2020:3797219	Original Article
520	Kawamura T, Osawa S, Suzuki I 他	脳神経外科	Usefulness of Goreisan in Acute Phase Management of Intracerebral Hemorrhage Patients during Hemodialysis	Surg Cereb Stroke (Jpn)2019;47:439-443	Original Article
521	Kikuchi Y, Takahashi J, Hao K 他	循環器内科	Usefulness of intracoronary administration of fasudil, a selective Rho-kinase inhibitor, for PCI-related refractory myocardial ischemia.	Int J Cardiol2019 Dec;297:8-13	Original Article
522	Akizuki M, Sugimura K, Aoki T 他	内部障害学分野(内部障害科)	Usefulness of ventilatory gas analysis for the non-invasive evaluation of the severity of chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	International journal of cardiology2019 Dec;296:149-154	Original Article
523	Ochi J, Mori N, Mori Y 他	放射線診断科	Validating an Empirical Mathematical Model for Dynamic Contrast-enhanced MR Imaging of Hand and Wrist Synovitis in Rheumatoid Arthritis: Correlation of Model Parameters with Clinical Disease Activity	Magn Reson Med Sci2019 Jul;1-8	Original Article
524	Iga N, Otsuka A, Hirata M 他	皮膚科	Variable indoleamine 2,3-dioxygenase expression in acral / mucosal melanoma and its possible link to immunotherapy.	Cancer science2019 Sep;110(11):3434-3441	Original Article
525	Atsushi Masamune, Hiroshi Kotani, Franziska Lena Sörgel 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Variants That Affect Function of Calcium Channel TRPV6 Are Associated With Early-onset Chronic Pancreatitis.	Gastroenterology2020 Jan	Original Article
526	Nakajima Y, Kadoya N, Kimura T 他	放射線腫瘍学分野(放射線治療科)	Variations Between Dose-Ventilation and Dose-Perfusion Metrics in Radiation Therapy Planning for Lung Cancer.	Adv Radiat Oncol2020 Mar;5(3):459-465	Original Article
527	Iida-Norita R, Kawamura M, Suzuki Y 他	消化器病態学分野(消化器内科)	Vasohibin-2 plays an essential role in metastasis of pancreatic ductal adenocarcinoma.	Cancer science2019 May;110(7):2296-2308	Original Article
528	Ikeda R, Hidaka H, Murata T 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野(耳鼻咽喉・頭頸部外科)	Vibrant Soundbridge implantation via a retrofacial approach in a patient with congenital aural atresia.	Auris, nasus, larynx2019 Apr;46(2):204-209	Original Article
529	Sakamoto M, Fukunaga T, Sasaki K 他	矯正歯科	Vibration enhances osteoclastogenesis by inducing RANKL expression via NF- $\kappa$ B signaling in osteocytes.	Bone2019 Jun;123:56-66	Original Article
530	Iwatsu M, Kanetaka H, Mokudai T 他	咬合回復科	Visible light-induced photocatalytic and antibacterial activity of N-doped TiO <sub>2</sub> .	Journal of Biomedical Materials Research Part B: Applied Biomaterials. 2019;108(2):451-459	Original Article

小計14件

531	Saqr KM, Rashad S, Tupin S 他	脳神経外科	What does computational fluid dynamics tell us about intracranial aneurysms? A meta-analysis and critical review.	J Cereb Blood Flow Metab Epu2019 Jun	Original Article
532	Ikeda R, Kawase T, Takata I 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野(耳鼻咽喉・頭頸部外科)	Width of Patulous Eustachian Tube: Comparison of Assessment by Sonotubometry and Tubo-tympano-aerography.	Otol Neurotol2019 Apr;40(4):e386-e392	Original Article
533	Manabu Fujimoto, Jun Asai, Yoshihide Asano 他	皮膚科	Wound, pressure ulcer and burn guidelines - 4: Guidelines for the management of connective tissue disease/vasculitis-associated skin ulcers.	The Journal of dermatology2020 Jan	Original Article

計533件

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	菅原 宏文, 後藤均, 赤松 大二朗 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	【肝胆膵の救急疾患とその最新の治療現場】古典的な肝胆膵での救急疾患とその最新治療 上腸間膜動脈閉塞・解離に対するアプローチ	肝・胆・膵2019 Oct;79(4):651-658	Original Article
2	小林直也, 井汲沙織, 吉田典史 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔科)	50mLの生理食塩水プレフィルドシリンジのシリンジポンプにおける投与量の正確性に関する検討. 臨床麻酔2019;44:185-9	臨床麻酔2020 Jan;44(1):185-189	Original Article
3	亀山良渡, 志賀卓弥, 外山裕章 他	麻酔科学・周術期医学(麻酔科)	CU患者の術後痛に対する末梢神経ブロックの有効性	日本臨床麻酔学会誌2020 Jan;40(1):28-31	Original Article
4	藤岡 俊亮, 吉田 清香, 檜森 紀子 他	眼科学分野(眼科)	Duane症候群との鑑別に苦慮した重症筋無力症の1例	眼科臨床紀要2020 Feb;13(2):100-104	Case report
5	中山雅晴	医学情報学分野(メディカルITセンター)	FHIRに対する期待と課題	医療情報学2019;39:88-89	Original Article
6	Masato Kato, Suguru Dobashi, Takahiro Kato 他	放射線治療学分野(放射線治療科)	Influence and Countermeasure of Respiratory Motion on Matchline Profile of Field Matching Technique in Passive Scattering Proton Therapy for Esophageal Cancer	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi2019 Dec;75(12):1383-1393	Original Article
7	井上隆輔, 大友千晶, 中山雅晴	医学情報学分野(メディカルITセンター)	MID-NETを用いた脳卒中中の検索精度に関する検討	医療情報学2019;39:514-518	Original Article

小計 7件

8	Hajime Shimoda, Tetsu Takahashi	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	Perioperative management in a patient with type 1 diabetes mellitus who presented severe hypoglycemia during dental implant surgery: a case report	日本歯科麻酔学会雑誌 2019 Oct;47(4):167	Case report
9	永松謙一, 安藤肇史, 仁村太郎 他	脳神経外科	QOL尺度を用いたBurstDR刺激SCSの評価	機能的脳神経外科 2019;58:39-44	Original Article
10	Fujiwara T	検査部	Sideroblastic anemia ? deepening of genomic medicine and future prospects.	Rinsho Ketsueki.2019;60:408-416	Review
11	中山雅晴, 大友千晶, 井上隆輔	医学情報学分野(メディカルITセンター)	SS-MIX2ストレージに収集されるデータ項目の臨床研究における網羅性の検討	医療情報学2019;39:289-290	Original Article
12	中山雅晴, 的場哲哉, 武田理宏 他	医学情報学分野(メディカルITセンター)	SS-MIX2拡張ストレージ活用で広がる循環器疾患・救急疾患の理解	医療情報学2019;39:70-71	Original Article
13	館正弘	形成外科学分野(形成外科)	感染症合併褥瘡	日本褥瘡学会誌 2019;21(2):80-83	Original Article
14	泉田 明男	総合歯科診療部	サイナスリフトによるインプラント治療を応用した咬合回復の一症例.	日本補綴歯科学会誌2019 Apr;11(2):167-170	Case report
15	中川敦寛, 日下房子, 浅野成子 他	バイオデザイン部門(脳神経外科)	デジタルICTを用いた人々の行動変容に関する取り組み	オペレーションズ・リサーチ 2019 Jul;64(7):413-418	Original Article
16	藤村幹, 富永悌二	脳神経外科	もやもや病: 診断基準改定と外科治療に関する最新知見	脳神経外科ジャーナル 2019;28:789-795	Review
17	田代亮介	脳神経外科	もやもや病の病態研究-疾患感受性遺伝子RNF213機能解析と臨床検体を用いた病原性細胞の同定-	東北医学雑誌 2019;131:71	Review
18	中川敦寛	脳神経外科	わが国の医療・ヘルスケアの課題: テクノロジーを使いこなし, 課題解決を図る	日立ソリューションズ東日本 技報2019;25:2-5	Original Article
19	大竹義雄, 野上晋之介, 蔡 優広 他	顎顔面・口腔外科学分野(歯科顎口腔外科)	下顎頭の関節包内骨折に対して外科的整復術を施行した2例	日本顎関節学会雑誌2019 Aug;31(2):121-129	Case report
20	栗原幸男, 石田博, 木村映善 他	医学情報学分野(メディカルITセンター)	患者プロフィール情報(PPI)の標準化戦略を考えるーPPIをHER, PHR整備のコアを位置づけてー	医療情報学2019;39:123-125	Original Article
21	加藤侑哉, 田代亮介, 吉田昌弘 他	脳神経外科	急性期脳出血患者での抗凝固療法導入による急性肺血栓症予防	脳神経外科 2019;47(2):199-204	Original Article

小計14件

22	吉田 良太郎, 後藤 均, 赤松 大二朗 他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	緊急血行再建術を施行した下肢血管損傷4例	血管外科2019 Nov;38(1):69-74	Original Article
23	佐々木慶介, 吉田昌弘, 三野正樹 他	脳神経外科	経皮的椎骨動脈直接穿刺により治療した椎骨動脈瘤の一例	脳神経外科 2019;46(7):599-605	Case report
24	飯久保 正弘	口腔診断学分野(口腔診断科)	高齢者、有病者を診察する際の顎口腔領域の画像診断の重要性	日本口腔外科学会雑誌 2019 Sep;65(9):568-574	Review
25	島田 栄理遣, 土谷 忍, 布村 陽平 他	形成外科学分野(形成外科)	骨格性1級の片側性唇顎口蓋裂患者に対する矯正歯科治療の長期経過—東北大学病院における口唇口蓋裂患者に対するチーム医療—	東北矯正歯科学会雑誌 2019 Dec;27(1):37-49	Original Article
26	長谷川達也, 中野将人, 鈴木重人 他	保存修復科	根尖性歯周炎の免疫学と治療抵抗性に対する新規歯内療法開発への課題	日本歯内療法学会雑誌 2020 Jan;41(1):8-15	Review
27	高見澤哲也, 半田慶介, 鈴木重人 他	保存修復科	歯根尖切除術の教育用顎模型システムの開発とその評価	日本歯科保存学会雑誌 2020 Feb;63(2):188-198	Original Article
28	刈部 博, 亀山元信, 成澤あゆみ 他	脳神経外科	重症頭部外傷に対する治療戦略としての穿頭術の現状 —日本頭部外傷データベースプロジェクト2009と2015の比較分析から—	神経外傷2019;42(2):89-95	Original Article
29	亀井尚, 谷山裕亮, 櫻井直他	総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科)	食道癌手術における反回神経麻痺の現状 麻痺を回避するリンパ節郭清手技と術中神経刺激システムの有用性	日本気管食道科学会会報 2019;70(2):133-135	Original Article
30	三野正樹, 藤村幹, 富永悌二	脳神経外科	成人における脳実質内症候性くも膜嚢胞に対する内視鏡手術 —後期高齢者を含む3症例の報告—	脳神経外科 2019;47(4):461-437	Case report
31	熊谷 道雄, 外山裕章, 佐藤 裕他	麻酔科学・周術期医学(麻酔科)	脊髄幹麻酔のための携帯型超音波診断装置 ACCURO	臨床麻酔2019 Jul;43(7):987-990	Case report
32	片浦貴俊, 杉本是明, 飯久保正弘 他	口腔診断科	舌侵害刺激が視床下部-下垂体-副腎系を介した内分泌反応に及ぼす影響	日本口腔顔面痛学会雑誌 2019 Dec;12(1):1-10	Original Article
33	長田佳整, 園部真也, 三野正樹 他	脳神経外科	造影3D T1 fast spin-echoで破裂動脈瘤を推定し治療した高齢者多発脳動脈瘤の2例	脳卒中の外科 2019;47:196-201	Case report
34	木村 映善, 上中進太郎, 古菌 知子 他	医学情報学分野(メディカルITセンター)	退院時サマリーCDA 文書のFHIR への移植の評価	医療情報学 2019;39(3):143-153	Original Article
35	吉田 真彰, 横倉俊二, 望月 清文 他	眼科学分野(眼科)	大学病院へ紹介された感染性角膜炎疑い症例における全身投与抗菌薬の使用状況の調査	日本眼科学会雑誌2020 Jan;124(1):21-23	Original Article

小計14件

36	井戸 敬介、中村 直毅、中山 雅晴	医学情報学分野(メディカルITセンター)	地域医療情報ネットワークによる透析施設間連携の試み	医療情報学2019;39:838-840	Original Article
37	田代亮介、吉田 昌弘	脳神経外科	椎骨動脈解離に対する紡錘状拡張部に塞栓範囲を絞ったinternal trapping術	JNET2019;13:155-160	Original Article
38	二宮 高洋, 檜森 紀子, 吉田 清香 他	眼科学分野(眼科)	東北大学における眼窩先端部症候群19例の検討	神経眼科2019 Dec;36(4):404-409	Original Article
39	後藤 昌史	移植再生医学分野(総合外科(旧:移植・再建・内視鏡外科))	糖尿病と再生医療	Diabetes Strategy2019;9(4):5-20	Original Article
40	新妻邦泰	脳神経外科	未破裂脳動脈瘤診療の実際	老年医学2019;57:469-474	Review

計 40件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 主に倫理委員会の体制や申請の要件、倫理委員会審査まで流れ、申請手続き、様式一覧、その他留意すべき事項など。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の社会後年の推進を図ることを目的とする。 利益相反マネジメント推進体制、利益相反マネジメントの実施方法など。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
・ 研修の主な内容 医学系研究の倫理の基本、産学連携と利益相反マネジメント、研究者自身が行う臨床研究の品質管理～モニタリング～、臨床研究立ち上げから英語論文発表まで最速最短で行うための極意、事例を踏まえた臨床研究実施時の留意点、実際のプロトコル作成時の留意点、特定臨床研究にかかる利益相反マネジメントについて、臨床試験・治験に対する法的な枠組み、臨床研究法の施行～医療機関内としての対応～など。	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の研修では、各領域の多数の専門医・指導医の指導の下、豊富な高度医療設備を用いて、将来の専門医・指導医資格の取得のため、日々高度な医療の習得に努めています。最先端医療や稀少症例、難治症例を経験するだけでなく、連携病院と協力し各領域の多様な症例を経験することにより、全人的な診療能力を持つ専門医を養成しております。また、大学院で学位を併行して取得することも可能であり、医師のみならず教育者、研究者として社会に貢献しております。

平成30年度から開始した新専門医制度による専門医研修において、全19基本領域の専門研修プログラムを整備しております。さらに、初期研修から基本領域の専門研修、サブスペシャリティ領域での専門研修、大学院進学等、シームレスな医師養成を行っております。また、当院の専門研修プログラムでは、当院のみならず多くの連携病院と協力し、各人の希望やニーズを考慮し各人毎に最適なプログラムでの研修を行えるよう整備しています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	109.08	人
-------------	--------	---

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
阿部 倫明	内科(総合診療科)	准教授	26年	
安田 聡	循環器内科	教授	34年	
青柳 哲史	感染症内科	准教授	19年	
宮崎真理子	腎臓・内分泌内科	特任教授	33年	
張替 秀郎	血液内科	教授	34年	
藤井 博司	リウマチ科	特命教授	24年	
片桐 秀樹	糖尿病・代謝内科	教授	33年	
井上 淳	消化器内科	助教	20年	
富永 尚希	老年内科	助教	19年	
高山 真	漢方内科	准教授	24年	
福土 審	心療内科	教授	37年	
玉田 勉	呼吸器内科	講師	26年	
石岡千加史	腫瘍内科	教授	37年	
海野 倫明	外科(肝胆膵・移植グループ)	教授	35年	
大沼 忍	外科(下部消化管グループ)	教授	27年	
亀井 尚	外科(上部消化管・血管グループ)	教授	29年	
石田 孝宣	外科(乳腺・内分泌グループ)	教授	33年	
齋木 佳克	心臓血管外科	教授	30年	
井樋 栄二	整形外科	教授	40年	
館 正弘	形成外科	教授	35年	



研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
岡田 克典	呼吸器外科	教授	32年	
山内 正憲	麻酔科	教授	30年	
八重樫伸生	産婦人科	教授	37年	
伊藤 明宏	泌尿器科	教授	30年	
青木 正志	脳神経内科	教授	27年	
遠藤 俊毅	脳神経外科	講師	22年	
富田 博秋	精神科	教授	26年	
笹原 洋二	小児科	准教授	29年	
和田 基	小児外科	准教授	27年	
和田 基	小児腫瘍外科	准教授	27年	
山崎 研志	皮膚科	准教授	29年	
横倉 俊二	眼科	講師	17年	
香取 幸夫	耳鼻咽喉科	教授	30年	
香取 幸夫	頭頸部外科	教授	30年	
上月 正博	リハビリテーション科	教授	39年	
高瀬 圭	放射線科	教授	31年	
古川 宗	救急科	助手	24年	
藤島 史喜	病理診断科	准教授	21年	
山田 聡	歯科	教授	26年	
高橋 哲	歯科顎口腔外科	教授	37年	
福本 敏	小児歯科	教授	27年	
溝口 到	矯正歯科	教授	37年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

看護実践を担う看護職員のキャリア開発やジェネラリストとしての看護実践能力向上のために「看護実践能力（クリニカルラダー）」システムを導入し、看護実践、看護管理、教育・研究、人間形成の4領域と4段階の熟達レベルで教育プログラムを組んでいる。

・研修の期間・実施回数

平成31年4月～令和2年3月 期間中50回開催

・研修の参加人数

期間中延べ 2287人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

安全・安心で質の高い看護の提供のために導入したPNS（パートナーシップ・ナーシング・システム<sup>®</sup>）を推進するための研修やデータを用いたケアの質評価と看護業務マネジメントの研修を実施した。

・研修の期間・実施回数

令和元年5月～令和元年12月 期間中10回開催

・研修の参加人数

期間中延べ 545人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 富永 悌二
管理担当者氏名	総務課長 芳賀 昌史・医事課長 前田 光男

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課 各診療科 薬剤部 医事課 医療情報室 電子カルテ	診療記録（手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真等を含む）は、平成26年4月より電子カルテを原本とし、記載及びスキャン取込を行い管理している。紙媒体の診療記録は患者毎にファイリングし、ターミナルデジットファイリング法で一元管理を行っている。保管期間は、最終来院日より15年と定めている。診療記録の院外への持ち出しについては原則として禁止している。病院日誌は紙媒体で保管している。処方箋は、月及び処方区分ごとにまとめ、5年間保管している。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	従業員数を明らかにする帳簿は、電子媒体で管理している。高度の医療の実績関係については、診療科・研究推進室等からデータをもらい、年度毎に一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。患者数関係については、毎月に集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、毎月集計し、電子媒体で管理している。その他については、各部署で月毎や年度毎に管理している。
		高度の医療の提供の実績	医事課及び研究推進室	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究推進室	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課及び医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部	
規則第一條の十一第一項に掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	地域医療連携課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	地域医療連携課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	地域医療連携課	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	地域医療連携課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	地域医療連携課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	地域医療連携課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室	電子ファイルで保管(医薬品安全管理室内規及び医薬品安全管理手順書)
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室	毎月整理し、電子ファイルで保管。
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室	毎月整理し、電子ファイルと紙媒体で保管。
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室	毎月整理し、電子ファイルで保管。
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室	

		保管場所	管理方法		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	地域医療連携課		
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室	会議資料等を毎月整理し、電子ファイルで保管。	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報室		
		医療安全管理部門の設置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	地域医療連携課 経営管理課		
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	
			医薬品安全管理室	会議資料を電子ファイルで保管。	
		監査委員会の設置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	地域医療連携課		
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	地域医療連携課		
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	地域医療連携課		
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	地域医療連携課		
		職員研修の実施状況	地域医療連携課		
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	地域医療連携課		
		管理者が有する権限に関する状況	総務課		紙媒体を簿冊として保管している。
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 富永 悌二	
閲覧担当者氏名	総務課長 芳賀 昌史・医事課長 前田 光男	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要		
閲覧については、諸記録毎の管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：            『東北大学病院の医療に関する安全管理指針』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 患者に対する十分なインフォームド・コンセント及びその同意に基づく医療従事者との良好な信頼関係のもとに、患者本位の全人的な医療及び安全な医療を提供する。</li> <li>(2) 医療における基本の徹底及びその質の向上を図るとともに、すべての医療従事者の意識改革及び啓発を図るため、教育・研修及び講演会等を定期的開催する。</li> <li>(3) 医療従事者自らが、医療行為の基本的事項を日々点検・確認し、事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに所属責任者に報告するとともに、患者及び関係者に説明の上適切に対処し、速やかに事故内容等の検討及び再発の防止対策を講ずる。</li> <li>(4) 上記3つの事項を遂行するため、次に掲げる組織及び体制を整備する。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療安全管理責任者                    本院に、病院長を補佐し、医療安全推進委員会、医療安全推進室、医薬品安全管理室及び医療機器安全管理室を統括する者として医療安全管理責任者を置き、副病院長（医療安全担当）をもって充てる。</li> <li>② 医療安全推進委員会                    本院における医療の安全管理体制の確保、研修等の企画・実施、及び、次のイからホのインシデントについて、医療安全推進室からの報告を受け、改善策の検討と実施状況の確認を行う。                    イ 分類別、職種別、レベル別の月間分析結果                    ロ 分類別（薬剤、チューブ、転倒転落等）の年間分析結果                    ハ レベル3b以上の事案についての詳細とその改善状況                    ニ 警鐘的事例に関する事                    ホ その他、重大事例に関する事</li> <li>③ 医療安全推進室                    医療に関する安全管理指針に基づき、本院における医療事故の防止及び医療の質と安全性を一層向上させるため、その遂行に必要な組織全体のシステムを構築する。</li> <li>④ 専門部会                    医療安全推進室の専門部会として下記部会を置き、専門の事項を調査審議するため専門委員若干人で構成し、具体的な事案に対応する。                    イ マニュアル作成部会                    ロ 標準化推進部会                    ハ 広報・教育部会                    ニ インシデント審議部会</li> <li>⑤ リスクマネジャー会議                    医療安全推進室の下部組織として、各診療科、看護部、各中央診療施設等及び事務部等の中核となる実務担当等で構成し、医療事故等の未然防止について具体的な安全対策を推進し、事故又はインシデントレポートの検証及び再発防止策の策定等を行う。</li> <li>⑥ 医薬品安全管理室                    本院における医薬品の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</li> <li>⑦ 医療機器安全管理室                    本院における医療機器の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</li> <li>⑧ 医療放射線安全管理室                    本院における医療放射線の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</li> <li>⑨ インシデント対応委員会                    本院において重大なインシデントが発生した場合に、直ちに当該インシデントの事実関係を確認し、適切かつ必要な対応策を検討する。また、患者・家族への対応について病院としての判断・見解を検討し、初期対応を決定する。</li> <li>⑩ 医療事故調査委員会                    医療安全推進委員会及び医療安全推進室とは別組織とし、医療事故の報告を受けた病院長が必要と認めるときは、当該関係者を招集して医療事故の調査等を行う。</li> <li>⑪ 特別医療事故調査委員会                    病院長は、医療法第6条の10第1項に定める医療事故が発生したときは、当該関係者を招集して医療法第6条の11第1項に規定する医療事故調査等を行う。</li> </ol> </li> </ol>	

- ⑫ 高難度新規医療技術  
高難度新規医療技術等を用いた医療を提供する場合は、関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入にあたっての基本的考え方」やガイドライン等を参考に実施する。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

- ・ 設置の有無 (  有・無 )
- ・ 開催状況：年12回
- ・ 活動の主な内容：  
医療安全推進委員会  
以下の内容についての審議及び報告を行う。
  - (1) 医療に関する安全管理指針に関すること。
  - (2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。
  - (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
  - (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
  - (5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
  - (6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。
  - (7) 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
  - (8) 前号の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。
  - (9) 前号の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
  - (10) 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の事実及び発生前の状況について、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。
  - (11) 前号に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。
  - (12) その他医療の安全管理等に関すること。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年27回

- ・ 研修の内容 (すべて)：
  - 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会 (新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者・復職者対象医療安全必修コース)
  - 具体的事例を取り上げた職種横断的な演習 (年5回)
  - ブラッシュアップ研修 (年4回)
  - 歯科部門の医療安全研修
  - 医療安全管理全般に関する講演会
  - 医療倫理講演会
  - せん妄対策勉強会
  - その他医療安全管理に関する研修会 (随時)

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有・無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  - 事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。
  - 事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。
  - 重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。
  - 毎月の医療安全推進委員会において、月次インシデントの集計報告及び3b以上の事例の報告を行っており、院内のインシデントの発生状況の把握に努めていること。また、院内のインシデントから警鐘的な事例を毎月1例取り上げて、事案の分析や再発防止策の検討等を医



療安全推進委員会で行っていること。  
●毎年度1回、全病棟及び外来棟に対し医療安全巡視を行い、医療安全に係る業務について適切に行われているかの確認及び指導を行っていること。また、全体巡視に加えて、GRM3名が、毎週、病棟を巡視しており、院内における医療が適正に実施されているかを適宜確認していること。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>●感染対策のための委員会</li> <li>●感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</li> <li>●感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>●院内における感染症発生時の対応に関する基本方針</li> <li>●患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>●その他の感染対策の推進のために必要な指針</li> </ul> <p>『東北大学病院における感染対策の指針』 医療関連感染に対する、医療従事者の標準予防策ならびに手指衛生を始めとする基本的な感染対策の確実な実施を行うための指針である。具体的には以下のとおり。</p> <p>(1) 感染対策のための委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①感染対策に関する委員会として病院長を含む感染対策委員会を設置する。感染対策委員会は、医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議・決定する。</li> <li>②感染対策委員会の下部組織として感染対策実務委員会を置く。感染対策実務委員会は、院内の問題点を把握し、感染予防対策の実務を行い、各委員は委員会での決定事項を所属部署に周知する。</li> <li>③当院の感染対策全般について総合的な管理を行うため、感染管理室を置き、感染対策活動の総責任者として院内感染管理者を置く。</li> <li>④感染管理室の業務を職種横断的に遂行するための組織として、各職種からなるICT (Infection Control Team) を置き、感染に関する課題の抽出・解決、感染対策活動の周知徹底、各部署での教育等を行う。</li> <li>⑤抗菌薬の適正使用を推進するための組織として、AST (Antimicrobial Stewardship Team) を置き、感染症を発症した患者が適切な抗菌薬治療を受けているかどうかを多職種からなる専門家チームで評価、管理し、必要に応じて主治医に助言するなどの支援を行う。</li> </ol> <p>(2) 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①感染管理室並びにICTが中心となり、全職員を対象に具体的な研修の立案・実践を行う。</li> <li>②感染対策に関する必要な知識・技能を維持向上できるように、年2回以上の講習会を実施する。</li> <li>③ICTによる職場巡視、各部門の感染対策担当者による日々の活動を通じて、継続的な教育・啓発を実施する。</li> </ol> <p>(3) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①感染管理室並びにICTは感染対策の実施のため、院内感染防止対策の立案、及び具体的な遵守事項を定めるマニュアルを作成する。</li> <li>②感染管理室は、微生物検査情報などをもとに院内における感染症発生動向について把握し、手指衛生の遵守、地域における病原体の伝播、抗菌薬使用状況なども踏まえた抗菌薬の適正使用について、ICT及びASTとともに機動的な感染対策を立案・実施する。</li> <li>③感染管理室は職員のワクチン接種など職業感染対策を積極的に推進するとともに、針刺し切創・体液曝露事例が発生した場合においては、情報の収集並びに感染防止に関する対応を行う。</li> <li>④感染対策委員会並びに感染対策実務委員会は、感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応する。</li> </ol> <p>(4) 院内における感染症発生時の対応に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①感染症の伝播並びに集団感染事例が発生もしくは疑われる際には、第一に患者及び職員の生命及び健康と安全を最優先に考え行動する。</li> <li>②患者並びに家族への連絡・説明は速やかに、主治医もしくは当該科の上席医師が率直に事実を話すとともに、事実のみを客観的かつ正確に記録する。また患者並びに家族への説明内容などについて詳細に診療録等に記録する。</li> <li>③当該部署は状況について感染管理室へ報告する。感染管理室はICTとともに情報の収集並びに当面の対策について立案・実施し、病院長に報告する。</li> <li>④死亡又は重大な障害が発生した場合、又はその疑いがある場合には事務部長は病院長の指示を仰ぎ、速やかに所轄警察署・保健所・東北厚生局に届出をし、報告を行う。</li> </ol>	

<p>⑤ 集団感染事例が発生した場合は、速やかに事故原因の究明、今後の対応策等を検討する。調査は感染対策委員会の構成員に加え、関係部署を加えて構成する。必要に応じて、保健所や東北厚生局などの外部の専門家を加え、客観的な判断を加えることに努める。又、公表の必要性と方法を協議し、病院長が決定する。</p> <p>(5) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針  ① 本指針は患者及びその家族等から閲覧の求めがあった場合はこれに応じるものとする。</p> <p>(6) その他の感染対策の推進のために必要の指針  ① 感染対策マニュアルなど、その他の感染対策の推進のために必要な指針は、別途定める。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年15回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。</li> <li>● 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。</li> <li>● 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。</li> <li>● 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。</li> <li>● 医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議決定すること。</li> <li>● 感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応すること。</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年36回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者・復職者対象感染対策必修コース）</li> <li>● 院内感染管理に則した研修（感染対策病棟講習会、感染対策に関するインターネット研修会）</li> <li>● 感染管理全般に関する定期講演会（年7回）</li> <li>● その他感染管理に関する研修会（随時）</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：  「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し、更には毎月の感染対策委員会において、サーベイランス対象菌種検出症例数の月次報告を行っており、院内の感染症の発生状況の把握に努めている。  また、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師の4職種が、毎週、週1回全病棟30部署のラウンドを実施し、外来・中央診療部門もラウンドすることによって、感染症防止対応が適切に行われているかの確認及び指導を行っている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年30回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修</li> <li>・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修</li> <li>・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務</li> <li>・ 医薬品の管理に関する業務</li> <li>・ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務</li> <li>・ 患者に対する与薬</li> <li>・ 未承認等医薬品の使用に関すること</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内視鏡観察時の鑑別に用いる3%検査用ルゴール液20mLなどの院内製剤を含め、診療科から申請/届出のあった未承認等医薬品(全264件,令和元年度対象品目)や、薬剤師が把握した未承認等医薬品の情報を管理している。</li> </ul> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑義照会事例、副作用報告事例、インシデント事例、医薬品添付文書改訂に伴う注意事項等の医薬品情報を収集し、院内の医薬品の使用状況や注意事項を周知</li> <li>・ 医薬品安全管理室の指示のもと、薬剤師が病棟(月1回)及び外来診療科(2ヶ月に1回)の巡視を実施</li> <li>・ 医薬品安全管理室巡視を年2回実施</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無										
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年37回										
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規導入機器は購入依頼時に研修対象者をリスト作成し、機器使用前の研修を実施</li> <li>○医療機器の有効性・安全性に関する事項</li> <li>○医療機器の使用法に関する事項</li> <li>○医療機器の保守点検に関する事項</li> <li>○医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する事項</li> <li>○医療機器の使用に関しての法令遵守に関する事項</li> </ul> </li> </ul>											
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況											
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器に係る計画の策定 (有・無)</li> <li>機器ごとの保守点検の主な内容：</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>保守点検の主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工心肺装置及び補助循環装置</td> <td rowspan="7">始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検</td> </tr> <tr> <td>人工呼吸器</td> </tr> <tr> <td>血液浄化装置</td> </tr> <tr> <td>除細動装置</td> </tr> <tr> <td>閉鎖式保育器</td> </tr> <tr> <td>診療用高エネルギー放射線発生装置</td> </tr> <tr> <td>診療用放射線照射装置</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記保守点検について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年度の把握及び記録</li> <li>② 保守点検実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検の見直し</li> </ol>		機器	保守点検の主な内容	人工心肺装置及び補助循環装置	始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検	人工呼吸器	血液浄化装置	除細動装置	閉鎖式保育器	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用放射線照射装置
機器	保守点検の主な内容										
人工心肺装置及び補助循環装置	始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検										
人工呼吸器											
血液浄化装置											
除細動装置											
閉鎖式保育器											
診療用高エネルギー放射線発生装置											
診療用放射線照射装置											
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況											
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)： <ul style="list-style-type: none"> <li>○婦人科における術後癒着防止を目的とした子宮内避妊器具の適用外使用 15件</li> <li>○肢体不自由リハビリテーション科における上下肢麻痺を治療するためのパスリーダーの適用外使用 40件</li> <li>○心臓血管外科における大動脈瘤治療のためのMFMの未承認使用 7件</li> <li>○保存修復科における歯根端切除術の逆根管充填剤としてMTAセメントを適用外使用する 26件</li> <li>○心臓血管外科における人工弁周囲逆流閉鎖のためのAVP IIの適用外使用 1件</li> </ul> </li> <li>その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○未承認等医療機器を使用した診療に関する届出、治験・臨床研究に関しては倫理委員会の情報から使用状況の情報収集。</li> <li>○添付文書等の管理</li> <li>○医療機器に係る安全性情報の収集と病院管理者への報告</li> <li>○毎月第一木曜日の「医療機器点検の日」実施による医療機器の点検及び院内の意識啓発</li> </ul> </li> </ul>											

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無								
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況          医療安全管理責任者として医療安全担当副院長が、医療安全管理部門（医療安全推進室）、医療安全管理委員会（医療安全推進委員会）、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>									
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無								
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況          手順書に基づき医薬品情報を収集し、緊急度に応じた周知を実施している。また、必要に応じて院内の医薬品の使用状況について調査し、改善が必要とされる事項については、医療安全推進委員会等を通じて周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況          医薬品安全管理室が未承認等医薬品に関する担当部門として規定されており、診療科から申請された未承認等医薬品の使用条件等について審議している。未承認等医薬品のうち、未承認新規医薬品及び院内製剤については、未承認新規医薬品評価委員会を開催し、使用の条件等に関する意見を聴取している。また、臨床試験薬については特殊薬品として薬剤部で管理しており、未承認等の医薬品について把握している。これらの情報及び処方状況を管理するシステムを構築し定期的に処方状況等について確認している。</p> <p>・担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>（所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> </table>		（所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）
（所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無								
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常診療において原則として説明すべき事項             <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明は原則として主治医が行うこと</li> <li>・説明は原則として患者本人に行うこと</li> <li>・説明の方法</li> <li>・説明の記録方法</li> </ul> </li> </ul>									
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無								
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>・診療録等に必要な事項の記載があるか、また記載内容に齟齬がないか等の点検のため、チェックシートを使用し、入院診療計画書、医師経過記録、インフォームドコンセント、手術（侵襲的処置含む）記録、病名整理、退院時要約等の評価を行っている。なお、点検結果は、記載の質向上がなされるよう各診療科へフィードバックし、適切な記載方法について指導している。</p>									

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

- ・所属職員：専従（４）名、専任（１）名、兼任（２）名
  - うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（２）名
  - うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
  - うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
- （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

◎医療安全推進室

- (1) 医療安全推進委員会に係る事務に関すること。
- (2) 医療事故、インシデント及び死亡事例の収集及び分析に関すること。
- (3) 医療の安全管理に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。
- (4) 医療安全管理マニュアルに関すること。
- (5) 医療安全巡視の実施及び実施状況の把握・分析に関すること。
- (6) 医療安全確保のための業務改善計画書の作成、実施状況の確認及び評価結果の記録に関すること。
- (7) 患者等からの相談件数、相談内容、相談後の取扱いに係る医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。
- (8) 医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスの実施及び記録に関すること。
- (9) 事故その他の医療安全推進室において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく院内に勤務する者への必要な指導に関すること。
- (10) 医療に係る安全管理に係る連絡調整に関すること。
- (11) 医療の質の向上及び医療に係る安全の確保のための対策の推進に関すること。
- (12) 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び院内に勤務する者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。

なお、手術オカレンスと放射線読影レポートの未読状況、入院における転倒転落等について、医療安全推進室がモニタリングを行い、毎月の状況を医療安全推進委員会に報告している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（５件）、及び許可件数（１件）
  - ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
  - ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
- ・活動の主な内容：
- ・高難度新規医療技術担当部門の設置について
  - ・高難度新規医療技術を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
  - ・体制に変更があった場合の確認について
  - ・高難度新規医療技術評価委員会について
  - ・報告及び通知について
  - ・実施状況等の確認について
  - ・センター長及び病院長への報告について
  - ・病院長からの停止命令について
  - ・審査資料等の保管について
  - ・秘密の保持について
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
  - ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
  - ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
  - ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の廃止等について
  - ・未承認新規医薬品評価委員会について
  - ・報告及び通知について
  - ・使用状況等の確認について
  - ・センター長及び病院長への報告について
  - ・審査資料等の保管について
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年625件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年83件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - 死亡報告については、毎月、医療安全推進室が死亡の原因や死亡と手術との関連性の検証結果、解剖やAiの結果等について医療安全推進委員会に報告している。
  - 3b以上の事例についても、毎月、医療安全推進室が内容を検証し、インシデントの原因や対策等の詳細を医療安全推進委員会に報告すると共に、必要に応じて医療安全推進委員会でも改善策の検討を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：宮崎大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：名古屋市立大学病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
  - 宮崎大学医学部附属病院へ
    - ・インシデントやアクシデントの報告書等の状況について、宮崎大学では年間1500件程度で、病床数に比して少ないと感じた。ただし、医師からの報告の割合が10%と非常に高く、医師の医療安全に対する意識が高いと評価する。
    - ・モニタリングについて、静脈血栓症とパニック値、画像診断については大変先進的な取り組みを実施している。
    - ・インフォームド・コンセント、診療録監査について、地道に取り組まれていることを評価する。
    - ・人員配置について、兼任医師 GRM を複数配置し、6か月毎に交替で GRM 業務を兼務で行うことはよい取り組みで非常に参考になった。
    - ・未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否等を決定する部門の運用状況において、薬剤師が禁忌適用外使用に関する情報を適切に把握している。更に、臨床倫理部との関係性が密で、医師が適宜相談を受ける体制が組まれている。一方で副作用情報の収集に関して、薬剤師を積極的に活用することで院内での発生状況が把握できるため、今後の体制強化を検討いただきたい。総じて、他職種間の連携が密にできている病院と評価しており、運用面について非常に参考になった。



- ・高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等を決定する部門の運用状況について、臨床倫理医との関わりなど非常に勉強になるところがあった。また、評価委員の構成の固定の3人の方ですべて外科医ということで、ちょっと偏りがあるかもしれないという印象を持った。ただし、手術場の経験のある看護師が入っていて、発言が出来るということは、本院も参考にしたいと感じた。高難度の手術の麻酔をかける麻酔医に関しては入ってもらった方がいいのではと考える。  
また、グループ診療になっている大きな科もあるかと思うが、実施体制の変更があった場合に、科長がそれを全部把握しているか、あるいは施設基準とか、術者要件とか科長が全部把握しているわけではない科もあると思うので注意して対策を講じていかなければならないと我々も感じた。

- ・医療安全管理体制や医療安全確保への取り組み状況など、外部監査は適切になされていた。外部監査の方法として、地区ブロックの医療安全管理者が担当することで、特定機能病院の抱える課題について意見交換がなされる機会となっているとのことで、今後、さらなる宮崎大学の医療安全の向上に寄与すると思われた。

#### ○名古屋市立大学病院から

- ・インシデントレポート数、オカレンスレポート数の合計数で確認すると、病床数に対し件数比率として基準値レベルを満たしていると判断できる。
- ・医師からのインシデント報告が5%と少ないが、「重大なインシデントを見逃さない」という方針のもとインシデントレポートが収集されていること、手術中に発生した項目の中からオカレンスとして報告すべき内容を定めて看護師からも報告していることで、重大事故を防ぐための体制ができていると考える。
- ・病院全体の医療安全文化の醸成という点では、各部門から医療安全活動を発表する制度があり、各職場が積極的に取り組んでいる。多職種で協働して安全活動を行うこともできており、工夫された取り組みであると考えられる。
- ・医療安全臨床指標モニタリングについても、定期的にしっかり測定されている。結果が院内へ報告されていることで、質の安全、医療安全活動につなげることができている。
- ・医療安全推進委員会について、委員構成のところで患者目線での視点から、企業の安全対策や品質管理をされている方などに委員として参画していただくと、より良い指摘を得ることができるため検討頂きたい。
- ・適応外医薬品使用の管理運営について、できるところから随時運用を検討し対応しているところなど、フレキシブルに実施されているところが評価できる。
- ・適応外医薬品の迅速使用許可などについて、医薬品安全管理室会議で検討し医薬品等管理責任者が可否を判断されているような仕組みとなっているようだが、複数の医療職の意見を取り入れることができるように、メール等で意見聴取するような仕組みを、是非検討頂きたい。
- ・適応外審査委員会において、緊急の場合は委員長の判断で使用が許可されているが、委員長一人の責任が重くなりすぎるため、可能な限り、多人数での検討を考慮頂きたい。
- ・高難度新規医療技術審査委員会について、多角的な視点で評価をできるように、委員構成として医師以外の看護師やメディカルスタッフの参画を検討頂きたい。
- ・外部監査の中に看護管理の専門家も選ばれている。看護師は医療行為の最終実施者となることが多く、医療職の中で職員の割合が最も多い。看護の視点での外部の意見が得られることは、安全活動の外部監査としてよい取り組みであると考えられる。
- ・外部監査委員会の中で、現場ラウンドが取り入れられている。外部の視点で現場を視察する機

会が定期的に設けられていることは、日常では気づかないリスク因子に気づくことができるため、有効なことと考える。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

地域医療連携センター内に、相談に応じる窓口を設置しており、相談担当者が対応している。必要に応じて、相談担当者からセンター長や医療安全管理者等に相談の上、適切に対処している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

医療安全研修、ブラッシュアップ研修、新規採用者オリエンテーションでの研修、医療安全講演会での警鐘事例研修等を実施しており、e-learningの活用も行っている。

6月21日に特定研修と題して特定機能病院の医療安全管理に関する事項等をメインにした研修を実施。

また、特定のテーマを定め、年4回ブラッシュアップ研修を実施しており、職員のスキル向上に努めている。(インフォームド・コンセント、病院情報システムにおけるアレルギー・薬剤副作用情報の入力、院内DVT予防と発症時の対応、院内救急コールの運用等)

なお、平成29年度からは、医薬品安全研修が毎月開催されている。

実施後の学習効果の測定は、毎年実施しているラジオラス通信トリビア編(マークシート回答)によって検証している。

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構主催の2019年度特定機能病院管理者研修を以下のとおり受講

管理者:令和2年2月12日

医療安全管理責任者:令和元年12月17日~18日

医薬品安全管理責任者:令和2年1月7日

医療機器安全管理責任者:令和2年2月12日

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準	
<p>・ 基準の主な内容</p> <p>一 医療安全確保のために必要な資質及び能力 医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢や指導力等を有すること。</p> <p>二 東北大学病院(以下「本院」という。)の管理運営上必要な資質及び能力 本院又は本院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有すること。</p> <p>三 本院の理念等を実現するために必要な資質・能力 本院が掲げる基本理念と将来構想の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。</p> <p>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</p> <p>・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で基準を公表している。 (参照 : <a href="http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.htm">http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.htm</a>)</p>	

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無
<p>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</p> <p>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</p> <p>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</p> <p>・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で委員名簿等を公表している。 (参照 : <a href="http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.htm">http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.htm</a>)</p>	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
大野 英男	東北大学総長	○	国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第1号によるもの	有
青木 孝文	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第1号によるもの	有
滝澤 博胤	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有

早坂 忠裕	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
植木 俊哉	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
下間 康行	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
林 富	医療法人社団スズキ病院理事長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第3号によるもの	無
近藤 丘	東北医科薬科大学 病院長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第3号によるもの	有
五十嵐和彦	東北大学医学系研究科長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有
佐々木啓一	東北大学歯学研究科長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有
川島 隆太	東北大学加齢医学研究所長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有
佐藤 和宏	宮城県医師会長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第5号によるもの	無
永井 幸夫	仙台市医師会長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第5号によるもの	無

※当該「東北大学病院長候補者選考会議」は、病院長候補者の選考が必要な場合に設置され、選考が完了したら廃止されることとなっている。そのため上記委員会は平成30年度当時のものとなっている。

規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容 病院の業務、運営、組織、将来計画等に関する事項。</li> <li>・審議の概要の従業者への周知状況 合議体（病院運営評議会）構成員への議事要旨の配付、構成員が属する部署内での情報共有。</li> <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</li> <li>・公表の方法</li> <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）</li> </ul>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
富永 悌二	○	医師	病院長
高橋 哲		歯科医師	総括副病院長
亀井 尚		医師	副病院長
張替 秀郎		医師	副病院長
石岡 千加史		医師	副病院長
五十嵐 薫		歯科医師	副病院長
江草 宏		歯科医師	副病院長
鈴木 由美		看護師	副病院長・看護部長
藤森 研司		医師	病院長特別補佐
高野 忠夫		医師	病院長特別補佐
中川 敦寛		医師	病院長特別補佐
植田 琢也		医師	病院長特別補佐
庄司 貞雄		研究員	病院長特別補佐
下川 宏明		医師	循環器内科長
青柳 哲史		医師	総合感染症科長
宮崎 真理子		医師	腎・高血圧・内分泌科長
片桐 秀樹		医師	糖尿病代謝科長

正 宗 淳		医師	消化器内科長
荒 井 啓 行		医師	加齢・老年病科長
福 土 審		医師	心療内科長
一ノ瀬 正 和		医師	呼吸器内科長
海 野 倫 明		医師	総合外科長
石 田 孝 宣		医師	総合外科長
齋 木 佳 克		医師	心臓血管外科長
井 樋 栄 二		医師	整形外科長
館 正 弘		医師	形成外科長
山 内 正 憲		医師	麻酔科長
井 上 彰		医師	緩和医療科長
岡 田 克 典		医師	呼吸器外科長
久志本 成 樹		医師	救急科長
島 田 宗 昭		医師	婦人科長
齋 藤 昌 利		医師	産科長
伊 藤 明 宏		医師	泌尿器科長
青 木 正 志		医師	脳神経内科長
富 田 博 秋		医師	精神科長
呉 繁 夫		医師	小児科長
青 木 洋 子		医師	遺伝科長
仁 尾 正 記		医師	小児外科長
笹 原 洋 二		医師	小児腫瘍科長
相 場 節 也		医師	皮膚科長
中 澤 徹		医師	眼科長
香 取 幸 夫		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科長
出 江 紳 一		医師	肢体不自由リハビリテーション科長
中 里 信 和		医師	てんかん科長
上 月 正 博		医師	内部障害リハビリテーション科長
鈴 木 匡 子		医師	高次脳機能障害科長
神 宮 啓 一		医師	放射線治療科長
高 瀬 圭		医師	放射線診断科長
小 関 健 由		歯科医師	予防歯科長

福本 敏		歯科医師	小児歯科長
溝口 到		歯科医師	矯正歯科長
水田 健太郎		歯科医師	歯科麻酔疼痛管理科長
齋藤 正寛		歯科医師	保存修復科長
佐々木 啓一		歯科医師	咬合回復科長
山田 聡		歯科医師	歯周病科長
江島 豊		医師	材料部長
笹野 公伸		医師	病理部長
八重樫 伸生		医師	周産母子センター長
石井 正		医師	総合地域医療教育支援部長
中山 雅晴		医師	メディカルITセンター長
菊池 雅彦		歯科医師	総合歯科診療部長
服部 佳功		歯科医師	高齢者歯科治療部長
小山 重人		歯科医師	顎顔面口腔再建治療部長
眞野 成康		薬剤師	薬剤部長
梁川 功		放射線技師	診療技術部長
山腰 俊昭		事務職員	事務部長
飯久保 正弘		歯科医師	周術期口腔支援センター長
加藤 裕光		歯科技工士	診療技術部歯科技術部門長
佐藤 智昭		歯科医師	総括副病院長特別補佐
黒澤 一		医師	安全衛生管理室長
藤盛 啓成		医師	医療安全推進室長
徳田 浩一		医師	感染管理室長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（一部有）
- ・ 公表の方法  
病院長の予算権限については「東北大学会計規程」で定められており、当該規程はwebsite上で閲覧可能となっている。  
病院長の人事権限については「東北大学病院の総括副院長及び副院長に関する申合せ」、「東北大学病院院長特別補佐に関する内規」、「東北大学病院専門別診療科内規」で定められているが、これらは院内のみ閲覧可能となっており、公表はされていない。
- ・ 規程の主な内容  
「東北大学会計規程」においては、部局の長を予算責任者として定め、予算の執行計画に関する事務を行わせることを定めている。  
「東北大学病院の総括副院長及び副院長に関する申合せ」では、病院長が総括副院長及び副院長候補者を指名し、総長に推薦するものであることを定めている。「東北大学病院院長特別補佐に関する内規」では、病院長特別補佐は病院長が任命することを定めている。「東北大学病院専門別診療科内規」では、科長、副科長、医局長、病棟医長及び外来医長は、病院長が任命することを定めている。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
本院では、歯科部門の責任者として総括副院長を1名置き、医科部門の副院長3名、歯科部門の副院長を2名置いている。また、現在、病院長特別補佐を23名置き、それぞれ別紙の役割を担っている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
国立大学附属病院長会議で、国立大学附属病院の医事系、経営系事務職員を対象とした研修会を随時開催している。また、次世代の病院運営を担う層に対して「トップセミナー」も実施している。



規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以下に掲げる事項について病院長に対し報告を求め、必要に応じて実地監査を行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 医療安全管理に係る体制</li> <li>ロ 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務の状況</li> <li>ハ 医療安全推進室の業務の状況</li> <li>ニ 医療に係る安全管理のための委員会の業務の状況</li> <li>ホ その他医療安全管理に関して必要な事項</li> </ul> </li> <li>・ 必要に応じ、総長又は病院長に対し、医療安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。</li> <li>・ その結果を公表すること。</li> </ul> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p style="padding-left: 20px;">東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療報酬支払基金宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
嶋森 好子	岩手医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
原 忠篤	東北医科薬科大学病院		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

- （注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
  3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容  
国立大学法人東北大学監事監査規程（公表）において、本学の監事監査の目的として「関係法令等に基づく適正な執行状況等について監査する」と定められている。この監査事項の詳細は、国立大学法人東北大学監事監査実施細則（非公表）に定められており、第3条第1項第9号に「病院管理者の業務の法令適合状況」が明記されている。  
また、同監事監査規程においては、監査報告書に基づき改善すべき事項がある場合には、総長（病院開設者）は速やかに改善の措置を講じることとされており、取組の有効性を検証し、適時に見直しを行う体制が構築されている。
- ・ 専門部署の設置の有無（ 有・無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（  有・無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 一部有 ）
- ・ 公表の方法  
国立大学法人東北大学監事監査規程は国立大学法人東北大学規程集（[http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei/reiki\\_taikei/r\\_taikei\\_01.html](http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei/reiki_taikei/r_taikei_01.html)）にてweb公開されている。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成15年度から本院には外部有識者で構成される「東北大学病院運営諮問会議」が設置され、病院長の諮問に応じてその運営、将来計画等に関する重要事項を審議し、病院長に助言、勧告を行ってきた。 この会議体に平成30年9月から予算執行状況その他の本院の管理運営に関する重要事項について監督する機能も付与した。</li> <li>・ 会議体の実施状況（年2回）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年2回）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
林 富	一般財団法人宮城県成人病予防協会 中央診療所	○	無
近藤 丘	東北医科薬科大学病院長		有
朴澤 泰治	学校法人朴沢学園理事長		無
一力 雅彦	河北新報社代表取締役社長		無
大山 健太郎	アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長		無
樋口 康二郎	東北電力株式会社取締役社長		無
小林 英文	株式会社七十七銀行取締役頭取		無
深澤 ひとみ	プルデンシャル・ファイナンシャル・ インク 日本駐在員事務所		無
伊藤 直之	伊藤・根本法律事務所弁護士		有

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 通報件数 (年0件)
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 周知の方法  
窓口が設置された平成28年度に全病院職員に対してリーフレットを配布した。  
また、毎年4月当初に開催されるオリエンテーションにおいて全新規入職者を対象にリーフレットを配布している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構</p> <p>時期：平成27年2月</p> <p>※昨今のコロナ禍により、認定期間の延期について同機構より証明を受けている。</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>本院ホームページでは、利用者目線に立った内容やレイアウトの工夫を行い、本院の取り組みや、診療科スタッフの紹介、受診手続きについて掲載している。</p> <p>また、病院広報誌の刊行を定期的で開催するほか、河北新報に「気になる症状すっきり診断」と題した連載を掲載し、本院の診療に関する取り組みについて紹介している。</p> <p>これまで仙台市内で開催していた市民公開講座については、宮城県内の地域に出向いて最新の医療を分かりやすく紹介する「つながる健康講座」として催することとしている。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>本院ではがんセンターや小児医療センターなど、関連する複数の診療科からなる組織を設置し、患者に対し、効率的かつ安全で高度な治療を行える診療体制を整備している。</p> <p>また、平成29年度には個別化医療センターを設置し、複数診療科体制で、血液検体や組織検体を採取し、がんゲノム医療をはじめとする未来型医療を邁進している。</p>	